

H26.12.24

まちづくり会議(全体会議)

江南市戦略計画

みんなの郷土 みんなで築くプラン

中期計画期間 平成23年度～平成25年度

達成状況報告書



江南市

目 次

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方	1
1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは	1
2. 江南市戦略計画の進行管理	1
3. 行政評価システムの機能	2
4. PDCAのマネジメントサイクル	2
5. 江南市まちづくり会議の役割	2
第2章 中期計画期間の重点戦略	4
1. 市民協働の推進	4
2. 安心・安全に暮らせる環境づくり	4
3. 子育て支援・次世代を担う人材の育成	5
4. 市民生活に直結する都市基盤の整備	6
第3章 中期計画期間の達成状況	7
1. 全体の目標達成状況	7
2. 各分野の目標達成状況	11
I 生活環境、産業分野	16
柱1 安心・安全な地域づくり【防災安全課】	17
柱2 消防・救急体制の充実【総務予防課、消防署】	21
柱3 快適で便利な日常生活の確保【市民サービス課】	27
柱4 生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興【産業振興課】	32
柱5 自然と調和した快適な生活環境の確保【環境課】	41
柱6 ごみ減量と適切な処理の推進【環境課、広域ごみ処理施設建設対策室】	46
II 健康、福祉分野	50
柱1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保【高齢者生きがい課】	51
柱2 地域で安心して子育てできる環境づくり【子育て支援課、福祉課】	55
柱3 障害者の生きがいと安心した生活の確保【福祉課】	62
柱4 健康な生活の確保【健康づくり課】	66
柱5 保険年金制度の健全な運営【保険年金課】	72
柱6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保【福祉課】	76

III 都市生活基盤分野 80

柱 1	秩序と賑わいのある快適なまちづくり	【まちづくり課】	81
柱 2	人にやさしいみちづくり	【土木課】	85
柱 3	花と緑あふれる公園づくり	【まちづくり課】	88
柱 4	公共下水道の普及促進	【下水道課】	91
柱 5	浸水被害のないまちづくり	【土木課】	94
柱 6	安心・安全な住環境の確保	【建築課】	97
柱 7	健全な水道事業経営と安全な水の安定供給	【水道課】	100

IV 教育分野 104

柱 1	地域に開かれた快適で安全な学校づくり	【教育課】	105
柱 2	将来にわたって活躍できる人づくり	【教育課】	112
柱 3	生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり	【生涯学習課】	115
柱 4	豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実	【生涯学習課】	120

V 経営、企画分野 126

柱 1	地域協働の推進	【地域協働課】	127
柱 2	戦略的な行政経営の推進	【秘書政策課、行政経営課】	132
柱 3	公平かつ適正な課税・収納	【税務課、収納課】	138
柱 4	効率的かつ円滑な事務管理の推進	【総務課、会計課、監査委員事務局】	142
柱 5	より開かれた適切な議会運営への支援	【議事課】	147

巻末資料 149

1	成果目標一覧	150
2	江南市まちづくり会議の開催経緯	163
3	江南市まちづくり会議設置要綱	165
4	江南市まちづくり会議の構成（委員名簿）	167
5	まちづくり評価シートの見方	168
6	達成率及び達成状況の算出方法	171
おわりに		172

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方

1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは

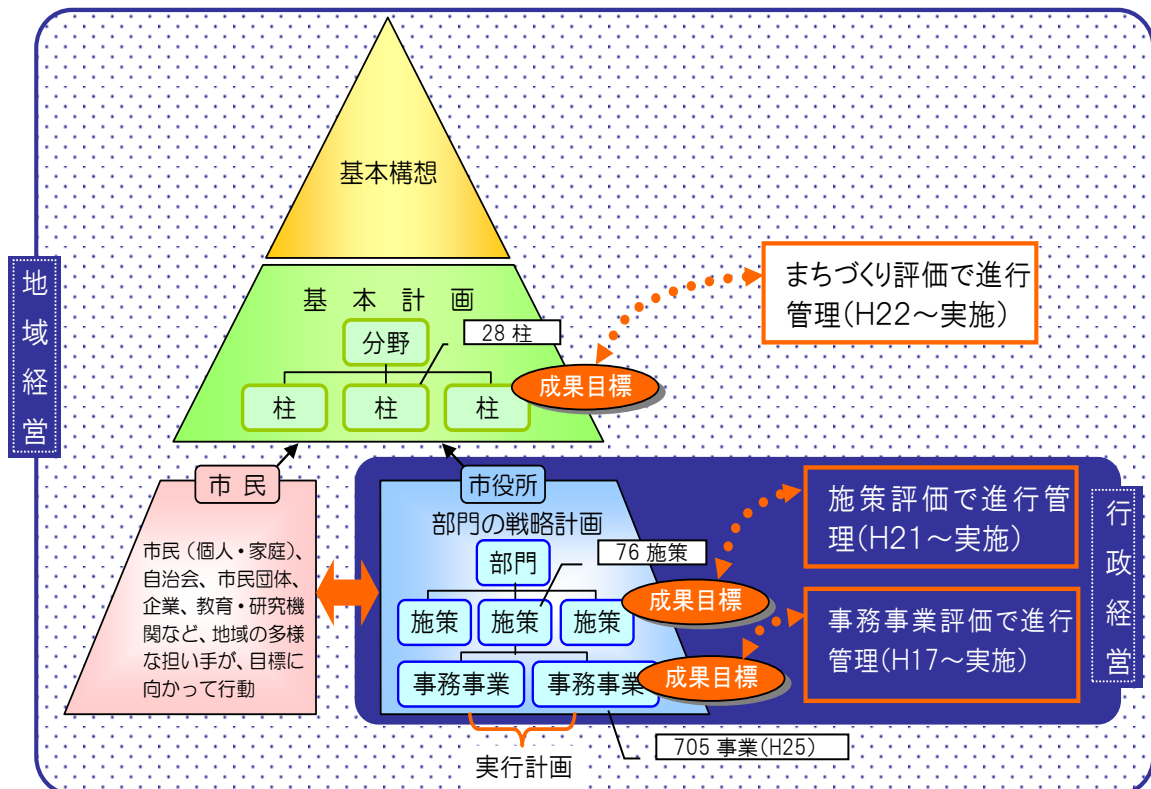
「江南市戦略計画」の進行管理は、基本計画に掲げられた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより実施することとしており、成果目標の達成度は、「まちづくり評価」を活用して測定し、今後の改善方策を検討することとしています。

基本計画の成果目標は、市民と市役所が協働でめざす目標であることから、「江南市まちづくり会議」を設置し、その達成状況についても協働で確認を行い、その結果については、短期的にはそれぞれの行動へ、中期的には次の基本計画の見直しへと反映させることとしています。

こうした進行管理の結果について、広く市民が共有できるよう、とりまとめたものが「江南市戦略計画達成状況報告書」です。

2. 江南市戦略計画の進行管理

江南市戦略計画の進行管理は、まちづくり評価・施策評価・事務事業評価の3つの行政評価システムを活用して実施しています。



【行政評価システムによる進行管理のイメージ】

3. 行政評価システムの機能

①まちづくり評価

基本計画に掲げられた各分野の「成果目標」について、その達成度を測定し、より良いまちづくりに向けての今後の取り組みの方向性を明らかにします。まちづくり全体の進捗状況（市民生活や地域社会の状態）を市民と市役所が協働で把握し、基本計画の見直しに活かすことを目的とします。

②施策評価

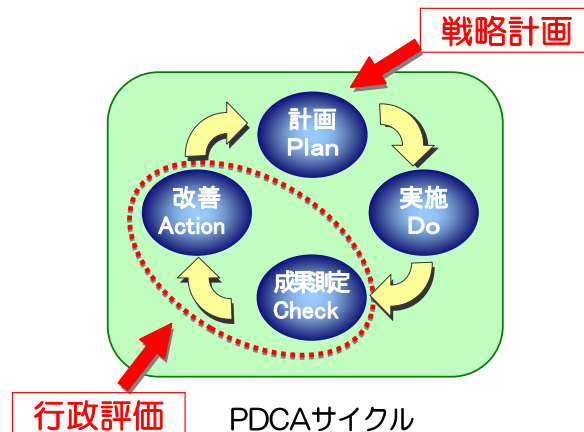
事務事業より上位のレベルで成果を把握し、行政活動の大きな方向性を明らかにするとともに、手段となる事務事業の重点化について分析し、資源配分へと反映させます。施策の分析と、事務事業評価から得られる事務事業の情報を連携させ、施策の方向づけと事務事業の相対的な方向づけ（重点化や改革改善）を一体的に行います。

③事務事業評価

事務事業について、個々の成果を把握し、改善方策を検討するものになります。事務事業の成果を検証することにより、職員の業務改善やコストに対する意識を醸成しながら、提供する行政サービスの質的向上をめざします。

4. PDCA のマネジメントサイクル

江南市戦略計画は計画の策定[Plan]、実施[Do]、成果測定(評価)[Check]、改善[Action]というPDCAのマネジメントサイクルを確立することにより適切に運用します。



5. 江南市まちづくり会議の役割

各分野のまちづくり評価、市民の役割に関する意見交換を行い、基本計画の見直しの検討を行い、江南市戦略計画達成状況報告書を作成することが目的です。

①江南市まちづくり会議の委員

任期：平成24年10月から平成27年3月

人数：73名

【内訳】

分野別会議 68名：各分野に市民公募4名、各種団体代表4名、担当課長及び統括幹
全体会議 17名：学識経験者2名、分野別会議の正副会長、分野の代表課長

②市民代表の委員の役割

- ・ 市民の立場から各分野の達成状況の検証と達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・ 市民の立場から市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること
- ・ 市民の立場から各分野の基本計画の見直しについて、意見を述べること
- ・ 戦略計画を推進するための方法についてアイデアを出し、また、そのための活動を可能な範囲内で実践すること

③市職員の委員の役割

- ・ 各分野の計画の達成状況について、説明と検証を行うこと
- ・ 市役所の立場から各分野の計画の達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・ 市役所の立場から各分野の基本計画の見直しに向けた意見を述べること
- ・ 市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること

④江南市まちづくり会議の取り組み

《平成24年度》

施策評価結果について意見交換

(分野別会議12回、全体会議1回開催)

《平成25年度》

まちづくり評価、後期基本計画の見直し

(分野別会議11回、全体会議1回開催)

《平成26年度》

江南市戦略計画達成状況報告書の作成

(分野別会議10回、全体会議1回開催)



江南市まちづくり会議の様子

⑤結果の公表

江南市まちづくり会議での評価結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く市民が共有できるよう、「江南市戦略計画達成状況報告書」としてとりまとめ、広報、ホームページ等で公表していきます。

第2章 中期計画期間の重点戦略

中期計画期間においては「市民協働の推進」「安心・安全に暮らせる環境づくり」「子育て支援・次世代を担う人材の育成」「市民生活に直結する都市基盤整備」の4項目を重点戦略と位置づけ、施策を進めてきました。

1. 市民協働の推進

本市が将来像としてめざす「だれもが主役、みんなで築く、みんなの郷土」を実現するための礎となる「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」が制定され、平成23年4月より施行されました。これを契機として、市民との協働による地域社会のさらなる推進を図るため、平成24年1月に、公募市民、まちづくり組織等(NPO、自治会、事業所等)、学識経験者、市議会議員等で構成する江南市市民自治によるまちづくり基本条例推進委員会を設置し、市の市民参加のあり方を検討する中、平成25年12月定例会市議会において「江南市市民参加条例」が全員賛成で可決され、成立しました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
公募型協働支援補助事業	23・24・25	市民活動団体の補助
市民活動情報サイト運営事業	23・24・25	ホームページの開設・運営の委託
江南市市民参加条例制定	23・24・25	市民参加手続きの条例化の検討・制定
まちづくり懇談会制度	24・25	地域の話し合いの場に職員を派遣する制度の導入
市勢要覧作成事業	25	市制60周年記念市勢要覧の作成
市民参画事業	25	住民説明会の開催
議会広報事業	24・25	本会議一般質問のホームページ生中継



2. 安心・安全に暮らせる環境づくり

平成23年3月に発生した東日本大震災を受け、「安全」が暮らしにおける最も基礎的なニーズであることや、自分たちで災害から生命や財産を守る「自助」、近所や地域コミュニティ内で助け合う「共助」の重要性を再認識する契機となりました。こうした中、消防・防災・防犯・交通安全などの活動を通じ、地域全体で地域の安心・安全を守る取り組みを進め、誰もが安心して地域で暮らせる環境づくりに努めました。また、健康づくり、介護、生活困窮者支援などの福祉政策においては、予防・自立支援型への転換を図りました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
防災行政無線更新事業	23・24	防災行政無線の更新
防災センター建設事業	25	防災センターの建設
交通安全施設設置事業	23・24・25	道路照明・反射鏡等の設置・改修
救命救急士養成事業	23・24・25	救命救急士の養成
消防車両整備(更新)事業	23・24・25	消防車両の更新
介護保険ガイドブック等作成事業	24	介護保険ガイドブック等の作成
健康日本21こうなん計画策定事業	23・24	健康日本21こうなん計画の策定
健康管理事業	23・24・25	H25 から前立腺がん検診を追加して実施
予防接種事業	23・24・25	定期予防接種の実施・任意予防接種の助成
生活保護受給者就労支援事業	24・25	就労支援員の配置
洪水ハザードマップ作成事業	24	洪水ハザードマップの作成
民間木造住宅耐震診断・補強事業	23・24・25	無料耐震診断の実施、耐震工事の助成
災害時緊急用給水車導入事業	24	給水車 1 台購入
本庁舎耐震補強等事業	24・25	本庁舎耐震補強等改修工事の設計委託・工事



3. 子育て支援・次世代を担う人材の育成

少子化が進み、社会経済のさまざまな面での活力の低下が懸念される中、次世代を担う子どもたちの健全な成長は、未来への希望あふれるまちづくりの根本であり、ライフスタイルの多様化とともに、誰もが暮らしやすく、子どもたちがのびのび育つまちを実現していくことが求められています。こうしたことから、子育てに関する不安を取り除き、地域で安心して子どもを産み、楽しく育てることができるよう、地域全体で子育てをサポートするしくみや体制の整備を図りました。また、特色ある学校教育や、地域全体で教育を支えるしくみづくりなど、次世代を担う人づくりを進めてきました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
保育園指定管理者制度導入事業	23・24	H25 から古知野西保育園を指定管理者により運営
保育園空調設備改修事業	23・24・25	布袋北・布袋東・布袋保育園空調設備の改修
児童館等施設耐震補強事業	23	交通児童遊園の耐震補強工事
藤里学童保育所整備事業	23	余裕教室を整備し学童保育所を整備
母子家庭自立支援給付事業	23・24	母子家庭の自立促進
空調設備設置事業	23・25	小・中学校の特別教室の空調設備の設置
教材整備事業	23・24・25	学校で使用する教材の購入及びリース、管理
学校教育推進事業	23・24・25	学校現場での創意工夫による自立的な取組を支援
学校施設整備事業	23・24・25	小中学校施設整備
学校施設改造事業	23・24・25	経年劣化した校舎等の大規模な改修
体育館屋根改修事業	24・25	小・中学校の体育館屋根の改修と防水工事
地域学習活動支援事業	25	こども土曜塾の実施

4. 市民生活に直結する都市基盤の整備

高齢社会や人口減少社会が全国的に進む中、高度経済成長期に集中整備した社会資本が老朽化し、今後の維持管理や更新費が大きく膨れあがることが予想され、計画的な維持管理・更新が求められています。また、高齢社会への対応、環境への配慮、地域活性化への貢献など社会構造の変化にも対応した都市機能の維持・向上を図りながら社会資本を整備していくことが重要となります。こうした中、ライフスタイルや地域の特性に応じた住環境の中で生活し、身近な地域で様々な活動ができるよう、布袋駅付近鉄道高架化事業などによる市街地の整備や、公園、下水道整備など、市民生活の利便性や快適性に直結する都市生活基盤の整備を図りました。

〔具体的な取り組み内容〕

事業名	実施年度(H)	内容
都市計画基本図整備事業	23	都市計画基本図の整備
都市計画道路整備事業(江南岩倉線)	23・24	道路改修及び歩道設置
〃 (江南通線)	23	道路改修
〃 (江南通北線)	24・25	道路改修及び歩道設置
江南駅バリアフリー化対策事業	23・24	駅西にシェルター設置
江南駅前便所改修事業	24	バリアフリー化と施設改善
布袋駅付近鉄道高架化整備事業	23・24・25	鉄道高架化及び高架化に伴う周辺整備
布袋南部土地区画整理事業	23・24・25	建物等の移転補償及び道路・排水路等整備
布袋保育園周辺整備事業	23・24・25	保育園周辺整備
道路新設改良事業(市道江南小牧線)	24	道路の新設・改修及び歩道の改良
〃 (市道上奈良千秋線)	23	道路の新設・改修及び歩道の改良
〃 (市道後飛保和田線)	23・24・25	道路の新設・改修及び歩道の改良
主要市道改築事業	24・25	主要市道の舗装改修
橋りょう長寿命化事業	24・25	橋りょうの整備
都市公園長寿命化事業	25	公園施設の整備
蘇南公園テニスコート改修事業	23	テニスコートの改修
公共下水道事業	23・24・25	下水道施設の維持管理
雨水貯留施設設置事業	24・25	北部中学校の雨水貯留施設の設計・建設
市営山王住宅長寿命化事業	23・24・25	外壁・屋根の改修
簡易水道組合統合整備事業	23・24・25	基幹管路布設工事等



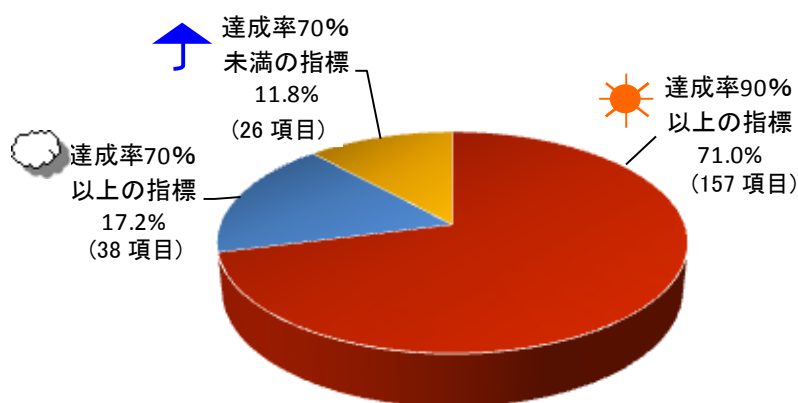
第3章 中期計画期間の達成状況

1. 全体の目標達成状況

「江南市戦略計画」の全指標の平均目標達成率は 94.6%となっています。また、達成率 90%以上の指標は、71.0%で、概ね目標を達成している状況といえます。

中期 H23～H25 (前期 H20～H22)

平均目標達成率（全体目標＋個別目標）	94.6%	(102.6%)
--------------------	-------	----------



《目標達成状況》	中期 H23～H25	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	100.1%	(115.3%)
個別目標の平均目標達成率	93.7%	(100.5%)
I 生活環境、産業分野	94.9%	(109.7%)
II 健康、福祉分野	93.9%	(99.1%)
III 都市生活基盤分野	90.1%	(99.6%)
IV 教育分野	87.9%	(105.6%)
V 経営、企画分野	102.0%	(95.1%)

※ 分野別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は 100.1%、個別目標の平均目標達成率は 93.7%で概ね目標達成している状況といえます。分野別の平均達成率では「I 生活環境、産業分野」が 94.9%、「II 健康、福祉分野」が 93.9%、「III 都市生活基盤分野」が 90.1%、「IV 教育分野」が 87.9%、「V 経営、企画分野」が 102.0%でした。

議会運営への支援などにより、「経営、企画分野」では高い達成率にある一方、「教育分野」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な成果

〔Ⅰ 生活環境、産業分野〕

- 有事の際の情報伝達力の強化
- 消防施設の充実強化及び救命率の向上
- 戸籍の電算化等による窓口サービスの向上
- 中小事業者・失業者の支援
- 事業所等への立入り調査等による公害の発生防止

〔Ⅱ 健康、福祉分野〕

- 介護予防事業及び相談窓口の充実
- 古知野西保育園への指定管理者制度導入
- 障害状況に応じた障害福祉サービスの提供
- 高く保たれた予防接種率、健康診査受診率
- 福祉医療の的確な給付
- 生活困窮者などの自立支援

〔Ⅲ 都市生活基盤分野〕

- 都市計画道路の整備による歩行空間の確保
- 道路・河川などの環境美化活動の支援による環境美化意識の向上
- ボランティア団体の連携進展、都市公園の利用促進
- 下水道整備区域の拡大
- 雨水貯留浸透施設設置費補助制度の改正
- 県・建築士との協働による適正な指導
- コンビニ収納の実施等による水道料金の収納率向上

〔Ⅳ 教育分野〕

- あいさつ運動などでの学校、家庭、地域の連携
- 職場体験学習の実施による生徒の進路選択能力育成
- 教育現場の実態の把握
- 市民ニーズに応えられる講演会・講習会等の開催
- 文化芸術活動や交流活動に関心をもつ市民の増加

〔Ⅴ 経営、企画分野〕

- 市ホームページのアクセス件数の増加
- 目標や使命を明確にした、効率的・効果的な業務執行
- より効率的・効果的な滞納処分の実施
- 歳計現金の安全かつ有利な運用
- 議会に関する情報発信の強化

● 主な今後の課題

- 地域の防犯・防災機能の向上
- 多様化・大規模化する災害・事故への対応
- 市内公共交通の充実
- 産業の活性化・観光客の誘客
- ごみ処理の広域化による新ごみ処理施設建設

- 高齢化の進展に即した活動支援
- 子どもを育てやすい環境整備・支援
- 障害のある人への支援体制の充実
- 健康診査、各種がん検診の受診率のさらなる向上と、こころの健康づくりへの対応
- 国民健康保険及び後期高齢者医療の健全で安定した運営
- 生活困窮者などの自立に向けた支援等の充実

- 江南駅付近の基盤整備
- 計画的・効率的な道路整備
- 花いっぱい運動の活性化
- 下水道普及率の向上
- 第3次江南市総合治水計画に基づく治水対策
- 木造住宅の耐震化の意識啓発、減災化の対応
- 水の安定供給、災害などへの危機管理体制の充実

- 開かれた学校づくりのさらなる推進
- 児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題への連携した取り組み
- 高齢者教室の会員の増加
- 文化芸術活動や交流活動の充実

- 公募型協働支援補助事業の採択数の増加
- 従来の業務執行体制の問題点等を解決するための組織編成の見直し
- 納税意識を高めるための広報活動の充実など、収納率向上に向けた対策の推進
- 円滑な事務管理の推進と電子自治体の充実
- 議会に関する情報発信の手段の検討
- 文化芸術活動や交流活動に関心をもつ市民の増加

《市民満足度の変化の状況》

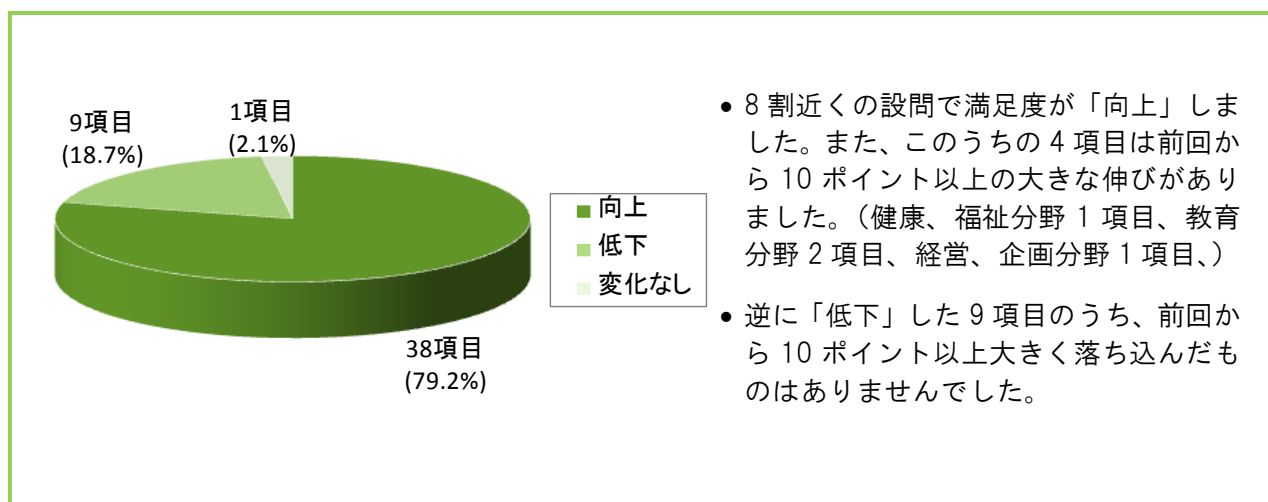
市民満足度がどのように変化したかを明らかにするため、「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」を実施しました。基本計画掲載の指標のうち、市民の満足度や行動の実践度を示す指標 48 項目について、それぞれ前回調査からの満足度の変化を確認しました。

前回調査とは

平成 22 年 5 月に実施した同名の調査をいいます。

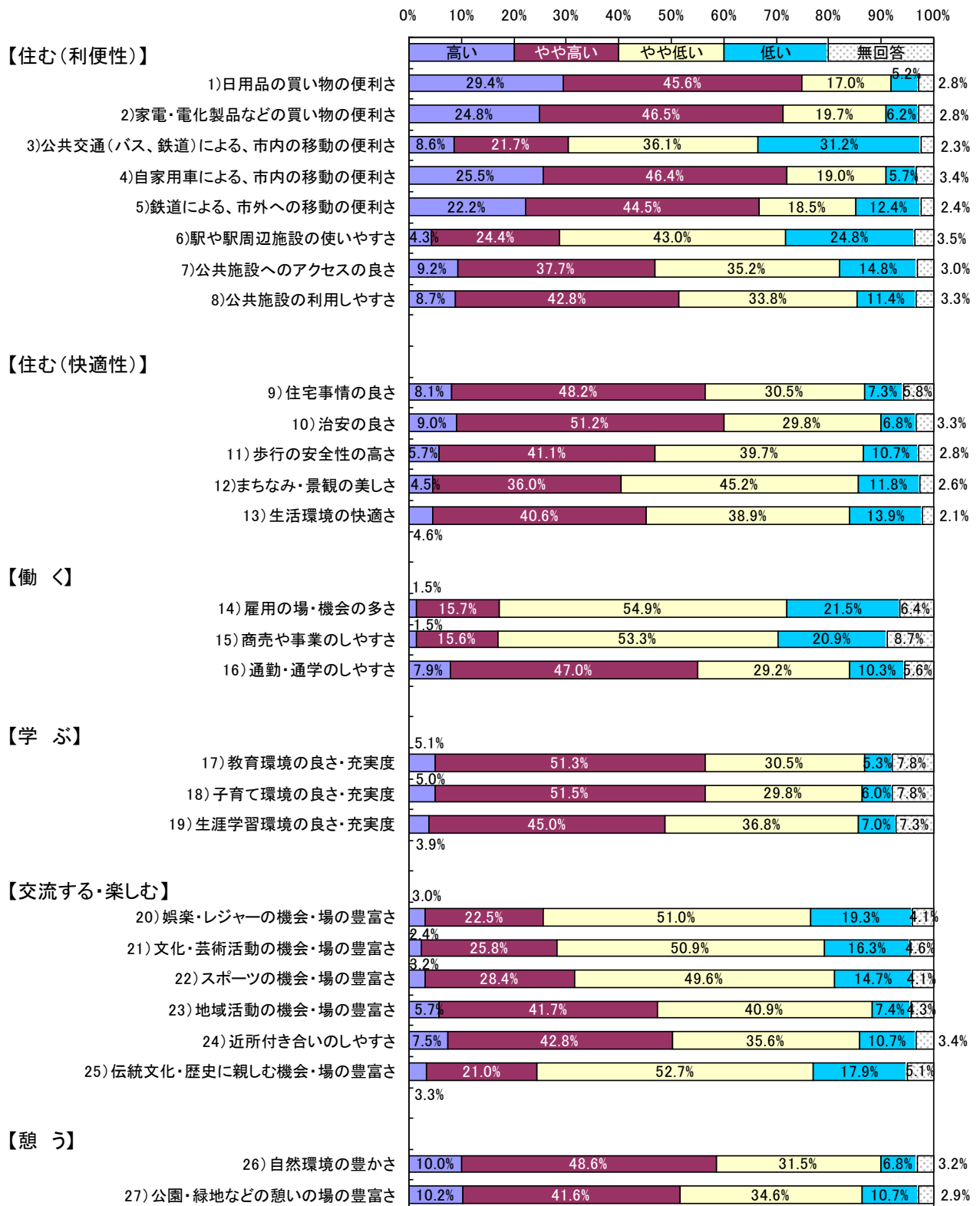
満足度とは

各設問について、5 つの選択肢のうち上位の 2 つ(「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答)を選択した人の割合を満足度としています。



《生活都市の実現状況について》

平成 25 年 4 月実施 江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査結果



2. 各分野の目標達成状況

I 生活環境、産業分野

市民がいきいきと働き、地域が活力にあふれ、
市民は安心・安全、快適・便利に暮らしている。

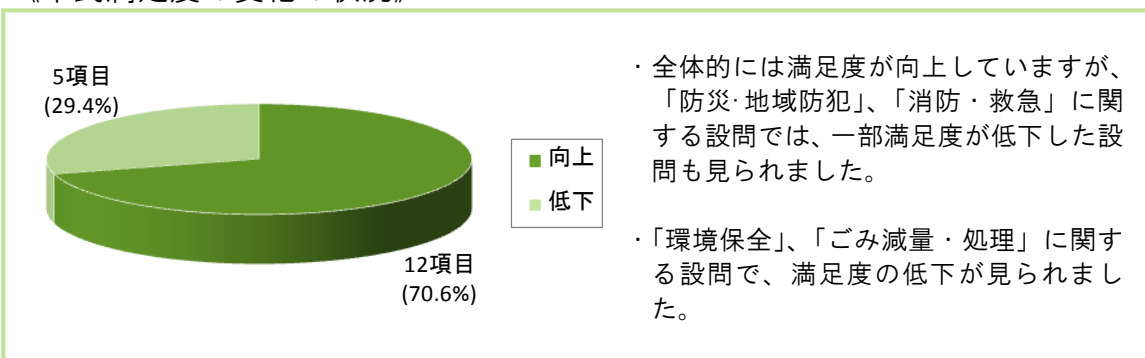
《目標達成状況》	中期 H23～H25	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	95.3%	(117.7%)
個別目標の平均目標達成率	94.9%	(108.4%)
柱1 防災・地域防犯・交通安全	97.5%	(109.2%)
柱2 消防・救急	100.2%	(114.7%)
柱3 市民生活	99.1%	(108.5%)
柱4 産業振興・雇用就労	83.0%	(102.6%)
柱5 環境保全	93.3%	(85.2%)
柱6 ごみ減量・処理	109.8%	(137.3%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は 95.3%、個別目標の平均目標達成率は 94.9% で概ね目標達成している状況といえます。その内訳は「柱1 防災・地域防犯・交通安全」関係が 97.5%、「柱2 消防・救急」関係が 100.2%、「柱3 市民生活」関係が 99.1%、「柱4 産業振興・雇用就労」関係が 83.0%、「柱5 環境保全」関係が 93.3%、「柱6 ごみ減量・処理」関係が 109.8% でした。

犯罪や災害への不安が少なく、消防・救急体制が整い、また、ごみ減量やりサイクルを取り入れた生活環境により、市民は安心・安全に暮らしている状態にあるものの、「産業振興・雇用就労」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



II 健康、福祉分野

地域全体で子育てや介護などを支援し、
市民が健康で自立した生活をし、安心していきいきと暮らしている。

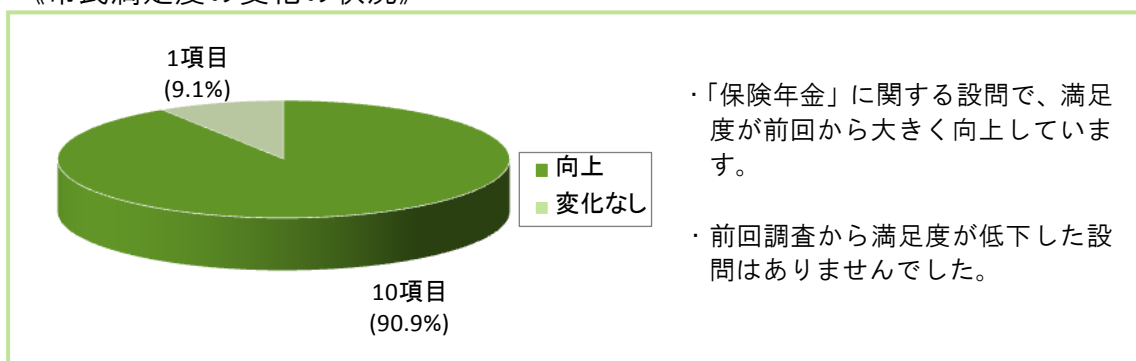
《目標達成状況》	中期 H23～H25	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	102.4%	(119.4%)
個別目標の平均目標達成率	93.9%	(96.0%)
柱1 高齢者福祉	89.5%	(93.0%)
柱2 子育て	85.6%	(84.4%)
柱3 障害者福祉	101.3%	(80.3%)
柱4 健康づくり	95.9%	(105.3%)
柱5 保険年金	99.5%	(97.4%)
柱6 生活支援・福祉活動	105.8%	(113.9%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は、102.4%で目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は93.9%で、その内訳は「柱1 高齢者福祉」関係が89.5%、「柱2 子育て」関係が85.6%、「柱3 障害者福祉」関係が101.3%、「柱4 健康づくり」関係が95.9%、「柱5 保険年金」関係が99.5%、「柱6 生活支援・福祉活動」関係が105.8%でした。

地域全体で障害者などを支援し、住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らしているといえます。しかし、「高齢者福祉」、「子育て」のように、個々の指標の達成状況が低いものもあり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



III 都市生活基盤分野

都市生活基盤が整備され、
全ての市民が快適で安心・安全な生活をしている。

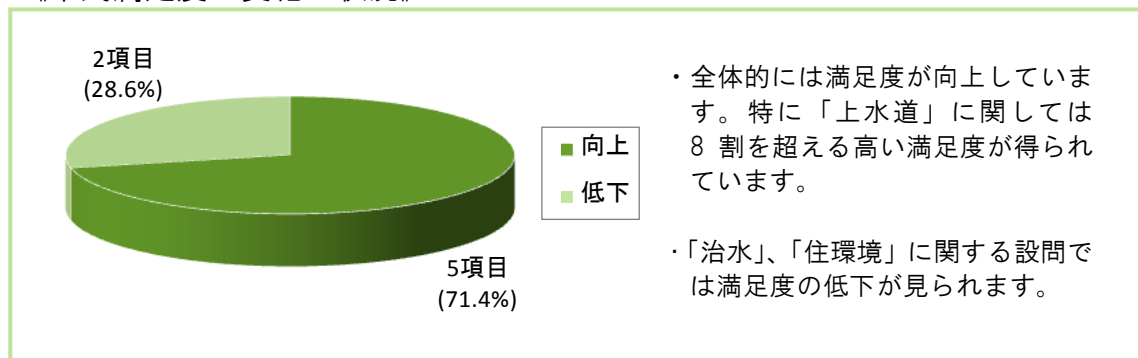
《目標達成状況》	中期 H23～H25	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	97.4%	(115.1%)
個別目標の平均目標達成率	90.1%	(95.6%)
柱1 市街地整備	102.1%	(102.7%)
柱2 道路	83.9%	(82.5%)
柱3 公園緑地	95.7%	(114.2%)
柱4 下水道	100.8%	(99.4%)
柱5 治水	59.2%	(53.8%)
柱6 住環境	94.3%	(96.6%)
柱7 上水道	99.8%	(100.9%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は、97.4%で目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は90.1%で、その内訳は「柱1 市街地整備」関係が102.1%、「柱2 道路」関係が83.9%、「柱3 公園緑地」関係が95.7%、「柱4 下水道」関係が100.8%、「柱5 治水」関係が59.2%、「柱6 住環境」関係が94.3%、「柱7 上水道」関係が99.8%でした。

市街地、公園、水道施設などが整備され、市民は安心して暮らしている状態にあるものの、「道路」「治水」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



IV 教育分野

次世代の社会を担う豊かな人間性と学力をもった子どもが育っているとともに、市民が生涯にわたり学び、それを地域社会に活かしている。

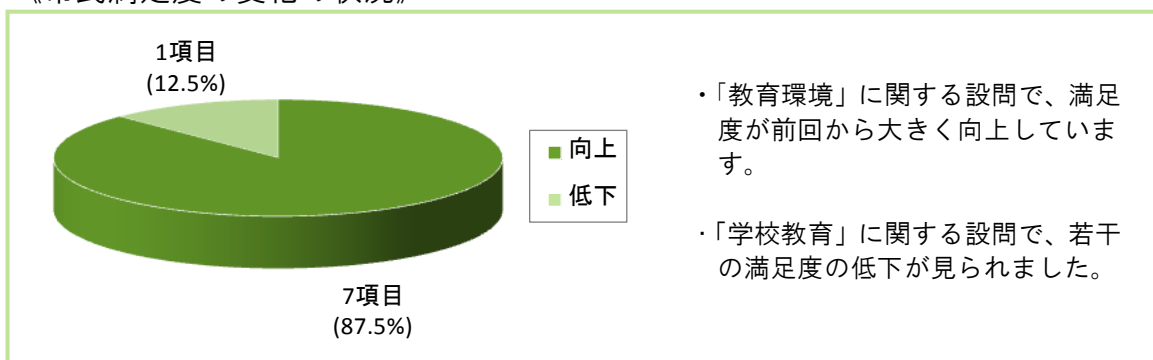
《目標達成状況》	中期 H23～H25	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	99.1%	(118.0%)
個別目標の平均目標達成率	87.9%	(104.1%)
柱1 学校教育	83.2%	(88.3%)
柱2 教育環境	85.0%	(81.3%)
柱3 生涯学習	87.0%	(100.5%)
柱4 文化・交流	98.7%	(135.0%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は、99.1%で概ね目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は87.9%で、その内訳は「柱1 学校教育」関係が83.2%、「柱2 教育環境」関係が85.0%、「柱3 生涯学習」関係が87.0%、「柱4 文化、交流」関係が98.7%でした。

「学校教育」については、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができているものの、達成状況は83.2%にとどまり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



V 経営、企画分野

市民と市役所との信頼関係のもとに協働型社会が構築されており、限られた経営資源の中で最大の成果を実現し、効率的で公平かつ適正な行財政運営が行われている。

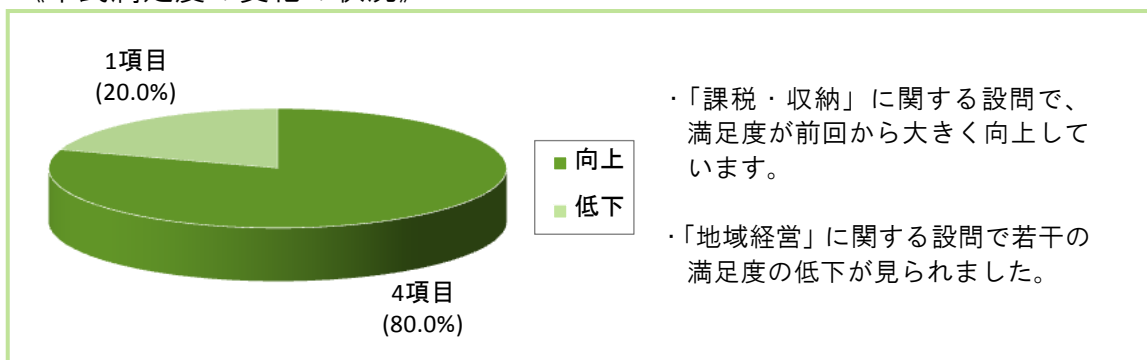
《目標達成状況》	中期 H23～H25	(前期 H20～H22)
全体目標の平均目標達成率	109.0%	(101.0%)
個別目標の平均目標達成率	102.0%	(94.3%)
柱1 地域経営	66.3%	(84.5%)
柱2 行政経営	115.8%	(96.2%)
柱3 課税・収納	80.7%	(78.4%)
柱4 行政事務管理	111.6%	(101.2%)
柱5 議会運営への支援	189.2%	(150.5%)

※ 柱別の平均達成率は全体目標及び個別目標のすべての指標を集計

全体目標の平均目標達成率は、109.0%で概ね目標達成している状況といえます。個別目標の平均目標達成率は102.0%で、その内訳は「柱1 地域経営」関係が66.3%、「柱2 行政経営」関係が115.8%、「柱3 課税・収納」関係が80.7%、「柱4 行政事務管理」関係が111.6%、「柱5 議会運営への支援」関係が189.2%でした。

「議会運営への支援」の達成率が大きく伸びているほか、「行政経営」、「行政事務管理」の達成状況も良好であり、公平かつ適正な行財政運営が行われている状況であるものの、「地域経営」の達成率が低く、めざすべき協働型社会の構築に向け、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度の変化の状況》



I 生活環境、産業分野

**市民がいきいきと働き、地域が活力にあふれ、
市民は安心・安全、快適・便利に暮らしている。**

柱1 安心・安全な地域づくり【防災・地域防犯・交通安全】

犯罪や事故が少なく、災害への備えのある、安心・安全な地域社会になっている。

柱2 消防・救急体制の充実【消防・救急】

火災や事故、災害などの発生や被害が最小限に食い止められている。

柱3 快適で便利な日常生活の確保【市民生活】

市民が困らずに、不安を感じずに、快適・便利に日常生活を送っている。

柱4 生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興 【産業振興・雇用就労】

市民の生活産業などが活性化し、地域に雇用の場が確保され、活力あふれる、住みやすいまちとなっている。

柱5 自然と調和した快適な生活環境の確保【環境保全】

公害が少なく、自然が保全され、環境と調和した市民生活や地域活動が営まれている。

柱6 ごみ減量と適切な処理の推進【ごみ減量・処理】

地域全体でごみ減量やリサイクルの取り組みが進められ、適切なごみ処理が行われている。


まちづくり評価シート

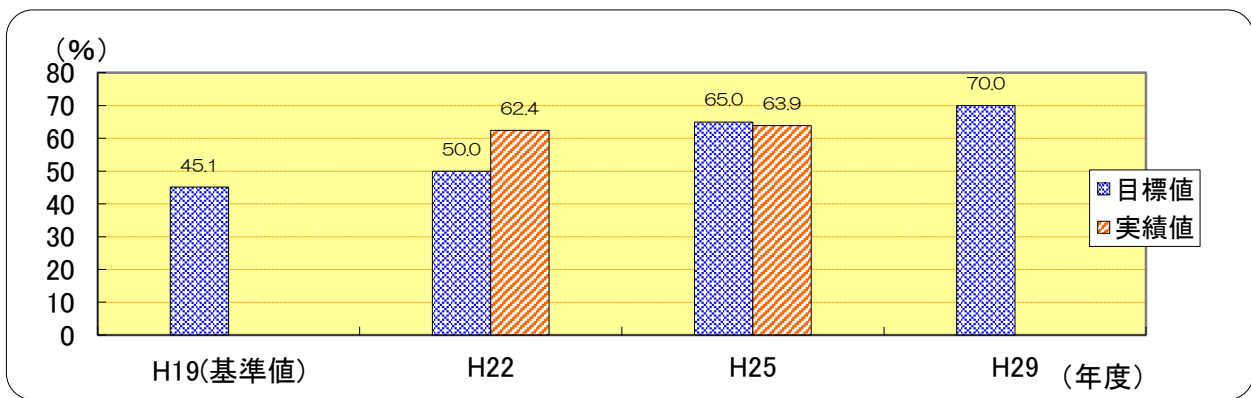
危機管理室【担う分野：I 生活環境、産業分野】

防災安全課【担う柱：1 安心・安全な地域づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている。


指標名	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	65.0	自主防災訓練、総合防災訓練、防災資機材の助成、地域安全パトロール隊への活動促進事業、交通安全啓発活動等を継続しながら、新たに同報系行政防災無線、防災ラジオを整備することにより、概ね目標は達成しているが、東日本大震災発生を受けて、南海トラフ巨大地震への懸念が高まり、実績値としては微増に留まっている。
実績値		45.1	63.9	
達成率	%	—	98.3	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

戦略計画に掲げられた目標値は概ね達成できているが、今後も大規模災害に対する行政面での体制づくりや交通安全、防犯などに対しても適切な対応を継続する必要がある。
また、防災センター建設による市民の期待に応えるべく、さらに安心して暮らせる街であると実感できる取り組みが必要である。

個別目標① 災害への備えが行われている

指標名	非常持ち出し品や食料などを準備している市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	42.0	43.0	45.0	・自主防災組織運営事業 ・災害時対応事業 ・総合防災訓練事業
実績値		14.4	—	—	43.6	
達成率	%	—	—	—	96.9	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	自主防災訓練などに継続的に取り組み、訓練の中で避難所の備蓄品目、備蓄量を知り、自分たちの食料、水は自分たちで用意する大切さを学んだ。 5市町合同防災カレッジや各種研修会、講習会に参加し、災害は発生してからではなく、発生する前の予防、準備や心構えが大切であることを学んだ。
市役所	自主防災会会長会議を開催し、自主防災会の意見等を聴取し、その上で、自主防災会主催による防災訓練を支援した。 自主防災訓練の中で、防災に対する啓発活動を行った。 5市町合同防災カレッジをはじめとした各種講演会などを開催した折に、災害に対する備えの重要性を啓発した。




指標名 防災用資機材助成の申請率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	90.0	93.0	95.0	・自主防災組織運営事業
実績値		83.8	80.9	82.3	79.4	
達成率	%	—	89.9	88.5	83.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	自分たちの地域は自分たちで守るという意志のもと、各地区が所有する資機材の保守、充実を図った。					
市役所	自主防災会会長会議の中で資機材助成金の申請方法について説明するとともに、災害時における初動体制の充実を図った。					

指標名 危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	37.0	38.0	40.0	・地域防災計画作成事業 ・防災行政無線更新事業 ・災害時対応事業 ・有事関連事業
実績値		25.4	—	—	35.5	
達成率	%	—	—	—	88.8	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	愛知県が主催する国民保護に関する講演会に参加し、知識の向上を図るとともに、周辺自治体との情報共有を行った。					
市役所	市民の安全を確保するため、国民保護計画、地域防災計画を適切に運用するとともに、緊急事態等対処計画の策定に向けて取り組んだ。 同報系防災行政無線、あんしん・安全ねっとメールサービス等の保守管理とともに、テスト配信、及びテスト放送を行い、有事の際の対応に万全を期した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>自らの命は自らで守るという災害対応の基本を、市民一人ひとりの防災に関する考え方として広げていくよう、さまざまな機会を通じて、継続的に啓発する。</p> <p>区長・町総代会や自主防災会会長会議の折に、防災資機材の整備を含めた自主防災組織の役割や地域コミュニティの重要性を説明することにより、地域防災力の向上を図っていく。</p> <p>同報系防災行政無線を含む災害情報の収集、伝達システムの適正な管理に努める。</p> <p>被災地支援には、要請に応じて適宜人員を派遣できるよう準備、調整を図る。</p> <p>地震を想定したBCP(業務継続計画)の作成について検討していく。</p> <p>災害データを蓄積させることにより、迅速な災害対応が可能となるように、防災システムを適切に運用していく。</p>	




個別目標に対するまちづくり評価	
<p>東日本大震災での報道等を見聞きして、初動体制の確立、災害予想や災害復旧の困難さを再認識することができた。</p> <p>この地域でも、近い将来大きな地震が発生する可能性が極めて高いことから、災害復旧にかかる主体を行政と地域が連携して取り組んでいける関係を構築していく必要がある。</p>	

個別目標② 地域の防犯体制が整い、犯罪が減っている

指標名		犯罪発生件数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	件	—	1,600	1,500	1,410	・防犯対策事業
実績値		1,850	1,491	1,364	1,245	
達成率		%	—	107.3	110.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	広報こうなんやあんしん・安全ねっとメールサービスを活用し、防犯や犯罪情報などの情報を収集し、防犯対策を実施した。
市役所	広報こうなんやあんしん・安全ねっとメールサービスを活用し、防犯や犯罪情報などの情報提供や防犯対策啓発活動などを実施した。

指標名		地域安全パトロール実施率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	80.0	90.0	94.1	・防犯対策事業
実績値		59.2	91.1	91.1	92.6	
達成率		%	—	113.9	101.2	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地域安全パトロール隊としてパトロール巡回を実施した。
市役所	地域安全パトロール隊とのパトロール巡回や地域安全パトロール隊や江南警察署、関係機関などと防犯啓発活動を合同で実施した。江南警察署からの犯罪状況を各地域安全パトロール隊へ情報提供を実施した。




目標達成のための今後の展開方針

地域安全パトロール隊のパトロール巡回に加え、防犯啓発活動の実施を推進する。
各地域安全パトロール隊や市、江南警察署、関係機関との連携を強化する。

個別目標に対するまちづくり評価

地域安全パトロール隊は、各地域などで設置・実施され、高い割合となっているが、参加者は固定化と高齢化の傾向にあり、中身を強化・推進する対応が必要である。
刑法犯罪発生件数は減少しているが、凶悪な事件も発生しているため、警察や関係機関などと連携を密に対応していかなければいけない。

個別目標③ 交通事故が減っている

指標名	交通事故発生件数(人身事故)					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	件	—	640	610	580	
実績値		698	593	625	576	
達成率		%	—	107.9	97.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	交通事故の危険箇所の調査、検証を実施し、市や警察に改善要望を提出した。
市役所	交通事故の危険箇所や地域からの要望に対する交通安全施設の設置や交通安全施設の保守点検、地域ボランティアや江南警察署などと交通安全啓発活動を実施した。

目標達成のための今後の展開方針

江南警察署から交通事故の原因など詳細に情報収集し、その状況を交通安全啓発活動や交通安全施設の設置箇所などの資料として利用する。
交通安全施設設置事業として、道路照明灯、道路反射鏡、道路区画線、道路警戒標識等の設置工事、照明灯の改修をする。
道路ストック管理事業として、道路照明灯の点検を実施し、その結果をもとに修繕計画を策定する。

個別目標に対するまちづくり評価

毎年、交通安全施設設置事業として、道路照明灯や道路反射鏡などの設置や交通安全教室等を実施し、交通事故の減少に努めている。しかし、愛知県の死亡事故者数は、全国ワースト1位となっており、ソフトとハードの両面で対策を継続していく必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

総合防災訓練及び校下別自主防災会合同訓練の実施、防災資機材の助成などを継続的に実施したことにより、市民の防災意識、地域の防災力をある程度高めることができた。
同報系防災行政無線、移動系防災行政無線、防災ラジオ、全国瞬時警報システム(J-アラート)と連動したあんしん・安全ねっとメールサービス、緊急速報エリアメールなど各方面からの情報伝達手段を整備し、有事の際の情報伝達力を強化したことにより、安心・安全なまちづくりに貢献した。
地域安全パトロール隊への活動促進事業、交通安全啓発活動等を通して、社会的影響の大きい犯罪や交通事故の減少・防止に寄与することができた。

◆柱全体の今後の課題

今後も事業を継続していく上で、コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防犯・防災機能が徐々に低下していくことが考えられるため、市役所がいかに地域の自主的活動を支援していくかが大きな課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

区長、自主防災会会長、地域安全パトロール隊など地域の安全・安心を守るリーダー役の高齢化が進んでいるので、今後は若いリーダーがコミュニティの中でのまとめ役、市役所とのパイプ役を担い、かつ、継続して活動することができるよう自治会に要請する。
すでに整備済みの情報伝達手段の保守点検を実施し、効果的に活用することにより、有事の際に、確実に情報が伝達できるように努める。
また、交通安全施設に関しても、交通通事故危険箇所への効果的な新設や既存の交通安全施設の保守点検を実施し、交通安全に寄与するよう努める。


まちづくり評価シート

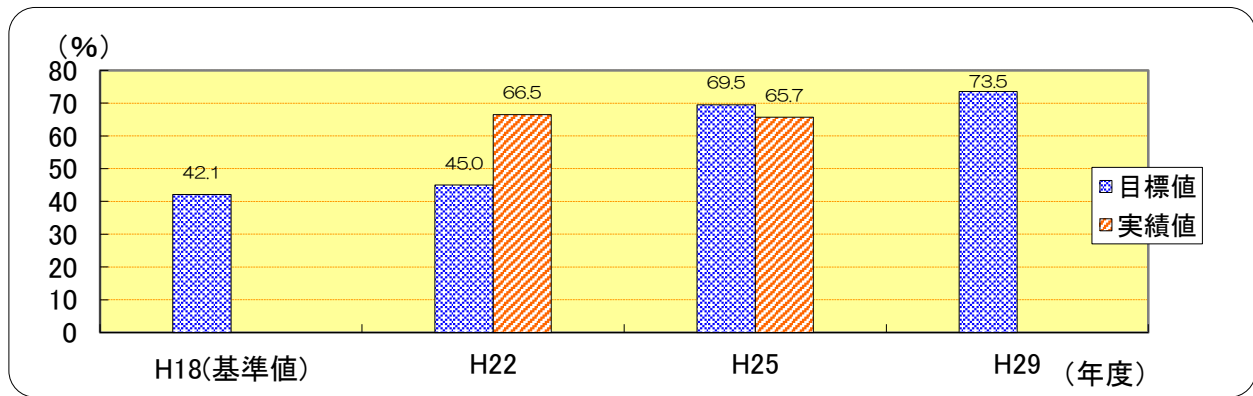
消防本部【担う分野: I 生活環境、産業分野】

総務予防課、消防署【担う柱: 2 消防・救急体制の充実】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている




指標名	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	69.5	平成25年4月に実施した市民満足度調査結果により、実績値65.7%という結果ではあるが、平成29年度の目標値73.5%に向けて、今後も災害に対する迅速かつ的確な対応はもちろんのこと、常備消防の普通救命講習や住宅用火災警報器の普及啓発、消防団員による市行事等の警備や地元住民に対する訓練指導等を実施していくことにより、さらに市民の満足度が上昇すると思われる。
実績値		42.1	65.7	
達成率	—	94.5		
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価




平成29年度の目標値に向けて、今後も消防署と消防団の連携をさらに強め、災害活動に対し、迅速かつ的確に対応し、市民の生命財産を保護していただくとともに、市民に対して普通救命講習の開催や住宅用火災警報器の普及啓発、消防団員による地元住民への訓練指導等を引き続き実施し、市民満足度の上昇をめざしていただきたい。




個別目標① 消防・救急体制が充実している




指標名	消防団員(水防団員)の充足率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・消防団運営事業
実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率		—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	消防団車庫、事業所等へのポスターの掲示、市ホームページへの掲載、全家庭への回覧板等により消防団員募集を確認し、消防団員を確保できるように積極的に協力した。
市役所	消防団車庫、事業所等へのポスターの掲示、市ホームページへの掲載、区長・町総代へのお願い文書により消防団員募集に努めた。

指標名 消防水利の充足率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	84.6	85.0	85.5	・施設等整備事業
実績値		82.2	83.3	83.4	83.8	
達成率	%	—	98.5	98.1	98.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	新設された消防水利(耐震性貯水槽・消火栓)の設置地区の住民が、標識等により、消防水利の場所を確認し、安心して生活することができた。					
市役所	消防水利の包含されていない区域を考慮しながら、耐震性貯水槽・消火栓の設置場所を選定し、充足率の向上に努めた。					

指標名 救急救命士有資格者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	19	20	21	・救急救命士養成事業
実績値		13	21	22	23	
達成率	%	—	110.5	110.0	109.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	高規格救急自動車に救急救命士が常時同乗することにより、円滑かつ的確な救急処置を受けることができた。					
市役所	高規格救急自動車を運用するにあたり、救急救命士の高齢化に対応するため、毎年1名の救急救命士を養成した。					

指標名 救急救命士運用者数						
	単位	H22 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	17	18	19	・救急救命士養成事業
実績値		16	18	18	20	
達成率	%	—	105.9	100.0	105.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	高規格救急自動車に救急救命士が常時同乗することにより、円滑かつ的確な救急処置を受けることができた。 現場経験豊富な救急救命士から、応急手当講習を受講することにより、専門的な知識・技術を学ぶことができた。					
市役所	高規格救急自動車を運用するにあたり、19名の救急救命士運用体制を整備し、救急事案に対応した。					




目標達成のための今後の展開方針

消防団員の充足率100%を維持できるよう、今後も募集PR活動を継続していく。
耐震性貯水槽、消火栓は毎年新設を計画して消防水利の充足率向上を図るとともに、老朽化した防火水槽の延命化を検討していく。
消防車両にあつては、更新年数、排出ガス規制車両を含めて、計画的に更新を図っていく。
年々増加する救急需要に対応するため、毎年1名の救急救命士を養成して救命率の向上を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価




消防団員の充足率は100%で、団員募集の努力は評価できる。今後も消防団員の定数を満たすようお願いしたい。
南海トラフ巨大地震の緊迫性が叫ばれている中、耐震性貯水槽は必要不可欠であり、今後においても、老朽化した防火水槽から耐震性貯水槽への更新も含めて、消防水利の充足率向上をお願いしたい。

個別目標② 防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている

指標名	防火管理者の選任率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	84.1	84.6	85.1	・防火管理事業
実績値		66.4	84.8	86.5	86.9	
達成率		—	100.8	102.2	102.1	
達成状況	—	—				


取り組みの状況

市民	防火管理者が必要な事業所の関係者については、講習の受講や選任の届出をした。
市役所	防火管理者を必要とする対象物の関係者に対し、管理者や所有者自らが中心となって建物の防火安全対策等を行うことができる甲種と乙種の防火管理講習会を実施した。また、立入検査の折に防火管理の説明を行い、管理者が必要な事業所には講習会への受講や届出の案内を行い、選任率の向上に努めた。

指標名	危険物施設の立入検査改善施設指示率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	16.0	15.5	15.0	・危険物製造所等立入検査事業
実績値		24.9	21.2	17.9	16.9	
達成率		—	75.5	86.6	88.8	
達成状況	—	—				




取り組みの状況

市民	危険物施設等への立入検査を受けることにより、危険物の貯蔵・取扱の不備事項を知ることができ、改善することによって危険物事故を未然に防ぐことができた。
市役所	危険物施設等の状況を把握するために立入検査を行い、危険物の貯蔵・取扱等の改善を指示することによって、危険物火災・漏洩等の災害を防ぐことができた。

指標名 住宅用火災警報器の設置率						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	53.3	56.6	60.0	・火災予防事業
実績値		20.9	—	—	67.7	
達成率	%	—	—	—	112.8	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	住宅の寝室及び台所に住宅用火災警報器を設置することで、火災発生を初期に知ることができ、安心して生活をおくることができた。					
市役所	広報こうなん、懸垂幕、のぼり、車両広報、街頭啓発、防火診断等で幅広く市民へ広報し、住宅用火災警報器の設置を向上させることができた。					

目標達成のための今後の展開方針	
立入検査と検査内容の充実を図ることにより、より多くの事業所に対して防火を啓発していく。危険物事故防止のため、継続してすべての危険物施設に対し立入検査を実施する。高齢者宅において住宅用火災警報器が設置されていないことが多いことから、高齢者を中心とした設置啓発活動を実施していく。また、適切な維持管理についても啓発していく。	
個別目標に対するまちづくり評価	
業務内容によって一般事業者、危険物関係事業者又は市民等と相手方が異なるが、共通の最終目標は防火意識の向上による無火災であると考えられるので、積極的な活動をしていただきたい。	




個別目標③ 救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

指標名 応急手当講習の受講者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	5,400	5,500	5,600	・応急手当普及啓発事業
実績値		4,817	4,863	5,562	5,338	
達成率	%	—	90.1	101.1	95.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	普通救命講習 951人、応急手当講習 4,387人の市民が積極的に参加した。					
市役所	市民等に対し、応急手当の普及啓発を行った。					

指標名 薬剤投与救急救命士運用者数						
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	14	15	16	<ul style="list-style-type: none"> ・救急出動事業 ・救急資機材整備・保全事業 ・救急業務高度化推進事業 ・救急訓練事業
実績値		7	16	17	19	
達成率	%	—	114.3	113.3	118.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	救急現場にて市民が胸骨圧迫等の応急手当を実施し、薬剤認定救命士が薬剤投与をすることにより救命につながった。					
市役所	救急救命士の内19人が薬剤投与の認定を受けた。 平成25年の薬剤投与は12件あり、その内7件の心拍が再開した。					

指標名 心拍再開率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	25.0	26.0	27.0	<ul style="list-style-type: none"> ・救急資機材整備・保全事業 ・救急出動事業 ・救急業務高度化推進事業 ・救急訓練事業 ・救急救命士等病院実習事業
実績値		13.0	27.5	27.7	21.4	
達成率	%	—	110.0	106.5	79.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	救急現場にて市民が胸骨圧迫等の応急手当を実施した。					
市役所	応急手当の普及活動、薬剤投与、気管挿管のできる救急救命士の育成、病院実習等により資質の向上を図り、救命率向上に努めた。					

指標名 火災現場到着所要時間						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	分	—	7.7	7.6	7.5	<ul style="list-style-type: none"> ・警備事業 ・指揮事業 ・警備資機材整備・保全事業 ・地水利調査事業 ・消防訓練事業
実績値		7.9	8.8	7.3	7.6	
達成率	%	—	87.5	104.1	98.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市民等は災害場所、内容等を的確に消防署に通報した。					
市役所	火災現場到着所要時間は、現場の遠近で到着時間が変わるものの、119覚知から出動までの出動時間の短縮に努めた。					

指標名		救急現場到着所要時間				
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	分	—	6.5	6.5	6.4	・救急出動事業 ・救急資機材整備・保全事業 ・救急訓練事業 ・救急調査事業
実績値		6.6	6.4	6.4	6.4	
達成率	%	—	101.6	101.6	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	市民等は災害場所、内容等を的確に消防署に通報した。
市役所	救急現場到着所要時間は、現場の遠近で到着時間が変わるので、119覚知から出動までの出動時間の短縮に努めた。

目標達成のための今後の展開方針
<p>応急手当、AED設置にあつては、広報等を積極的に行い、啓発に努めていく。</p> <p>応急手当普及員を養成し、普及啓発活動の強化に努める。</p> <p>気管挿管、薬剤認定救急救命士を育成するとともに、救急支援による病院到着の短縮により救命率の向上に努める。</p> <p>火災(救急)現場到着所要時間は、覚知から出動までの時間の短縮に努める。</p> <p>消防救急無線デジタル化等に向けて、共同化を行う各消防本部と密に連携をとり、しっかりと協議をして事業を進める必要がある。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>応急手当の必要性を市民等に広く周知して、応急手当講習受講者を増大させ、AEDの活用、胸骨圧迫等がすばやく実施できるようにし、救命率の向上、社会復帰者の増加をめざしてもらいたい。</p> <p>119覚知から出動までの時間の短縮に努めてもらいたい。</p>

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
<p>消防団分団班車庫の建設、最新の消防車両への更新等、耐震性防火水槽の設置及び消防施設(消防訓練用地取得及び整備)の充実・強化を図ることができた。普通救命講習を開催することにより、救命率向上を図ることができた。防火対象物、危険物施設への立入検査を実施することにより、火災予防の徹底を図ることができた。総合防災訓練並びに自主防災訓練等を通じ、応急手当指導、住宅用火災警報器の普及啓発、消防団員による訓練指導を実施することにより、市民の消防に対する理解、協力、認識を深めることができた。</p> <p>平成28年6月からの消防救急無線デジタル化に伴い、尾張中・北部(小牧・岩倉・犬山・江南・丹羽広域・西春日井広域消防本部)圏域で協議し、平成28年4月からの消防通信指令事務の共同運用の協議が進められた。</p>

◆柱全体の今後の課題
<p>救急救命士の高齢化に伴い、順次増員を図る必要がある。</p> <p>通信指令業務の共同運用に係る経費の増大が見込まれることから、経費を必要最低限に抑え、最大の効果を得る必要がある。</p> <p>多様化・大規模化する災害や事故に的確に対応するため、全国的に消防広域化が進められているところであり、大規模な消防体制の構築に積極的に取り組む必要がある。</p>

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
<p>高規格救急自動車を運用するにあたり、救急救命士19人体制を維持し、さらなる救命率の向上をめざしていく。</p> <p>消防広域化については、尾張中・北部(小牧・岩倉・犬山・江南・丹羽広域・西春日井広域消防本部)圏域で、通信指令業務の共同運用の効果を見据えながら検証をし、消防広域化をめざして協議していく。</p>


まちづくり評価シート

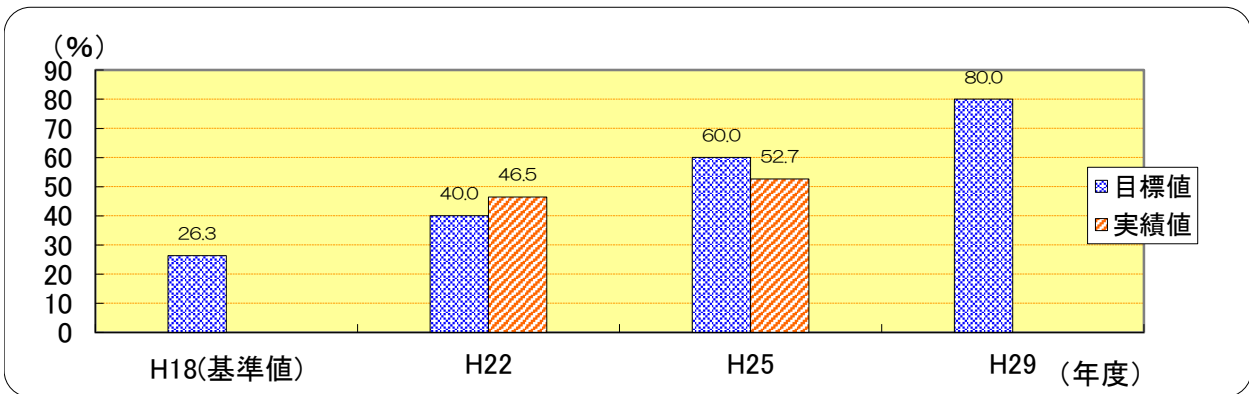
生活産業部【担う分野：I 生活環境、産業分野】

市民サービス課【担う柱：3 快適で便利な日常生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 市民が日常生活に困ることなく便利に暮らしている




指標名	迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 平成25年度の目標値には及ばなかったが、窓口サービスの向上、各種相談の充実、いこまいCAR(予約便)の利用増加等により、市民の満足度は、着実に上昇している。
目標値	%	—	60.0	
実績値		26.3	52.7	
達成率	%	—	87.8	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

戸籍の電算化をはじめ、番号案内表示機の設置、フロアマネージャーの導入など諸証明を請求する際、気軽に安心して請求し、受領することができ、窓口サービスの向上につながった。
各種相談については、各種専門相談員からの適確な助言により、ある程度の悩みごとが解消した。
いこまいCAR(予約便)の利用も年々増加し、特に高齢者の病院等へ行く足になっている。

個別目標① 専門家による相談を受け安心して暮らしている




指標名	消費生活講座の受講者数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・消費生活事業
目標値	人	—	220	230	230	
実績値		166	205	232	214	
達成率	%	—	93.2	100.9	93.0	
達成状況	—	—				




取り組みの状況

市民	6回の消費生活講座で延べ214人が受講し、生活に役立つ知識を習得した。
市役所	賢い消費者を育成するため、一般市民向けに4回、親子向けに1回、消費者モニター向けに1回開催した。

指標名 相談を受けて、悩みごとが解消した割合(消費者相談)						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	80.0	80.0	85.0	・市民相談事業
実績値		75.0	—	—	—	
達成率		—	—	—	—	
達成状況		—	—	—	—	
取り組みの状況						
市民						
市役所						

指標名 相談を受けて、悩みごとが解消した割合(弁護士などの専門家による相談)						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	70.0	70.0	75.0	・市民相談事業
実績値		66.7	—	—	—	
達成率		—	—	—	—	
達成状況		—	—	—	—	
取り組みの状況						
市民						
市役所						

指標名 消費生活相談の件数						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	75	80	80	・市民相談事業
実績値		67	76	68	93	
達成率	%	—	101.3	85.0	116.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	消費生活に関する専門的な知識をもつ相談員に相談した。					
市役所	消費生活相談を毎週水曜日に開催した。					

指標名 弁護士など専門家による相談の件数						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	600	620	620	・市民相談事業
実績値		576	606	654	654	
達成率	%	—	101.0	105.5	105.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	弁護士、司法書士など専門家に相談した。					
市役所	法律相談など専門的な各種相談を定期的で開催した。					




目標達成のための今後の展開方針

消費生活事業については、国の活性化事業に取り組み、悪質商法等の未然防止や消費生活に関するさまざまな問題についても啓発する。高齢者を狙った悪質商法等が年々増加しており、未然防止対策が不可欠となっているが、8箇所ある県民生活プラザが1箇所に統合される予定であるため、今後、消費生活相談件数の増加が予想される。消費生活相談の内容もますます複雑化・高度化しており、相談体制の質の向上や充実が必要となる。

個別目標に対するまちづくり評価

多種多様な相談窓口を開設することにより、専門家に相談し、問題解決を見つける糸口となっており、毎日行っている市民相談から専門的な相談への連携もスムーズにできている。
また、高齢者を狙った悪質商法等が年々増加しており、未然防止対策が不可欠となっているので、相談体制の質の向上や充実を図ってほしい。




個別目標② 身分等が正確に記録・管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている

指標名	戸籍訂正の件数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	件	—	80	70	60	<ul style="list-style-type: none"> ・戸籍事務事業 ・戸籍等窓口事業 ・外国人登録事業
実績値		87	76	99	87	
達成率	%	—	105.3	70.7	69.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	各種戸籍届出書を届出する時、所定の届出用紙に正確に記載し、届出期間の定めがある場合は、その期日を守り、必要な添付書類がある場合には、その必要書類を用意して届出をした。
市役所	各種戸籍届出書を審査する場合、法令等に従い、受理する。また、戸籍事務を正確に記録し管理する。 正確で便利な窓口サービスにつながるよう、職員・臨時職員の資質向上を図った。

指標名 正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合

	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	95.0	95.0	96.0	
実績値		94.5	91.1	92.4	94.4	
達成率	%	—	95.9	97.3	98.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	証明書等の交付を請求したが、迅速な対応で交付してもらうことができた。また、日曜市役所や電話予約により執務時間外でも証明書等の交付を受けることができた。
市役所	届出書等に記載された身分事項、住居事項を正確に登録し、各種証明書を交付した。日曜市役所を第2・4日曜日の午前中に開設した。また、電話予約により、夜間や休日に住民票及び戸籍の附票を交付した。


目標達成のための今後の展開方針



法の改正やシステム改修に対し、適確に対応し、誤りなく処理(入力等)するよう努める。また、来庁者の窓口への誘導や、各種手続きの支援を行うことにより、窓口の混雑を緩和し、安心して手続きを行うためのフロアマネージャーを引き続き配置していく。




個別目標に対するまちづくり評価

市民一人ひとりの身分等が正確に記録・管理され、窓口サービスの提供を迅速かつ適確に受けられるようにしてほしい。

個別目標③ 市民の足が確保できている

指標名	誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	25.0	25.0	30.0	・いこまいCAR運行事業 ・バス関連事業
実績値		19.5	—	—	26.9	
達成率		—	—	—	89.7	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	目的地への移動手段として、いこまいCAR(予約便)や路線バスを利用した。					
市役所	いこまいCAR(予約便)や路線バスをより多くの人に利用してもらうため、利用促進の啓発に努めた。また、定期便の廃止と路線バスを分割・延長した。					

指標名	定期便の利用率					
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	1	1	—	・いこまいCAR運行事業
実績値		0.73	0.67	0.64	—	
達成率		—	67.0	64.0	—	
達成状況	—	—			—	
取り組みの状況						
市民						
市役所	平成25年度より、定期便を廃止した。					

指標名	予約便の利用便数					
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	便	—	3,500	3,600	3,750	・いこまいCAR運行事業
実績値		1,120	3,879	4,450	4,980	
達成率		—	110.8	123.6	132.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	交通手段をもたない住民は、予約便の利用者登録を行い、目的地への移動手段として利用した。					
市役所	今後のあり方について検討し、予約便の利用料金を見直した。					

目標達成のための今後の展開方針	
いこまいCAR(定期便)の廃止と既存バス路線の分割・延長を行ったが、そのバス路線の利用状況も把握・分析しながら、平成25年度に行った公共交通に関する市民アンケート結果に基づき、予約便の今後のあり方を含めて市内の公共交通全体について、さらに検討していく。 大口町コミュニティバスの利用促進を図るよう、今後も大口町と協議を行う。	

個別目標に対するまちづくり評価	
分割・延長された既存バス路線の利用状況も把握・分析しながら、いこまいCAR(予約便)のあり方についても含めて、さらに検討の必要がある。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

戸籍の電算化をはじめ、番号案内表示機を設置、フロアマネージャーの導入などにより、気軽に安心して、諸証明等を請求し、受領することができ、窓口サービスの向上につながった。
各種相談については、各専門相談員からの適確な助言により、ある程度の悩みごとは解決した。
いこまいCAR(予約便)の利用も年々増加し、特に高齢者の病院等へ行く足になっている。また、既存バス路線を分割・延長したことで、より便利になった。

◆柱全体の今後の課題

各種届出や諸証明の交付を受ける際に、市民にわかりやすく利用しやすい、窓口体制を確立する。
市民が気軽に相談できる体制を確立する。
費用対効果の検証等を踏まえ、いこまいCAR(予約便)の利用料金の見直しを行ったが、今後いこまいCAR(予約便)あり方を含め、市内公共交通のあり方を検討する。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

市民が窓口で不安なしで諸手続きができるよう、フロアマネージャーを引き続き配置し、あわせて資質向上を図るよう努める。
相談内容や件数を分析して、市民のニーズにあった相談業務を行っていくように努める。また、高齢者を狙った悪質商法などの未然防止が不可欠になり、消費生活相談体制の質の向上や充実をする。
いこまいCAR(予約便)のあり方やバス路線の活用を含め、市内全体の公共交通のあり方を検討する。

まちづくり評価シート

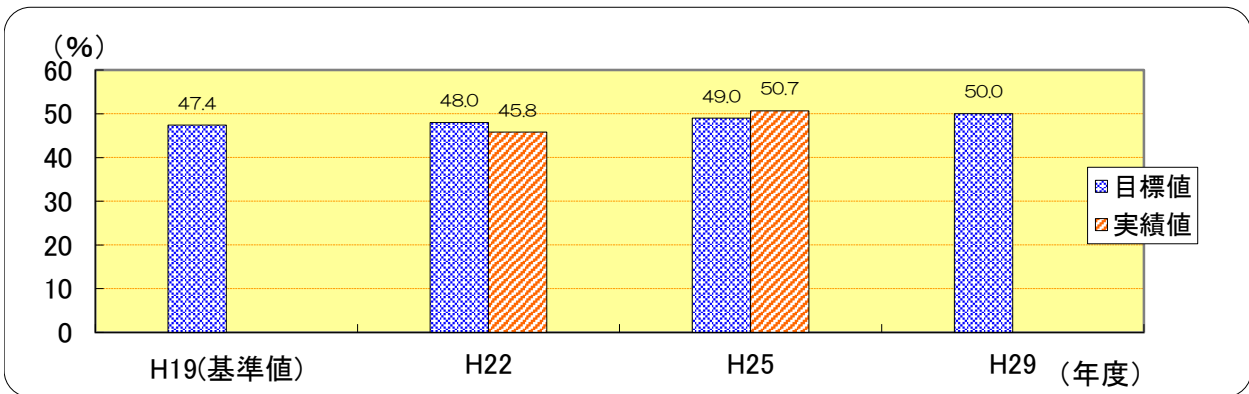
生活産業部【担う分野：I 生活環境、産業分野】

産業振興課【担う柱：4 生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興】

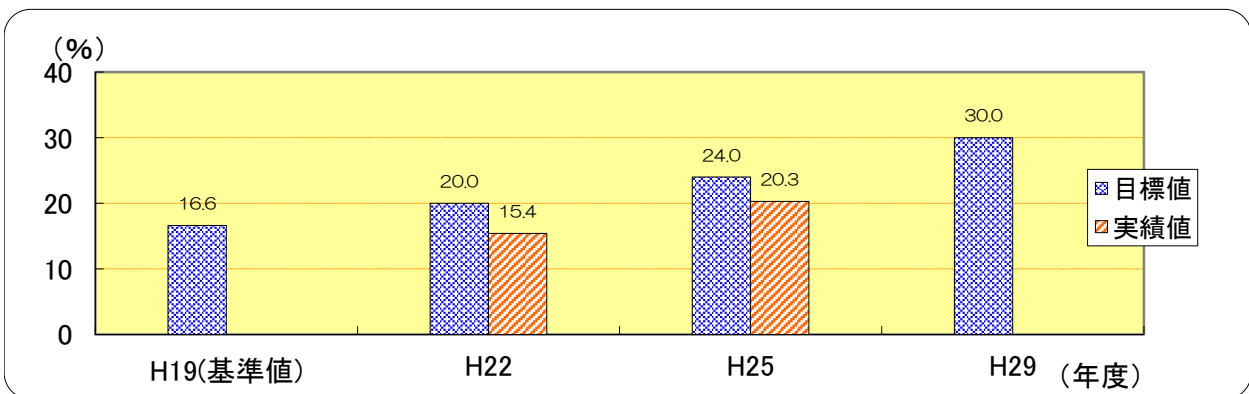
◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 生活産業などが活性化し、地域に雇用の場が確保され、活力あふれる、住みよいまちとなっている

指標名	生活産業が活性化し、住みよいまちであると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析 郊外型の大型店に加え、中心市街地周辺には食品スーパーなどが充実しており、一定の満足度は得られている。
目標値	%	—	49.0	
実績値		47.4	50.7	
達成率	%	—	103.5	
達成状況	—	—	☀️	




指標名	市内に雇用の場があり、活力あふれるまちであると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析 新たな企業誘致の進展及び大規模な事業者が少ないことから、雇用の場が広がる状況にはないが、求人数の増加及び有効求人倍率の改善により満足度調査が上昇する結果となった。
目標値	%	—	24.0	
実績値		16.6	20.3	
達成率	%	—	84.6	
達成状況	—	—	☁️	





全体目標に対するまちづくり評価

商店街にかつての賑わいを取り戻すことは困難かもしれないが、商工業振興のためには既存の事業者や個店のがんばりが必要であることから、中小事業者に対する融資助成施策などきめ細かな支援が必要と考える。就業支援対策は、国や県主導による施策により推進されているが、就職フェア開催など地域主導による取り組みも重要な施策となってくる。地域職業相談室の運営事業を始めとして、国、県及び関係機関と連携した支援事業が必要である。また、地域資源や観光資源などを活用したまちづくりも求められている。農業用施設の適正な維持管理や耕作放棄地の解消が求められている。

個別目標① 魅力ある商工業の成長により、活気のある地域社会になっている

指標名 魅力ある商店街が形成されており、便利に買い物できると感じる市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	25.0	・地場産業活力向上事業 ・商工業・流通業補助事業
実績値		21.8	—	—	26.1	
達成率	%	—	—	—	104.4	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	市民まつり運営協議会や七夕まつり・市民サマーフェスタ運営委員会に参加して、商工業及び商店街の活性化のためのイベントを行った。商業活性化推進協議会に参加し、市役所との情報交換を行った。					
市役所	市民まつりや七夕まつり・市民サマーフェスタを商工会議所及び商店街連合会と協働して委託開催、開催補助を行った。商店街の魅力アップのため、空き店舗を活用したコミュニティ施設の運営等に対して補助を行った。商業活性化推進協議会に参加して、商店街関係者等と意見交換を行った。					

指標名 商品販売額						
	単位	H16 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	億円	—	1,802	1,802	1,802	・商工業・流通業補助事業 ※ 参考 平成24年実績値 997億円 (平成24年経済センサス-活動調査による 卸売業・小売業に関する集計)
実績値		1,802	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—	
取り組みの状況						
市民	市民まつりや七夕まつり・市民サマーフェスタなどにおいて、商品販売促進のための事業を行った。					
市役所	江南市商店街連合会が行う商品販売促進のための事業に対して補助を行った。					

指標名 製造品出荷額						
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	億円	—	1,602	1,602	1,602	・地場産業活力向上事業 ・企業等対応事務 ・企業誘致推進事業 ・工業統計調査事業 ※実績値は翌々年4月に確定
実績値		1,602	1,149	1,243	—	
達成率	%	—	71.7	77.6	—	
達成状況	—	—			—	
取り組みの状況						
市民	地域繊維産業の活性化を図るために商工会議所が中心となり設置した部会に参加し、企業視察等を行った。工業振興対策協議会に参加し、異業種間での交流会や意見交換を行った。					
市役所	商工会議所が中心となり設置した部会が行う、企業視察等に同行した。市内企業を訪問し、関係を蜜にすることで企業流出等の防止や情報交換を行った。県が開催する企業立地に関する研修会に参加した。					

指標名	売上DI値					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	-15.0	-14.0	-12.0	・中小企業経営力強化事業 ・中小企業金融円滑化事業
実績値		-19.4	-45.9	-45.1	-48.2	
達成率	%	—	32.7	31.0	24.9	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	

取り組みの状況	
市民	市と商工会議所が連携し開催している、経営等講習会に参加し、活力ある事業所づくりに努めた。
市役所	県と協調し小規模企業等振興資金融資制度を設けるとともに、信用保証料の助成及び利子の補助を行い、中小企業の資金繰りや経営安定に向けた支援を行った。また、市内1,000事業所に対して景況調査を行い、事業所の業況の把握を行った。

目標達成のための今後の展開方針
<p>商店街に対する補助金、商店街を中心としたイベントのあり方について商工会議所や商店街連合会などと連携して検討していく。</p> <p>商業活性化推進協議会の事業を支援するとともに、商工会議所の事業内容を把握しながら活性化策について調査研究していく。</p> <p>工業振興対策協議会の事業を支援するとともに、製造品PRの方策について検討していく。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
郊外型大型店、中心市街地周辺の食品スーパーを中心とした生活産業は充実しているが、中心市街地の商店街は、身近な消費生活の場としての機能を回復することはできず、高齢者等生活弱者にとっては住みやすさ感は低いのではないかと考えられる。商店街にかつての賑わいを取り戻すことは困難かもしれないが、商工業振興のためには個店のがんばりが必要であることから、小規模事業者に対する融資助成施策などきめ細かな支援が必要と考える。

個別目標② コミュニティビジネスが活発に起業され、地域のニーズに合ったサービスが地域で供給されている

指標名	コミュニティビジネスを展開している事業所数					
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	所	—	↑	↑	↑	・コミュニティビジネス支援事業
実績値		不明	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—	

取り組みの状況	
市民	事業型NPO法人を訪問する講座に参加し、NPOの事業成功のためのヒントやポイントを学んだ。創業支援セミナーに参加し、創業の基礎知識等の習得に努めた。
市役所	事業型NPO支援講座を開催し、先進事例の成功のヒントやポイントを紹介した。創業を検討、準備中、創業間もない方等に創業の基礎知識や資金調達などについてわかりやすく解説する創業支援セミナーを開催した。

指標名	起業家からの相談件数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業	
目標値	件	—	13	16	20	・コミュニティビジネス支援事業	
実績値		0	0	0	8		
達成率		%	—	0.0	0.0		40.0
達成状況		—	—	↑	↑		↑

取り組みの状況	
市民	事業型NPO法人を訪問する講座に参加し、NPOの事業成功のためのヒントやポイントを学んだ。創業支援セミナーに参加し、創業の基礎知識等の習得に努めた。
市役所	事業型NPO支援講座を開催し、先進事例の成功のヒントやポイントを紹介した。創業を検討、準備中、創業間もない方等に創業の基礎知識や資金調達などについてわかりやすく解説する創業支援セミナーを開催した。


目標達成のための今後の展開方針
市内には100を超えるNPOなど市民活動団体があるが、多くは自らの事業により収入を得て活動を継続している団体ではなく、ボランティア的な団体である。地域の実情に合った、また、地域課題解決に向けた事業への取り組みのニーズはあると考えられ、NPO活動を中心としたコミュニティビジネスに限らず、NPO以外の事業者による起業・創業の取り組みを支援していく。




個別目標に対するまちづくり評価
地域の実情に合った、また、地域課題解決に向けた事業への取り組みのニーズはあると考えられ、NPO活動を中心としたコミュニティビジネスに限らず、さまざまな起業・創業の取り組みを支援する方策が必要である。

個別目標③ 地域に雇用の場が確保され、いきいきと働いている

指標名	職業紹介による就職者数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	850	870	890	・就業相談等運営事業 ・雇用促進事業
実績値		258	916	826	748	
達成率		%	—	107.8	94.9	
達成状況	—	—	☀	☀	☁	

取り組みの状況	
市民	ハローワークの出先機関として、同様な求職情報や相談機能を有する利用環境が整っており、多くの市民が利用した。
市役所	地域職業相談室に嘱託職員を1名配置し、年齢に関係なく求職者に対する職業相談、職業紹介業務を支援した。

指標名 地域に雇用の場が確保され、十分な状態であると感じる市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	15.0	・就業相談等運営事業 ・雇用促進事業
実績値		7.2	—	—	10.2	
達成率	%	—	—	—	68.0	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	雇用に関する講演会、研修会、セミナーなどに参加し、就業支援への関心を高めた。					
市役所	若者就職支援のための就職フェアを県、近隣市町、商工会議所などの共催により江南市民文化会館を会場に開催し、就職支援セミナー、個別相談、職業適性診断、地域の企業が参加した合同企業説明会には多くの若者が参加した。					

指標名 すいとびあ江南利用者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	160,000	165,000	174,000	・すいとびあ江南管理運営事業
実績値		146,263	137,533	143,404	142,381	
達成率	%	—	86.0	86.9	81.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	すいとびあ江南指定管理者による各種事業に応募したり、市主催又は共催にて開催される各種催事にボランティアで参加するなど、多目的な利用形態により市民の多くが利用した。					
市役所	ふるさと文化育成事業や自主企画事業を開催するなどにより、市民に憩いとうるおい、そしてふれあいの場を提供している。また、利用しやすい料金でサービス提供の充実をめざし、市民や勤労者の利用促進に努めた。					




目標達成のための今後の展開方針




就労対策については、県、ハローワーク、商工会議所など関係機関と連携して就職フェアや若年者就職相談窓口等のより一層の充実を図る。事業実施内容の趣旨、目的、方向性などよく検討し、実効性のある就業支援の実施を計画していく。すいとびあ江南については、指定管理者による管理運営実績のノウハウと民間の経営手法を活かして、収益の確保と経費節減を図るとともに、モニタリングを通じ、新規事業等を模索することにより、利用促進に努める。




個別目標に対するまちづくり評価




若年者の就職支援は、連携して地域で取り組まれている点で評価できる。地域の雇用が確保され、勤労者の生活が安定し、福祉の向上が図られるよう支援をお願いしたい。




個別目標④ 農業用施設が常時利用でき、農業従事者が安心して農業に従事している

指標名 畑地かんがい用水などの修理事件数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	240	240	240	・江南市土地改良区支援事業 ・江南市土地改良区施設維持管理補助事業 ・丹羽用水土地改良区支援事業 ・昭和用排水土地改良区支援事業
実績値		255	196	185	174	
達成率	%	—	122.4	129.7	137.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域ごとに、水路等農業用施設の清掃、草刈等を実施した。					
市役所	稲作・畑作のための農業用水の通水や施設の維持管理を実施した。					

指標名 認定農業者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	51	52	53	・担い手育成総合支援事務
実績値		45	42	31	31	
達成率	%	—	82.4	59.6	58.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	農業所得や労働時間等の農業経営改善計画認定申請書を市へ提出した。					
市役所	農業経営改善計画が提出された農家を認定農家として認定した。経営内容を改善して安定的な農業経営を図った。					

指標名 耕作放棄地の面積						
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	ha	—	180	175	170	・遊休農地対策事業
実績値		208	217	205	193	
達成率	%	—	82.9	85.4	88.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	遊休農地の適正管理を実施した。					
市役所	農業従事者の高齢化等により耕作放棄地が増加しており、江南市空き地等の雑草の除去に関する条例により、雑草等の除去について指導した。					


指標名		市民菜園の面積				
	単位	H22 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	m ²	—	39,577	39,727	39,827	・市民菜園事業
実績値		39,427	40,936	41,304	41,132	
達成率	%	—	103.4	104.0	103.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市民菜園において野菜づくりを体験した。					
市役所	市民が余暇を利用した野菜づくりをすることにより、農業に対する理解を深めてもらうと共に遊休農地の有効利用を図った。					




指標名		JA出荷額				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	千円	—	312,000	312,000	312,000	・農業振興事業 ・農業団体等育成事業
実績値		312,000	206,000	249,000	233,000	
達成率	%	—	66.0	79.8	74.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	農畜産物をJA愛知北を通じて市場へ出荷した。					
市役所	JA愛知北や愛知県との連携により農業従事者への技術指導を行い、農業の近代化や農業生産性の向上を図った。					




目標達成のための今後の展開方針	
<p>当面畑かん等農業用施設は、修繕で対応していくが、今後は布設替等更新工事も視野に入れて検討を進めていく。</p> <p>宮田導水路上部整備事業について、暗渠化された宮田導水路の上部にせせらぎ水路や遊歩道の整備を図る。市民菜園を通して野菜づくりを体験することで農業への関心を高め、新規就農者として育成する。</p> <p>耕作放棄地対策として、市民菜園や利用権設定による農地の有効利用を図る。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>農業用施設が耐用年数を経過して老朽化による維持管理費が懸念される。また、農業従事者の高齢化等により、適正な管理ができなくなり耕作放棄地が増加している。今後は市民菜園を通して野菜づくりを体験することで農業への関心を高め、新規就農者として育成したり、市民菜園の充実を図り農地の有効利用を促進する。</p>	

個別目標⑤ 市民は地域の観光資源に親しみ、多くの観光客が訪れて、地域が活性化している

指標名 多くの観光客で賑わい、観光の振興が十分な状態であると感じる市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	33.0	・藤まつり開催事業 ・菊まつり開催事業 ・江南市民花火大会開催事業 ・観光協会事業
実績値		27.3	—	—	38.8	
達成率	%	—	—	—	117.6	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	実行委員会、運営協議会の構成員として催事に参画したり、ボランティアとして参加することにより、観光施設で観光客と関わりをもちながら活動した。					
市役所	観光キャンペーンを実施し、藤まつりと江南の観光施設の紹介を行い、観光客の誘客に努めた。また、旅行会社への表敬訪問も行った。					

指標名 観光客数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	1,335,000	1,337,000	1,340,000	・藤まつり開催事業 ・菊まつり開催事業 ・江南市民花火大会開催事業 ・観光協会事業
実績値		931,000	1,240,420	1,225,200	1,450,000	
達成率	%	—	92.9	91.6	108.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	おもてなしの心で観光客を迎えるとともに、江南市のPRにも努めた。					
市役所	各報道機関、市ホームページ、イベント情報誌、愛知県観光協会を通じて広く情報発信を行い、誘客を図った。					

指標名 イベントボランティア参画者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	480	490	500	江南市イベントボランティア協会事業
実績値		440	337	328	267	
達成率	%	—	70.2	66.9	53.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	イベントボランティアの会員募集を行った。市からの催事参加要請に基づき、イベントに協力した。					
市役所	市が主催・共催する催事への参加協力をイベントボランティア協会へ要請した。					

目標達成のための今後の展開方針

観光資源を活用した観光事業の展開は、近隣の観光施設と連携した広域観光の推進を視野に入れた取り組みも検討していく。

津島市観光協会と締結した広域観光推進協定を推進し、江南市の魅力を県内外に発信していく。

ボランティア組織の自主性、創造性を活かしてボランティア活動に主体的に取り組むことができるよう誘導する。

個別目標に対するまちづくり評価

藤まつり開催事業は、江南市のPRになり、誘客につながる中身の充実が求められる。まつり等のイベント以外にも一年間を通じた観光客が訪れる観光資源を探る必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

小規模企業等振興資金の円滑な運用を図るとともに、融資に係る信用保証料助成や利子補給補助により、資金調達コスト等を軽減することにより、既存産業の経営安定、経営拡大に向けた支援を行うなど商工業の活性化を図った。

地域職業相談室は年齢を問わず職業相談や職業紹介をし、多くの失業者に対して支援した。また、県、近隣市町、商工会議所が共催して就職フェアを開催し、若者の就職支援をすることで地域における活動の輪が広がってきた。

JA愛知北や農業団体と連携して、市内で収穫された農産物を秋の収穫祭で展示することにより、市の農産物に対する理解を深めてもらうことができた。

報道機関等を通じて広く観光PRを行ったことにより多くの観光客を得ることができた。

◆柱全体の今後の課題

地場産業であるインテリア織物産業における新しいニーズへの対応や販路拡大など活性化に向けた取り組みへの支援と、地域の既存産業や個店の安定的経営を支援するための施策の検討が課題である。

地域における就職支援に関するフォローアップ機能を充実することによる継続性のある支援が求められる。

農業従事者の高齢化等により耕作放棄地が増加してきており適正な管理が必要である。また、老朽化している農業用施設についても適正な維持管理をする必要がある。

観光資源、観光イベント等の紹介を積極的に行い、観光客の誘客を図る必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

商工業振興のためには企業の新規進出を促すことも必要であるが、インテリア織物産業や地域の既存産業、個店の経営安定、経営拡大が必要であることから、中小事業者に対する融資助成施策などきめ細かな支援を行う。

NPO活動を中心としたコミュニティビジネスに限らず、NPO以外の事業者による起業・創業の取り組みを支援していく。国、県、関係団体等との連携を深め、就職フェアの継続開催や就職に関する個別相談の開催など就職支援の充実に取り組む。

耕作放棄地対策として市民菜園や利用権設定による農地の有効利用を図る。老朽化した農業施設の更新を県に要望していく。また、補助事業を活用し、ライフサイクルコストを考慮した更新・修繕を行う。

観光資源等の活用を図り魅力ある観光まちづくりに取り組む。

まちづくり評価シート

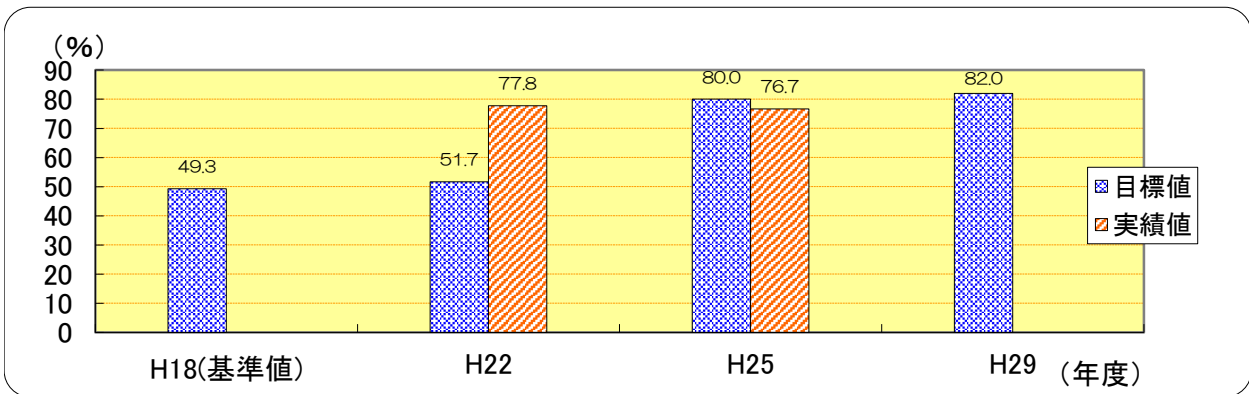
生活産業部【担う分野：I 生活環境、産業分野】

環境課【担う柱：5 自然と調和した快適な生活環境の確保】

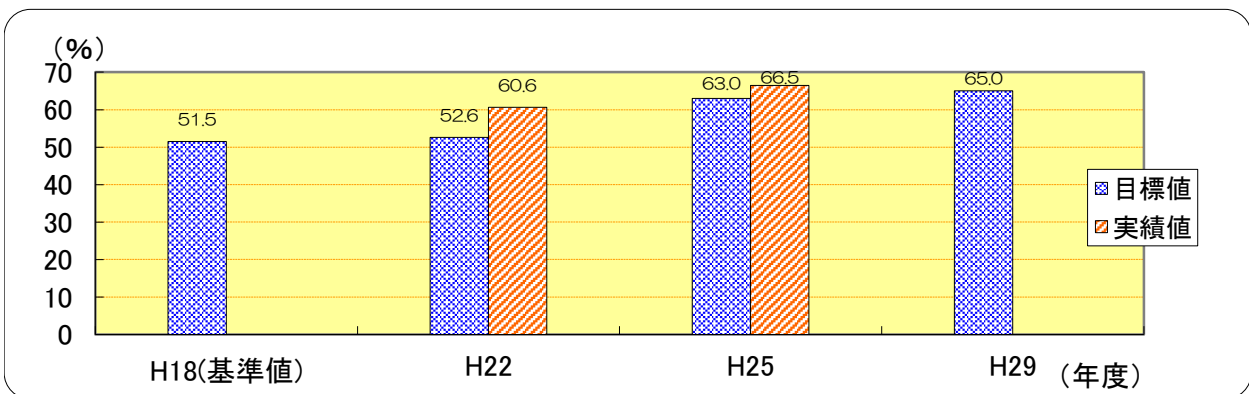
◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 自然と調和した快適で、環境負荷の少ない生活環境が保全され安心して生活している

指標名	日ごろから省エネや省資源など環境に配慮して生活している市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 広報こうなん、市ホームページ等による定期的な啓発、及び環境保全活動に対する補助を活用することにより、市民は環境に配慮して生活することができる。
目標値	%	—	80.0	
実績値		49.3	76.7	
達成率	%	—	95.9	
達成状況	—	—	☀	



指標名	水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 定期的な広報等による啓発、及び事業所等への立入調査等により、公害防止に努めてきたことから公害の発生件数が減少し、快適な環境で生活できている。
目標値	%	—	63.0	
実績値		51.5	66.5	
達成率	%	—	105.6	
達成状況	—	—	☀	




全体目標に対するまちづくり評価

国や地方が行う環境保全活動に対する補助金(太陽光発電、エコカーの導入等)等いろいろなメニューが整備されるなか、各家庭への導入の促進が必要である。



また、騒音、振動、悪臭等の公害に対する相談件数は、減少傾向にある。今後も事業所等が公害の防止に向け、さらに積極的に取り組む必要がある。

個別目標① 環境保全の意識が高まり、環境負荷の少ない生活・活動を営んでいる

指標名 環境保全活動を行っている市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	—	—	68.0	・環境啓発事業 ・環境基本計画推進事業 ・環境基本計画改訂事業
実績値		64.1	—	—	51.4	
達成率	%	—	—	—	75.6	
達成状況	—	—	—	—		




取り組みの状況

市民	日常生活における利便性を追求することにより、大量生産、大量消費、大量破棄の経済社会を構築してきたが、循環型社会の形成をめざし、限りある資源の有効活用を図るよう日常生活を見直すとともに、省エネルギー行動などの実践に取り組んだ。
市役所	限りある資源の有効活用を図るため、ごみを資源として活用し、資源の循環利用として活用する手順や省エネルギーに関する情報を広く市民に提供するなど環境啓発に努めるとともに、環境教育にも力点を置き事業を推進した。

指標名 市民1人当たりの二酸化炭素排出量(炭素換算)						
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	t.c/	—	1.32	1.32	1.32	・温暖化防止事業
実績値	人・年	1.6	1.52	1.53	—	
達成率	%	—	86.8	86.3	—	
達成状況	—	—			—	

取り組みの状況

市民	日常生活が便利になるにつれ、エネルギー使用量が増加し、温室効果ガスの排出量も増加していることから、自然エネルギーの有効利用、自動車の利用を控え自転車や公共交通機関の利用、省エネルギー型商品の利用に努めた。
市役所	平成25年3月に改訂した「江南市地球温暖化対策実行計画」に従い、自然エネルギーの有効利用として公共施設に太陽光発電システムを設置するとともに、省エネルギーを推進することにより、行政事務から発生する温室効果ガスの削減に努める。また、太陽光発電システムを住宅に設置しようとする市民に対し、設置費用の一部を補助した。

指標名 合併処理浄化槽設置数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	基	—	6,000	6,300	6,700	・環境啓発事業
実績値		4,200	5,990	6,399	6,849	
達成率	%	—	99.8	101.6	102.2	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	都市化の進展に伴い、生活排水が河川等に流入することにより、水質汚濁が進んでいるため、公共下水道が整備されている区域は、速やかに接続し、未接続の区域については、合併処理浄化槽への転換を図り適正な維持管理に努め、河川等の水質汚濁の防止に努めた。
市役所	河川等水質の環境基準達成をめざし、公共下水道の整備及び速やかな接続の推進を図り、下水道の認可区域以外には合併処理浄化槽設置の推進を図るため、新たに設置する市民に対し、設置費用の一部を補助することにより、河川等の水質汚濁の防止に努めた。また、汲取便槽やみなし浄化槽からの転換を推進するため、新築への補助を廃止し、転換分への補助額を増額する計画を立てた。

目標達成のための今後の展開方針

持続可能で快適な生活環境をつくるためには、市民一人ひとりが環境保全に対して関心をもつことが大切であり、さらなる環境教育の推進や環境啓発に取り組んでいく。
地球温暖化防止事業として住宅用太陽光発電システム補助金を継続し、LEDなどの省エネルギー製品の導入及び普及を図る。また、家庭や事業所で手軽に取り組むことができる「緑のカーテン」を啓発する。
河川等の水質汚濁防止を図るため、合併処理浄化槽設置整備事業を推進する。

個別目標に対するまちづくり評価

環境保全活動を行っている市民の割合が約50%程度であるため、多くの人が環境問題に関心をもち、環境問題への理解を深めることができるよう、環境に配慮した行動の実践に向けた環境教育の充実を図られたい。

個別目標② 公害苦情等が少なく、生活環境が保全され快適な生活を送っている

指標名	公害苦情件数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	件	—	255	250	244	・環境公害対策事業
実績値		310	478	425	369	
達成率		%	—	53.3	58.8	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	




取り組みの状況



市民	日常生活を営むうえにおいて、近隣の生活環境を損ねることのないよう、お互いが近隣の生活に配慮した生活を送るように心がけた。
市役所	日常生活を営むうえにおいて、近隣の生活環境を損ねることのないよう啓発するとともに、問題が発生した場合には速やかな解決につながるよう努めた。

指標名	河川水質の環境基準達成項目数(PH(水素イオン濃度)、BOD(生物化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質)、DO(溶存酸素量))【木曽川】					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	項目	—	4	4	4	・環境監視事業
実績値		4	4	4	4	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	河川等の水質汚濁の主な原因は、各家庭からの生活排水が大きな要因とされている。水質汚濁を防止するため、各家庭において生活排水対策を実践し、水環境の保全に努めた。
市役所	市内主要河川14地点において、生活環境の保全に関する4項目を年4回、人の健康の保護に関する9項目を年2回水質調査をしている。また、年1回7地点にて人の健康の保護に関する15項目について、河川等の水質を調査することにより、河川等の水質監視に努めた。

指標名		河川水質の環境基準達成項目数(PH(水素イオン濃度)、BOD(生物化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質)、DO(溶存酸素量))【日光川】				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・環境監視事業
目標値	項目	—	4	4	4	
実績値		3	4	4	4	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	河川等の水質汚濁の主な原因は、各家庭からの生活排水が大きな要因とされている。水質汚濁を防止するため、各家庭において生活排水対策を実践し、水環境の保全に心がけた。					
市役所	市内主要河川14地点において、生活環境の保全に関する4項目を年4回、人の健康の保護に関する9項目を年2回水質調査をしている。また、年1回7地点にて人の健康の保護に関する15項目について、河川等の水質を調査することにより、河川等の水質監視に努めた。					

指標名		大気中の窒素酸化物の量【二酸化窒素】				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・環境監視事業
目標値	PPM	—	→	→	→	
実績値		0.027	0.025	0.025	—	
達成率	%	—	108.0	108.0	—	
達成状況	—	—			—	
取り組みの状況						
市民	大気中の窒素化合物は、光化学スモッグや酸性雨を引き起こす大気汚染物質であり、主な発生源は、自動車の排気ガスであるため、自動車の使用を控えることにより、大気汚染の防止に努めた。					
市役所	大気の汚染状況を常に監視し、汚染状況が著しい場合には光化学スモッグ予報、注意報等を発令し、健康被害の防止に努める。また、大気汚染の防止についてアイドリングストップ等を定期的に啓発し、大気環境の保全を図った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>公害苦情は生活環境問題への関心の高まりも要因であるが、市民一人ひとりのモラルの問題もあり、すぐに解決できる問題ではないが、粘り強く取り組んでいく。</p> <p>河川等の水質については、各家庭からの排水が水質を悪化させる大きな要因であるため、引き続き生活排水対策や環境監視事業に取り組んでいく。</p> <p>二酸化窒素の排出を抑制する取り組みとして、アイドリングストップなどエコドライブを推進し、啓発活動に取り組む。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>各家庭における苦情は、ごみの焼却・雑草苦情だけでも243件あるため、生活環境を保全するための意識の高揚が望まれる。また、河川等の水質については、各家庭における排水が大きな要因であるため、河川・用水等における冬季の通水及び下水道の整備が望まれる。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

広報こうなん、市ホームページ等で、地球温暖化防止・環境負荷の低減等、環境問題に対する取り組みを市民に広く啓発したことにより、市民の環境保全に対する意識が向上してきていること及び、騒音・振動・悪臭を発生させる事業所等に立入調査等を実施し、公害の発生を防止してきたことにより、市民の満足度も高まってきた。

◆柱全体の今後の課題

自然と調和した快適な生活環境を確保するためには、市民一人ひとりの生活環境に対する意識の向上が必要であり、また事業所においても周辺の生活環境に対する配慮が必要であるため、啓発活動を強化する。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

省資源・省エネルギーは、市民一人ひとりの日常生活における心がけや事業活動における環境への配慮が大切であるため、もう一度生活スタイルを見直し、環境負荷を低減させるライフスタイルが確立できるよう啓発に努める。

まちづくり評価シート

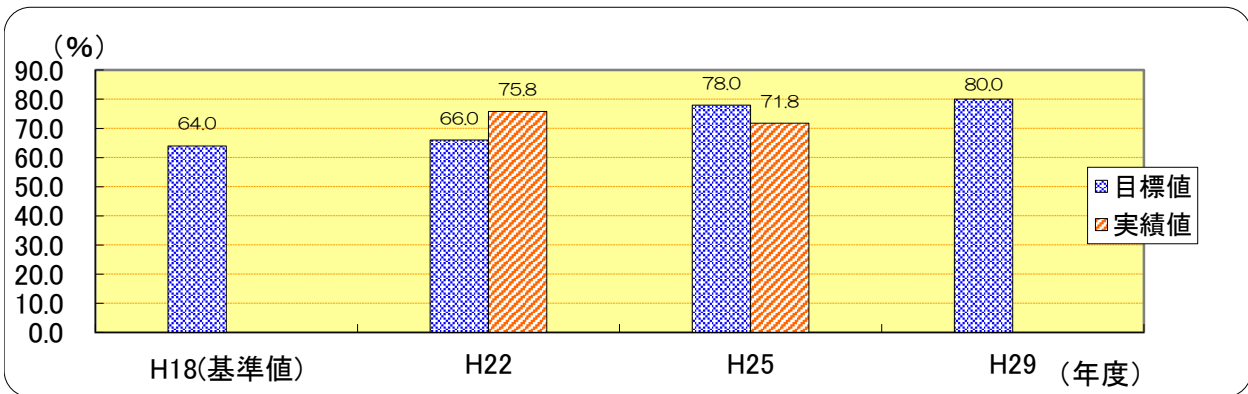
生活産業部【担う分野：I 生活環境、産業分野】

環境課、広域ごみ処理施設建設対策室【担う柱：6 ごみ減量と適切な処理の推進】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が実現し、市民が安心して暮らしている

指標名	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 広報こうなん、市ホームページ等による啓発や環境フェスタ、ごみ減量懇談会、施設見学等を継続して実施しているため、概ね達成できたと考えられる。
目標値	%	—	78.0	
実績値		64.0	71.8	
達成率	%	—	92.1	
達成状況	—	—	☀	








全体目標に対するまちづくり評価
 平成10年度から始まったごみ減量「57運動」が市民等の理解、協力を得て推進されたため、ごみは減少傾向にある。
 資源ごみ集積場所での分別方法やリサイクル処理の必要性に対する市民の理解が次第に浸透し、当番制による地区での分別指導のもとで、多くの住民の協力により資源ごみの分別が行われている。




個別目標① リサイクルが進み、市民が出す可燃ごみ量が減っている

指標名	市民1人1日当たりの家庭系可燃ごみ排出量					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」事業
目標値	g	—	395	394	394	
実績値		419	408	396	397	
達成率	%	—	96.8	99.5	99.2	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況	
市民	ごみ減量「57運動」事業に協力し、ごみ減量に努めた。
市役所	廃棄物減量等推進協議会委員、廃棄物減量等推進員等と連携し、ごみ減量「57運動」を推進した。

指標名 1事業所1年当たりの事業系可燃ごみ排出量						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	t	—	7.5	7.4	7.4	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」 事業
実績値		9.4	8.4	8.2	7.8	
達成率	%	—	89.3	90.2	94.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	生ごみの堆肥化、資源の分別排出、簡易包装の推進等に取り組み、ごみ減量・資源化を推進した。					
市役所	商工会議所が発行している会報にごみ減量とリサイクル推進に関するチラシを折り込むなどの取り組みを通して、事業所に対して啓発を行った。					

指標名 リサイクル率							
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業	
目標値	%	—	35.0	35.0	36.0	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」 事業	
実績値		33.6	29.9	28.9	—		
達成率	%	—	85.4	82.6	—		※ 実績値は翌年度3月に確定
達成状況	—	—			—		
取り組みの状況							
市民	資源ごみの分別排出や資源ごみ回収団体による資源回収に協力して、資源ごみのリサイクルを推進した。						
市役所	ごみ減量・資源化に関する啓発活動を実施した。また、資源ごみ回収団体に資源回収量に応じて助成金を交付して、資源回収活動を促進した。						

指標名 ボランティア分別指導員の数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	276	306	336	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」 事業
実績値		136	242	275	309	
達成率	%	—	87.7	89.9	92.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	ボランティア分別指導員養成講座を受講して、ごみ分別・減量に関する知識を習得するとともに、資源ごみ集積場所で地区住民に対するごみ分別指導を実施した。					
市役所	ボランティア分別指導員養成講座を2回開催し、指導員の増加による分別指導の充実を図った。また、指導員の活動の促進を目的として交流会を1回開催した。					




目標達成のための今後の展開方針

ごみ減量の啓発を引き続き行い、環境フェスタ、説明会、事業所訪問等で啓発活動を実施する。ボランティア分別指導員は地域におけるごみ減量・適正処理の推進に必要な存在であるため、養成講座の参加者の増加を図る。

個別目標に対するまちづくり評価


地元説明会、施設見学など市民の意識向上を図る事業は、ごみ減量に一定の効果があると考えられる。今後もより一層、市民、事業者及び市の協働による地域全体での取り組みを推進していくべきである。

個別目標② ごみ、し尿、火葬が適正に処理され、市民の生活環境が保全されている

指標名	特定家庭用機器などの不法投棄台数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	台	—	35	34	33	・地域環境美化事業
実績値		60	24	17	16	
達成率		%	—	145.8	200.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	クリーン運動に積極的に参加し、散乱ごみの収集を行い、ごみのないまちづくりに取り組んだ。
市役所	広く市民参加を呼びかけてクリーン運動を実施し、また各地域でのボランティア団体やアダプトの清掃活動を支援した。また、不法投棄防止のため不法投棄禁止看板貸与を実施した。

指標名	ごみ・し尿を速やかに収集、処理することで、衛生的に暮らしていると感じる市民の割合					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	83.3	84.0	84.5	・可燃ごみ収集運搬事業 ・分別ごみ収集運搬事業 ・し尿等収集運搬事業 ・地域対策事業
実績値		82.2	—	—	85.9	
達成率	%	—	—	—	101.7	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	ごみの出しのルールを正しく理解するとともに、地区の集積場所の管理を責任をもって実施した。説明会、ごみ処理施設見学会への参加、広報こうなんや市ホームページによる取組状況の把握などにより新ごみ処理施設建設事業への理解を深めた。
市役所	出されたごみをその日のうちに速やかに回収し、処理することで、ごみの無い衛生的な環境の保持に努めた。 建設候補地の地元住民を対象に地元説明会とごみ処理施設見学会を開催した。また、広報こうなんや市ホームページに取組状況を掲載した。

目標達成のための今後の展開方針

不法投棄防止策としては、広報こうなんや市ホームページでの啓発を強化しながら、監視カメラを有効利用し、資源ごみ集積場所での特定家庭用機器を始めとする排出禁止物の不法投棄防止を図る。
衛生的な生活環境を保つため、ごみの出し方などについて市民への周知徹底を図るとともに、迅速で適正な収集・処理を行う。
資源ごみ集積場所からの資源物持ち去り禁止について、条例施行後減少したものの、いまだ持ち去りが絶えない状況にあるため、資源ごみ集積場所のパトロールを強化していく。
新ごみ処理施設の1日も早い建設に向け、扶桑町と連携を取り、小淵区を含めた山名3郷(小淵区・南山名区・山那区)の住民から理解がいただけるよう取り組む。

個別目標に対するまちづくり評価

市民の環境美化意識の向上により、ごみ出しのルールの理解促進や不法投棄に対する啓発・防止活動の充実が求められる。
新ごみ処理施設の建設のため、1日も早く住民に理解していただく必要がある。今後もより一層丁寧な説明が求められる。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

廃棄物減量等推進員、地区説明会、施設見学、環境フェスタ、事業所訪問等による啓発活動を実施し、ごみ減量「57運動」を推進した結果、市民及び事業者のごみ減量に対する意識を持続させることができたと考えられる。地元説明会やごみ処理施設見学会の実施などにより、新ごみ処理施設建設事業への理解が深まり、江南市の地元の3地区から文書による同意を得ることができた。

◆柱全体の今後の課題

循環型社会形成に向けた市民及び事業者の意識改革を推進するため、さらなる情報提供の充実を図る必要がある。また、2市2町の住民23万人のごみ処理を滞りなく行うため、1日も早く新ごみ処理施設を建設する必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

ごみの減量や資源化に対する市民及び事業者の意識向上を図るため、継続して、地区説明会、施設見学、環境フェスタ、ボランティア分別指導員養成、事業所訪問等の事業を推進する。また、新ごみ処理施設建設の実現に向けて、扶桑町山名3郷(小淵区・南山名区・山那区)の住民の理解が得られるよう取り組みを進める。

II 健康、福祉分野

地域全体で子育てや介護などを支援し、市民が健康で自立した生活をし、安心していきいきと暮らしている。

柱1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保【高齢者福祉】

高齢者が生きがいをもち、介護が必要になっても安心して暮らしている。

柱2 地域で安心して子育てできる環境づくり【子育て】

住み慣れた地域の支援を受け、安心して育児や療育ができています。

柱3 障害者の生きがいと安心した生活の確保【障害者福祉】

障害者が各自の能力に応じた就労、社会参加により自立し、また生活支援により住み慣れた地域で生きがいをもち安心して暮らしている。

柱4 健康な生活の確保【健康づくり】

自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている。

柱5 保険年金制度の健全な運営【保険年金】

もしもの場合の保険年金制度が健全に運営され、生活の不安が軽減され、安心して暮らしている。

柱6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保

【生活支援・福祉活動】

市民が地域で安心して暮らせるように生活支援が充実しているとともに、市民、市民団体、市役所などが協働し、地域を支え合い活動している。

まちづくり評価シート

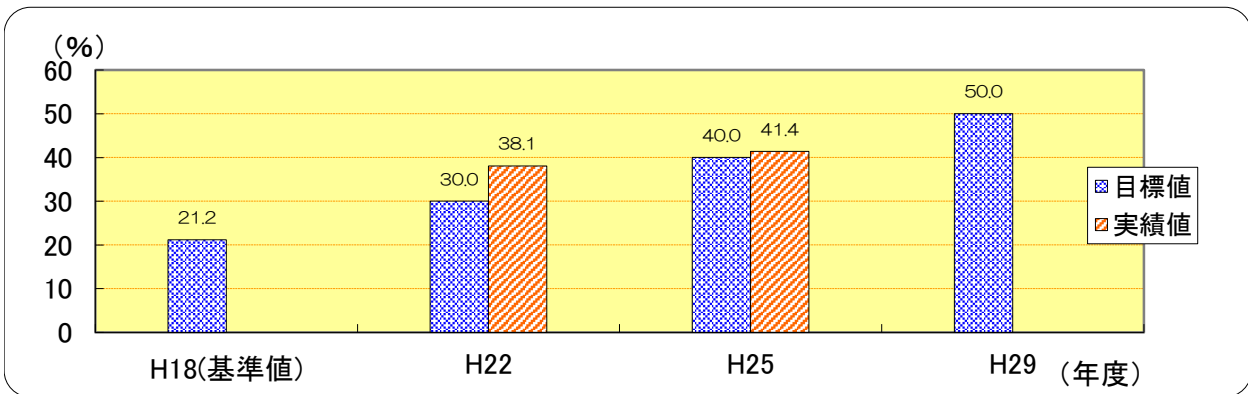
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

高齢者生きがい課【担う柱:1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 高齢者が生きがいをもって暮らしていけるよう、高齢者福祉事業の推進に努めた。
目標値	%	—	40.0	
実績値		21.2	41.4	
達成率	%	—	103.5	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業及び相談窓口を充実させることにより、在宅福祉の充実を図っている。シルバー人材センター、老人クラブの活動を支援し、今後も引き続き関係機関と協力をしながら、高齢者福祉事業の推進に努めて、高齢者がいつまでも生きがいのある生活をしていただきたい。

個別目標① 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

指標名	高齢者人口に占める要介護者の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・介護認定支援事業 ・地域支援事業
目標値	%	—	15.0	15.7	16.3	
実績値		13.0	12.7	13.4	12.9	
達成率	%	—	118.1	117.2	126.4	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	地域包括支援センターの職員が、二次予防事業対象者宅を訪問し介護予防事業の目的を説明し参加を促した結果、介護予防への意識が高まった。
市役所	公平・適正な介護認定を行うため、審査委員や調査員の研修を行った。介護予防事業参加のため二次予防事業対象者に事業参加を促す文書の発送や家庭訪問を行い、その後、地域包括支援センターが直接アプローチした。


指標名	介護保険サービスを利用している割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	80.0	81.0	82.0	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険居宅サービス等給付事業 ・介護保険施設サービス給付事業 ・住宅改修・福祉用具支給決定事業 ・介護サービス負担軽減事業
実績値		77.2	80.6	82.1	80.7	
達成率	%	—	100.8	101.4	98.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	介護サービスなどの利用について、市の窓口や地域包括支援センターなど複数の相談窓口が設けられている。
市役所	介護保険ガイドブックを送付し、広報こうなんにサービス利用の案内を掲載するなど、介護サービスの利用促進に努めた。

目標達成のための今後の展開方針
<p>地域資源を活用して、介護予防教室を開催し、高齢者が現在の自分の健康や生活について振り返り、楽しみや生きがいをもって暮らすために、自発的に行動できるような機会を設ける。</p> <p>また、安心していきいきと暮らせるまちづくりをめざし、介護保険、福祉、保健及び医療等の各種サービスや、地域における多様な社会資源の総合調整を行い、困難事例や広域的な課題について検討し、統一的な支援体制を総合的に整備することに努める。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
要介護認定者等になるのを防ぎ、介護にかかる給付費を抑える一方、介護状態になっても必要な介護サービスが安心して受けられるよう、サービスの充実をめざしていただきたい。

個別目標② 高齢者が在宅で安心して暮らしている

指標名	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	30.0	35.0	40.0	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報装置設置事業 ・高齢者住宅改善助成事業 ・高齢者タクシー基本料金助成事業 ・在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業
実績値		28.5	—	—	38.9	
達成率	%	—	—	—	97.3	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	高齢者の在宅生活のための福祉サービスがなされている。
市役所	高齢者の在宅生活に必要な福祉サービスに関する各種事業を展開している。

目標達成のための今後の展開方針
<p>高齢者の生活における諸問題(虐待・独居老人の生活支援)等に対して、地域包括支援センターを中心にその解決に向けて活動しているが、市の関係課担当職員との連携が必要であり、今後においてもより一層の支援、連携を図ることが必要である。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>高齢化に伴い、ひとり暮らし高齢者や介護が必要な高齢者の増加が予測される中、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、ひとり暮らし高齢者などの見守り支援を始め高齢者福祉サービスの充実を図っていただきたい。</p>

個別目標③ 老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている

指標名 シルバー人材センターの登録者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	631	676	721	・高齢者生きがい活動事業
実績値		491	376	367	359	
達成率		%	—	59.6	54.3	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	生きがいをもって働きたいと思う高齢者に、シルバー人材センターの会員登録ができるようになっており、広報紙への掲載でさまざまな事業の情報が得られている。					
市役所	高齢者が生きがいをもって働きたいと思える事業を展開するためにシルバー人材センターへの補助金を交付している。					

指標名 老人クラブの会員数						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	8,302	8,476	8,651	・老人クラブ事業
実績値		6,866	5,518	5,291	5,322	
達成率		%	—	66.5	62.4	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送れるように、老人クラブ事業が展開されている。					
市役所	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送ってもらうように、老人クラブ事業を支援し、補助金を交付している。					

目標達成のための今後の展開方針	
高齢者が生きがいのある充実した生活を送ることができるように、シルバー人材センター、老人クラブへの補助金を交付することで自主的な活動を促進し、会員数の増加を図るとともに、生きがいをもって参加できる事業を展開できるよう支援をしていく。	

個別目標に対するまちづくり評価	
高齢者が生きがいのある充実した生活を送ってもらえるように、今後もシルバー人材センター、老人クラブへの支援をしていきたい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業及び相談窓口の充実が図れた。特に介護予防事業は対象者のリストアップから予防教室の開催まで、基礎的な事業体制を構築できた。また、高齢者が生きがいをもって暮らすことができるよう、シルバー人材センター、老人クラブの活動を支援した。

◆柱全体の今後の課題

平成25年4月に実施した市民満足度調査結果では、高齢者が生きがいをもち、自立して暮らしているとの思いについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と感じている市民が約41.4%あるため、平成22年度の指標からは改善が図られているが、高齢化の進展に伴い投入する資源の増大が課題となるため、時代に即した施策の見直しや受益者負担のあり方を検討しながら、今後の活動を継続していくことが必要である。

また、急速な高齢化に伴い、独居高齢者や介護を必要とする高齢者の増加が予測されることから、高齢者の孤立化を防ぐ取り組みや介護が必要な状態にならないための支援が必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

高齢者が住みなれた自宅や地域で生きがいをもって活動的に暮らしていくことができるように、地域での見守り体制を整備し、民生委員や社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関と協働して、高齢者をこれからの地域を担う重要なマンパワーとして位置づけ、その地域活動を支援していく。

また、高齢者が健康で豊かな生活を送ることができるよう、高齢者の介護予防に対する意識を高めるとともに、地域や関係機関と共同して介護予防事業を推進していく。

まちづくり評価シート

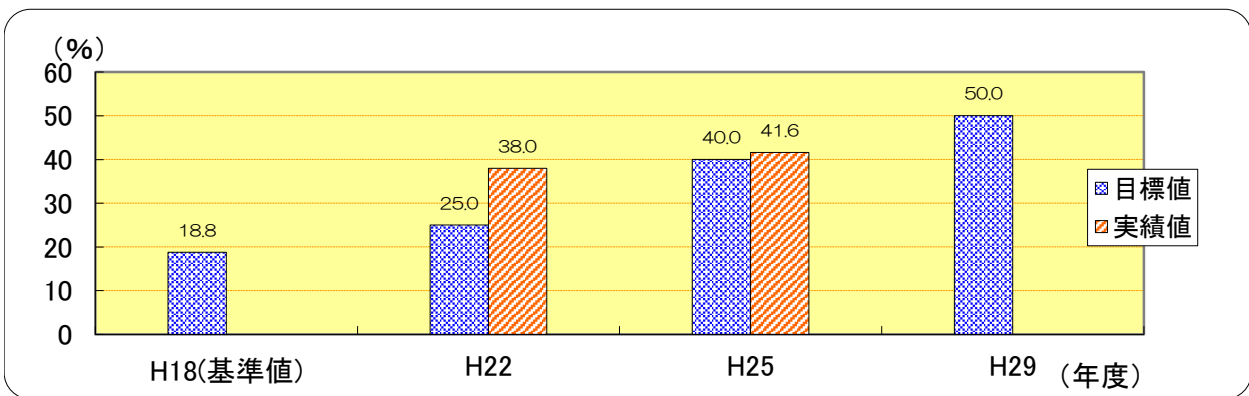
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

子育て支援課、福祉課【担う柱:2 地域で安心して子育てできる環境づくり】

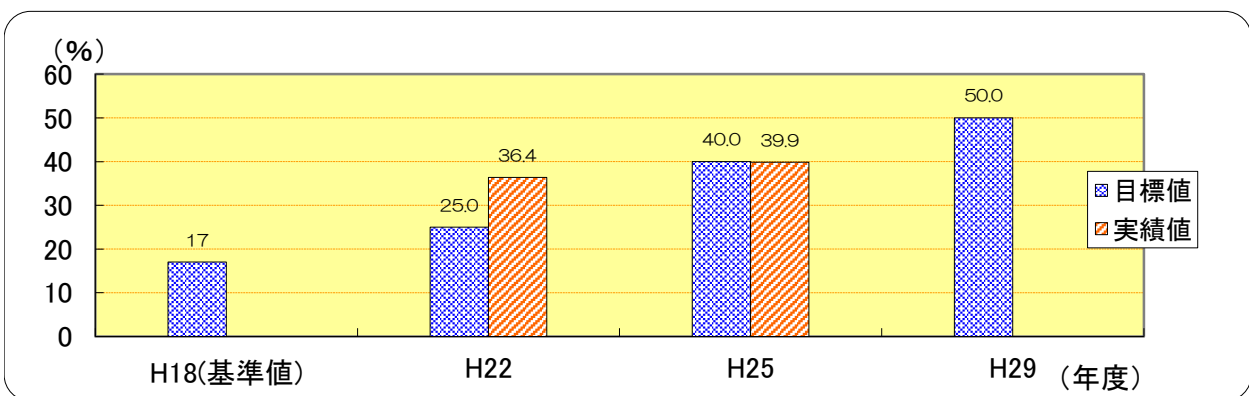
◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 安心して子育てしている

指標名	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	40.0	平成25年4月に実施した、市民満足度調査結果では、目標値を達成することができた。平成25年度から新たに1園を指定管理者制度により運営を開始し、長時間の延長保育を実施する園を増やし、保育サービスの充実を図った。
実績値		18.8	41.6	
達成率	%	—	104.0	
達成状況	—	—	☀	



指標名	学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	40.0	平成25年4月に実施した、市民満足度調査結果では、目標値を達成することができた。学童保育の時間延長等に取り組んだ。基盤施設として、保育園、保健センター等と連携し子育て支援の充実を図った。
実績値		17.0	39.9	
達成率	%	—	99.8	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

近年の急激な社会変化の中で、子どもたちの豊かな心と健やかな育ちを育むために、きめ細かな子育て支援サービスが求められているが、行政だけでなく地域全体で子育て支援・子どもの健全育成に取り組む必要がある。そのためには、地域全体で子育てを応援するという意識啓発を行い、家庭、地域でできることから積極的に取り組み、市民と行政、団体、そして地域が連携して、よりよい子育て環境づくりを進める必要がある。

個別目標① 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができている

指標名 保育園入園待機児童数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・保育実施事業 ・保育実施事業(保育園)
実績値		0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	入園申請をし、保育園に通園した。 定められた保育料を納期限内に支払った。					
市役所	保育園への入園希望者に対し、入所決定及び保育料の決定をした。 多様な保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育等を実施した。					

指標名 ファミリー・サポート・センター援助員数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	100	125	150	・ファミリー・サポート・センター事業
実績値		85	120	123	123	
達成率		%	—	120.0	98.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	ファミリー・サポート・センターの援助会員として登録し、援助活動を行った。					
市役所	ファミリー・サポート・センターの依頼会員と援助会員との連絡調整を行い、子育て中の家庭の支援を実施した。					

指標名 学童保育受入待機児童数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	
実績値		0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	学童保育所を利用し、利用料を納期限内に支払った。					
市役所	学童保育所の施設整備を実施し、待機児童の減少に努めた。					




目標達成のための今後の展開方針




保育園については、施設・設備の老朽化への対策も含め、効率的な運営に努めるとともに、ひとり親・共働き世帯の増加や就労時間の多様化などから、低年齢保育、延長保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育など、多様な保育ニーズの実施が求められており、子育て支援の基盤整備を推進していく。
学童保育の小学校の空き教室の利用等については、児童数の推移等を見極め、教育課と協議していく。

個別目標に対するまちづくり評価

テレビや新聞では「少子化」や「子育て支援」など、子育てをめぐる諸問題について大きく報じられている。子どもと子育てを応援することは、「未来への投資」であり、次代を担う子どもたちが健やかにたくましく育ち、子どもの笑顔があふれる社会の実現のために、事業を推進していただきたい。

個別目標② 家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくできている

指標名		子育て支援センター(子育てサロン)の利用者数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	10,000	10,250	10,500	・子育て支援センター事業 ・育児支援家庭訪問事業
実績値		7,632	12,515	11,589	12,389	
達成率		—	125.2	113.1	118.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	子どもや家庭の悩みについて、子育て支援センター等へ電話相談をした。サロンを利用し子育ての楽しみを得たり、子育てサークルに参加した。					
市役所	子育て支援センターを拠点として、子育て家庭に対して育児不安等への相談や子育てサークルの育成、支援、ほほえみ広場の開催及び情報誌の発行等を行った。					

指標名		児童虐待発生件数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	↓	↓	↓	・児童虐待防止対策緊急強化事業
実績値		6	34	38	41	
達成率		—	17.6	15.8	14.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	虐待の兆候があると思われる世帯を見聞きしたときに、児童相談センター及び市役所子育て支援課に通報した。					
市役所	市民や小中学校及び保育園などからの通報を受け、48時間以内の児童の安全確認と調査をしたうえで、指導及び保護した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>子育て支援センターについては、ニーズに応じた教室、講座の充実や、子育て支援のための各種情報を子育て家庭へ提供していく。</p> <p>児童虐待については、緊急な案件があると考えられるので、発見後の迅速な対応を最優先して事務を進める。児童虐待件数は、今後も増加することが予想されるが、関係機関と協力し、子どもの安全を第一に考えた対応を行う。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>児童虐待を防止するとともに、虐待を受けた子どもへのきめ細やかな対応をお願いしたい。</p>	

個別目標③ 異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている

指標名 児童館活動への延べ参加利用者数

	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	140,000	140,000	140,000	・児童館活動事業
実績値		132,393	113,298	119,794	123,917	
達成率		%	—	80.9	85.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	児童館を交流の場として利用し、積極的に行事等に参加した。
市役所	多くの市民の方が楽しんで参加できるような児童館の行事等を企画し、実施した。

指標名 こどもフェスティバル来場者数

	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	30,000	30,000	30,000	・こどもフェスティバル事業
実績値		20,000	22,000	25,000	27,000	
達成率		%	—	73.3	83.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	親子や子ども同士が楽しく交流活動に参加した。 ボランティアとして事業の運営に協力した。 催事を企画し、こどもフェスティバルに参加した。
市役所	多くの市民の方が楽しんで参加できる事業を実施した。 ボランティアの方に事業の運営に参加していただくよう調整をした。 さまざまな市民団体が、こどもフェスティバルに参加できるよう調整をした。




目標達成のための今後の展開方針

児童館活動については、遊び方などの活動内容を点検し、児童館の本来あるべき姿を検討する必要がある。こどもフェスティバルの催し物の形態は定着しているが、マンネリ化しないように運営協議会等で新たな企画について調査・研究していく。

個別目標に対するまちづくり評価




達成率は、天候に大きく左右されることになるが、参加団体等と協力して改革改善を図る等、市民が魅力あると感じるイベントにしていきたい。

個別目標④ 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができている

指標名		ひとり親家庭の自立人数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	90	90	90	・(市)児童扶養手当事業 ・児童・遺児手当等事業
実績値		83	84	94	92	
達成率		%	—	93.3	104.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	児童扶養手当の受給と併行して、就労等を行い、所得増加を図ることにより自立をめざした。
市役所	ひとり親家庭が自立するため、補完的な経済的支援を行った。

指標名		母子家庭が自立するための就労への教育支援件数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	件	—	20	25	30	・母子家庭自立支援給付事業
実績値		6	6	8	4	
達成率		%	—	30.0	32.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	母子家庭の母が自立するため、必要な就労教育訓練を受けた。
市役所	母子家庭の母が自立するための必要な就労教育訓練への支援及び相談等を行った。

目標達成のための今後の展開方針

ひとり親家庭の自立は、本人の自覚や意欲が大きく左右するので、就労についての相談があれば、市や県及びハローワーク等の相談につながるような支援を行う。
就労への教育支援件数は、目標値に比べ実績が伴っていないが、母子相談の件数に大幅な減少はみられない。従って、就労への教育支援までには至らないまでも、就労相談のニーズは依然として高く、引き続き事業を継続する。

個別目標に対するまちづくり評価

ひとり親家庭における親の就労については、昨今の社会情勢から所得を十分に得られている状況とは考えにくい。このような家庭に対する手厚い支援をお願いしたい。

個別目標⑤ 障害児は療育支援や統合保育での発達支援を受けている

指標名 市の母子通園施設への受入待機児童数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・わかさ園管理運営事業
実績値		0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	健康診査で指摘された障害児や発達に遅れがある子どもをもつ保護者は、積極的に施設を利用し療育指導を受けた。					
市役所	関係機関と連携を図りながら、集団訓練、日常生活自立訓練、その他の訓練を行い子どもの健全な育成を支援した。					

指標名 保育園の障害児受入待機児童数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・保育実施事業(保育園)
実績値		0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	保育園での健常児との統合保育を希望する保護者は、積極的に入園申請をした。					
市役所	集団保育が必要な障害児のために、健常児との統合保育により、成長発達の促進を支援した。					

目標達成のための今後の展開方針	
障害をもつ乳幼児やその家族への療育体制の充実に向けて、地域療育・支援のあり方を視野に入れ、課題やニーズの把握、施策の方向性や関係機関との具体的な連携策等について検討を行う。	

個別目標に対するまちづくり評価	
できるだけ早期に、適切な療育を行うことにより、障害の軽減及び基本的な生活能力の向上が図られるので、障害の早期発見、早期療育など療育体制を充実していただきたい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成21年4月から、布袋北保育園、古知野児童館及び藤ヶ丘児童館に指定管理者制度を導入し、運営の効率化を図ってきた。新たに古知野西保育園については、平成25年度からの指定管理者制度の導入に向け選定及び指定管理者との合同保育を実施し、スムーズに引き継ぎを行うことができた。
交通児童遊園の耐震化工事を実施し、安心して利用してもらえるようになった。

◆柱全体の今後の課題

現在、子どもや子育てをめぐる環境は厳しく、近年の家族構成の変化や地域のつながりの希薄化によって子育てに不安や孤立感を感じる家庭は少なくない。本格的な人口減少社会が到来し、子どもを生み、育てたいという個人の希望がかなうようにするためのサポートが強く求められている。保育サービスの充実を望む声も増加傾向にあり、親が子どもを育てやすい環境整備を図る等、積極的に支援することが必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

保育園については、全体の入所希望者は横ばいの状況にあるものの、3歳未満児の入所希望は増加傾向にある。低年齢児保育への対応に努めなければならない。また、病児・病後児保育等、多様化するニーズに対し、保育サービスの充実に努める。
学童保育の利用希望者は年々増加しており、施設の拡充整備を進めていかななければならない。
子育て不安を解消するため、気軽にまた多様な相談内容に対応できるように、各相談窓口の連携に努める。


まちづくり評価シート

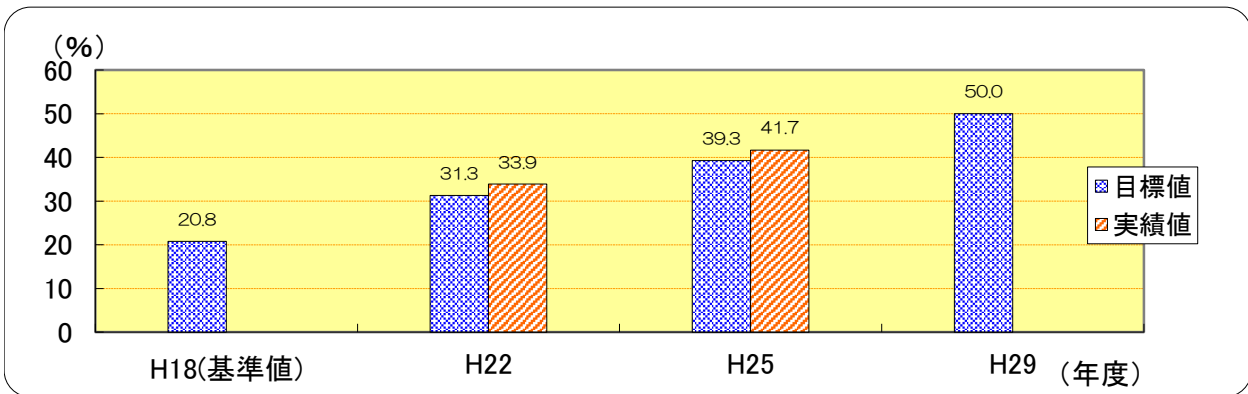
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱:3 障害者の生きがいと安心した生活の確保】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている




指標名	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 平成25年4月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の達成率が106.1%という結果になった。障害者総合支援法により、一元的に障害福祉サービスを提供できるようになった。
目標値	%	—	39.3	
実績値	%	20.8	41.7	
達成率	%	—	106.1	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価




障害者個々の状況や必要とする福祉サービスはさまざまなので、聞き取りを的確に行うことにより障害の状況に応じた福祉サービスが提供されている。障害福祉サービスの供給体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行い、利用増につながっている。今後もサービス提供事業所の拡大に努めていきたい。




個別目標① 障害者が生活しやすい社会環境が整備され、能力にあった就労・社会参加をしている

指標名	障害者の雇用率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・心身障害者小規模授産施設管理運営事業 ・職親委託事業
目標値	%	—	1.80	1.80	1.80	
実績値	%	1.46	1.54	1.53	1.53	
達成率	%	—	85.6	85.0	85.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	ハローワーク等で職業相談を受けた。
市役所	ハローワーク等と連携し、障害者雇用の促進・周知に努めた。




指標名		公共施設のバリアフリー化率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・障害者計画及び障害福祉計画策定事業
実績値		60.1	69.8	69.8	69.8	
達成率	%	—	116.1	116.1	116.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	複数階における公共施設にエレベーター整備や視覚障害者誘導用ブロック敷設等の要望をした。					
市役所	江南市民文化会館大ホール東側通路に手すりを設置した。					

指標名		就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	73	85	97	・障害者計画及び障害福祉計画策定事業
実績値		不明	32	71	101	
達成率	%	—	43.8	83.5	104.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市内の障害福祉サービス事業所で利用者がかかわり製品化した授産製品を市役所等で販売した。					
市役所	就労継続支援及び就労移行支援サービスを提供する施設を支援した。					

目標達成のための今後の展開方針	
障害者の就労に対する相談体制の充実や福祉的就労の場を確保していく。	




個別目標に対するまちづくり評価	
就労に向けた就労継続支援や就労移行支援のサービス提供事業所の参入の働きかけをお願いしたい。	

個別目標② 障害者は日常生活の支援を受け、安定した生活をしている

指標名		施設入所支援サービスの利用人数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	87	87	87	・障害者施設訓練等支援事業
実績値		94	92	78	94	
達成率		%	—	105.7	89.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地域での自立をめざし、自立訓練やグループホーム等の支援を受けた。
市役所	生活介護、自立訓練などの日中活動系サービスを利用し、グループホーム等に移行し施設入所者数の削減に努めた。

指標名		訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	89	91	94	・障害者居宅生活支援事業
実績値		77	67	82	83	
達成率		%	—	75.3	90.1	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地域での自立した生活を送るために、居宅介護(ホームヘルプ)等の支援を受けた。
市役所	個々の状況に応じた居宅介護(ホームヘルプ)等の訪問系サービスを提供した。

目標達成のための今後の展開方針

障害者(児)については、福祉課で一元的に支援できるよう事務の改善を図ったが、今後も支援を継続していく。また、社会福祉法人で建設計画がある共同生活援助(グループホーム)等について補助金交付による支援を行っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

障害者が安定した生活を送るために何を必要としているか、ニーズ把握をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

障害者個々の状況や必要とする福祉サービスはさまざまなので、聞き取りを的確に行い、状況に応じた福祉サービスを提供することができた。障害福祉サービスの供給体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行ったことにより利用増につながった。

◆柱全体の今後の課題

障害のある人が安心して生活していくために障害のある人やその家族が相談できる身近な場所の確保や必要な時に必要な障害福祉サービスを受けることができるための支援体制の充実が求められている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

相談窓口として社会福祉協議会及び精神障害者地域活動支援センター「希楽里」の利用促進を図るための周知と啓発に努めるとともに、障害者が地域で生活していくうえで必要となる障害福祉サービスを実施する事業所の参入を働きかけ、施設整備の支援に努める。
また、平成25年度に新たに設置した江南市基幹相談支援センターを中心に、地域の相談支援体制の強化に努める。

まちづくり評価シート

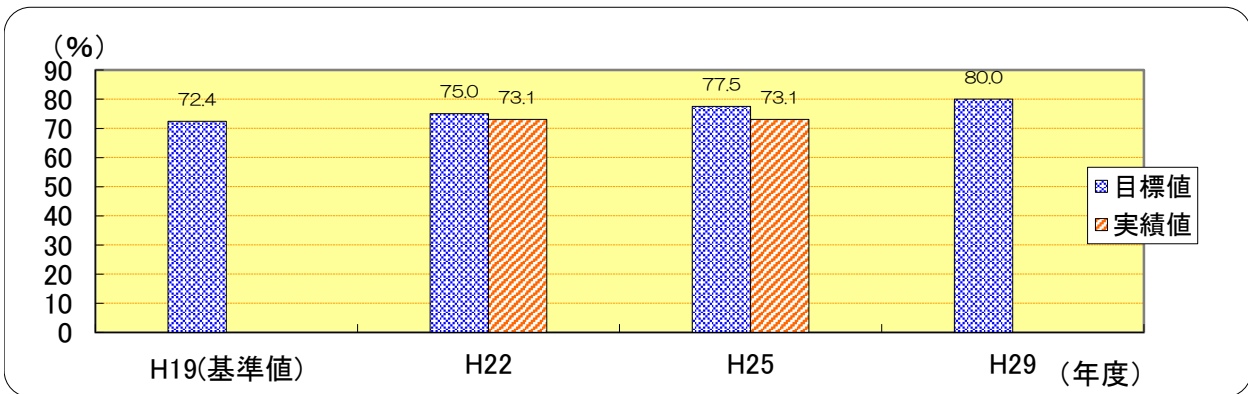
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

健康づくり課【担う柱:4 健康な生活の確保】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

指標名	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H25	
目標値	%	—	77.5	平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は、平成22年の調査結果と変化がなかった。 市が実施している生活習慣病予防の各種健診(検診)や健康教育、健康相談等の取り組みが定着しつつある。
実績値		72.4	73.1	
達成率	%	—	94.3	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査で「健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じている」の市民の割合は、平成22年調査と同率で、目標値は達成していないが、市が実施している健康増進事業や疾病予防事業などの取り組みが定着しつつある。

一方、がん検診を始めとする検診(健診)の受診率が低値であり、疾病の早期発見、早期治療のためにも、受診の必要性を広く周知する必要がある。


食と運動を中心とした健康教育により、健康の保持、増進を推進することでも、市民の健康意識の向上を図っていく必要がある。

個別目標① 自らが疾病予防に取り組んでいる


指標名	健康診査受診率					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	70.0	71.0	72.5	・健康管理事業 ・節目年齢歯科健康診査事業
実績値		67.7	—	—	67.4	
達成率	%	—	—	—	93.0	
達成状況	—	—	—	—	☀	

取り組みの状況




市民	がん検診、節目年齢歯科健康診査等を受診した。
市役所	検(健)診の案内を広報こうなんや市ホームページに掲載、ポスター、回覧板、保育園や幼稚園の保護者向けチラシ等にて周知した。 節目年齢歯科健康診査、子宮頸がん・乳がんの節目年齢対象者には個別通知をした。

指標名 運動習慣のある市民の割合【男】						
	単位	H14 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	27.0	29.5	32.0	・成人保健事業 ・高齢者健康増進事業
実績値		16.4	26.0	—	—	
達成率	%	—	96.3	—	—	
達成状況	—	—		—	—	

取り組みの状況	
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、からだを普段から動かすように意識した。
市役所	生活習慣病予防等の教室に運動の内容を組み入れて実施した。 あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。

指標名 運動習慣のある市民の割合【女】						
	単位	H14 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	24.0	26.5	29.0	・成人保健事業 ・高齢者健康増進事業
実績値		14.0	19.7	—	—	
達成率	%	—	82.1	—	—	
達成状況	—	—		—	—	

取り組みの状況	
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、からだを普段から動かすように意識した。
市役所	生活習慣病予防等の教室に運動の内容を組み入れて実施した。 あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。




指標名 健康フェスティバル参加者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	3,500	3,500	3,500	・健康推進事業
実績値		1,600	3,016	3,128	3,660	
達成率	%	—	86.2	89.4	104.6	
達成状況	—	—				




取り組みの状況	
市民	健康フェスティバルに参加し、健康づくりに対する意識を高めた。
市役所	健康づくりを考える機会として健康フェスティバルを実施した。




目標達成のための今後の展開方針
広報等で検(健)診、健康教室の内容を、市民によりわかりやすく伝える視点で作成し、広く正しい知識を伝えることで、受診行動や健康づくり行動につなげていく。

個別目標に対するまちづくり評価
第2次健康日本21こうなん計画に沿って、検(健)診の受診機会の提供、運動習慣のある市民が増加する取り組みが実施できている。 健康生活習慣は継続が必要なため、今後も引き続き実施していただきたい。

個別目標② 必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

指標名 予防接種(三種混合)接種率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値		89.4	94.2	98.5	99.7	
達成率		—	94.2	98.5	99.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	三種混合予防接種の必要性を理解し、医療機関で予防接種を受けた。 (平成24年11月から四種混合へ変更)					
市役所	三種混合予防接種の必要性や副反応を説明し予防接種を受けることを勧奨した。 (平成24年11月から四種混合へ変更)					

指標名 予防接種(BCG)接種率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値		98.1	99.2	98.1	98.8	
達成率		—	99.2	98.1	98.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	BCGの必要性を理解し、集団予防接種を受けた。					
市役所	予防接種の予診票や説明書を送付し予防接種を受けることを勧奨した。 予防接種説明会を実施し、予防接種の受け方、スケジュールの立て方を説明した。					

指標名 狂犬病予防注射接種率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・動物保護・管理事業
実績値		83.6	81.8	82.0	81.0	
達成率		—	81.8	82.0	81.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	狂犬病の予防注射を集団接種会場又は動物病院で受け、注射したことを届け出た。					
市役所	狂犬病の予防注射の勧奨と注射済であることを届け出る必要性を周知した。					

目標達成のための今後の展開方針

予防接種対象者が、時期を逃さず接種が受けられるよう情報提供していく。
 平成25年度からヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチンが追加され定期接種が増えたため、予防接種計画等についての相談に積極的に応じていく。
 予防接種の広域化拡大を図り、かかりつけ医で接種ができる体制を整える。
 今後さらに水ぼうそう、おたふくかぜ、B型肝炎、高齢者肺炎球菌等の任意接種が定期接種に移行することが検討されているので適切に対応できる体制を整える。
 予防接種事故防止の対策をとっていく。

個別目標に対するまちづくり評価

予防接種を実施することは、自分の健康を守るだけでなく、病気の感染防止にも役に立っている。定期接種の接種時期を逃さず予防接種ができるよう周知を徹底してほしい。

個別目標③ 母子が健康保持に積極的に取り組み、母子共に健康に暮らしている

指標名	妊婦健康診査の受診率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値		95.3	100.7	101.1	93.4	
達成率		—	100.7	101.1	93.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	医療機関にて妊婦健康診査を定期的に受診した。
市役所	母子健康手帳交付時に妊婦健康診査の重要性を周知し、最大14回の妊婦健康診査の費用助成を行った。

指標名 乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率

	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	
実績値		98.5	96.5	99	99.6	
達成率		—	96.5	99.0	99.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	広報こうなんや案内通知で健診日を確認し、健康診査を受けた。
市役所	健診対象ごとの受診日を広報こうなんと市ホームページに掲載するとともに、健診案内・子どもの様子等を記入するアンケートを対象者へ送付し、受診を勧奨した。又、未受診者へははがき、電話などで再度受診の勧奨を行った。


目標達成のための今後の展開方針

妊婦健康診査の受診率向上に向けては、自分の健康状態を把握し、異常に気付いたら、早期に婦人科へ受診するよう勧奨していく。
 乳幼児健診は、対象者全員に受診通知をしており、未受診者には再度受診勧奨をしている。今後も引き続き対応していく。
 さまざまな子どもや保護者、家庭環境などに合わせた適切な支援を行っていく必要がある。

個別目標に対するまちづくり評価


妊婦が安心して出産・子育てできるよう、経済的及び精神的に支援していくことができたことは評価できる。引き続き妊婦健康診査の費用助成や保健師等の専門スタッフによる育児支援が望まれる。

個別目標④ 市民が安心して医療を受けている

指標名	かかりつけ医をもっている市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	60.0	62.0	65.0	
実績値		56.2	—	—	62.5	
達成率		—	—	—	96.2	
達成状況	—	—	—	—		




取り組みの状況

市民	市から提供される情報により、病状やケガの程度により医療機関を選んでいる。
市役所	広報こうなんや市ホームページで、休日急病診療所の診療情報を提供するとともに、保健センターのホームページから、尾北医師会、尾北歯科医師会のホームページにリンクし、各医療機関の診療科目、診療時間、所在等の情報を提供した。

指標名	病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	72.0	72.5	73.0	
実績値		49.3	—	—	77.3	
達成率		—	—	—	105.9	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合は、軽度であれば休日急病診療所を受診し、重度の場合は第2次救急医療機関を受診している。
市役所	休日急病診療所の開設、第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。

指標名	休日急病診療所の受診者数					
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	2,200	2,200	2,200	
実績値		2,138	2,590	2,452	2,172	
達成率		—	—	117.7	111.5	98.7
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	休日の急な病気やケガの場合に、第1次救急医療施設として休日急病診療所を受診している。
市役所	尾北医師会に運営を委託し休日急病診療所を開設した。

指標名	救急搬送件数					
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	4,000	4,000	4,000	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業 ・江南厚生病院建設費補助事業
実績値		4,000	4,586	4,713	4,687	
達成率	%	—	87.2	84.9	85.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合、適切な医療が受けられるよう第2次救急医療機関を受診している。
市役所	第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。

目標達成のための今後の展開方針
第1次救急医療施設として傷病の初期医療を担当する休日急病診療所の周知に努める。 休日急病診療所の経年劣化に対し、計画的に補修及び修繕を行い維持管理を行っていく。 救急医療体制を充実させるため、江南厚生病院・総合犬山中央病院・さくら総合病院へ必要な助成を行う。

個別目標に対するまちづくり評価
休日・夜間の急な病気やケガをした場合に、その症状に対応できる医療機関に受診できる体制を整えてほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
各種がん検診などの実施内容等の周知を、広報こうなん及び市ホームページの掲載、チラシの地区回覧、啓発ポスターを市施設及び医療機関、食品衛生協会会員の事業所等で掲示するなどして行ったが、受診率の向上にはつながらなかった。 予防接種、妊産婦及び乳幼児の健康診査は、ともに高い接種率、受診率を保つことができた。 1次医療の充実を図り、安心できる医療体制をとることができた。

◆柱全体の今後の課題
生活スタイルの変化により生活習慣病が増加し、当市でも、がん・循環器疾患、糖尿病などの生活習慣病による死因が上位を占めている。早期発見、早期治療を阻む一因として、健康診査や各種がん検診を受診する人が少ないという現実がある。よりよい生活を維持するためにも健診(検診)等の受診率の向上が必要となる。また、こころの健康は、いきいきと自分らしく生きるために重要な要件である。現在、こころの健康の相談等の体制は、妊娠、出産、子育てに関してはできているが、その他の領域においては環境等の影響があり十分ではない。こころの健康づくりにおいて知識の普及啓発、相談体制等の整備が必要である。平成25年度にヒブ、小児用肺炎球菌が定期予防接種に加わった。今後はさらに定期接種が追加されていく見込みであるので、接種を受けやすい体制づくりが課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
各種がん検診等の受診の必要性を周知し、受診率向上をめざす。 各種予防接種や妊婦・産婦・乳幼児健康診査は、高い接種率、受診率を維持しているが、さらなる向上をめざし、引き続き勧奨等に努める。 こころの健康づくりについては、休養の必要性も含めた正しい知識の普及啓発及び相談体制の関係機関との調整が必要である。

まちづくり評価シート

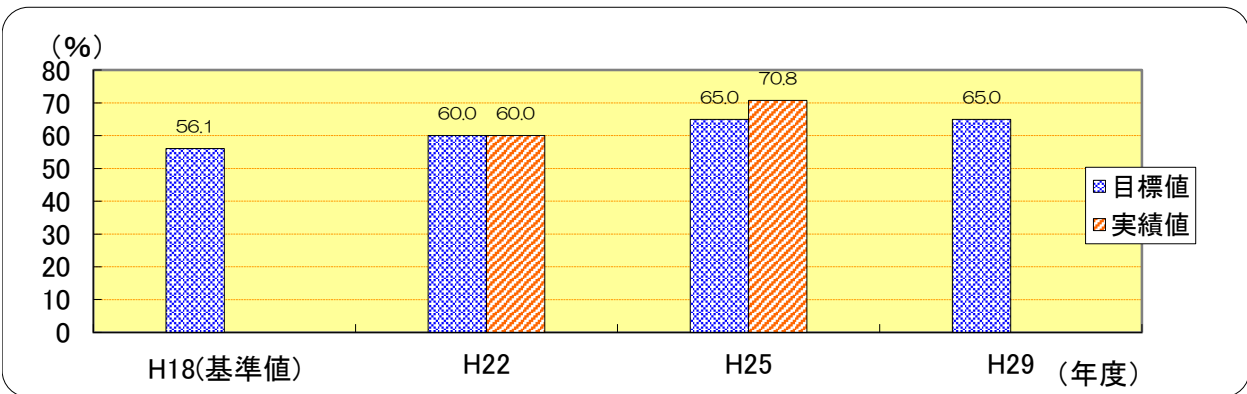
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

保険年金課【担う柱:5 保険年金制度の健全な運営】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

指標名	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 70.8%の市民が保険年金制度により安心して暮らしていると感じており、目標を達成することができた。これは、窓口において丁寧な説明を心がけたこと、広報こうなんや各種リーフレットなどを活用して制度のPRを図ったことなどが評価されたものと思われる。
目標値	%	—	65.0	
実績値		56.1	70.8	
達成率	%	—	108.9	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




目標は達成できたが、国民健康保険及び後期高齢者医療制度について、セーフティネットとしての役割がこれまで以上に増し、市民ニーズが高くなることが予想される。今後も健全で安定した制度の維持に努めてほしい。




個別目標① 医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている




指標名	国民健康保険給付実施率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・保険給付事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	
実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	高額療養費や療養費などの必要な給付について申請を行った。
市役所	被保険者に必要な医療給付等を行った。

指標名 特定健康診査実施率						
	単位	H (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	59.0	65.0	50.0	・特定健康診査・特定保健指導事業
実績値		—	44.9	45.8	46.1	
達成率	%	—	76.1	70.5	92.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	40歳以上の被保険者は、特定健康診査・特定保健指導を受診し、健康維持に努めた。					
市役所	特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上をめざし、広報こうなん等でのPRに努めた。					

指標名 福祉医療費助成実施率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・福祉医療費助成事業 ・子ども医療費助成事業
実績値		100.0	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	医療費受給者証の交付申請を行った。住所、加入保険等の変更届を提出した。県外受診等により、現物給付による助成を受けることができなかった場合は、償還払いの申請を行った。					
市役所	受給資格者に対し、医療費受給者証を交付した。県外受診等により現物給付ができなかった場合は、申請に基づき、償還払により助成した。					

指標名 後期高齢者医療給付実施率						
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・後期高齢者医療支援事業
実績値		98.9	100.0	100.0	100.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	特定健康診査を受診し、健康増進に努めた。					
市役所	特定健康診査や協定保養所利用助成事業についてPRに努めた。					

指標名		国民健康保険税収納率(現年分)				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・保険税賦課事業 ・収納対策事業
実績値		91.7	90.7	91.1	91.2	
達成率	%	—	98.9	99.3	99.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	国民健康保険税を期限内に納付した。					
市役所	戸別訪問徴収を実施した。 出張納税相談を実施した。 口座振替の勧奨を窓口で行った。					

指標名		後期高齢者医療保険料納付率				
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・後期高齢者医療支援事業
実績値		98.9	99.1	99.1	99.3	
達成率	%	—	100.2	100.2	100.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	後期高齢者医療保険料を期限内に納付した。					
市役所	被保険者に対し、保険料の徴収や納付相談等、きめ細かな対応を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>国民健康保険給付については、制度改正に的確に対応するとともに被保険者に対しわかりやすい説明を心がける。</p> <p>特定健康診査については、実施期間、実施方法などの見直しを順次行い、受診率の目標達成をめざす。</p> <p>子ども医療費助成制度と精神障害者医療費助成制度の受給対象者の拡大と一部負担がある場合の現物給付化を検討する。</p> <p>国民健康保険税の収納については、制度理解への啓発、口座振替の勧奨などにより目標達成を図る。</p> <p>高齢者の方々の医療を確保するため、後期高齢者医療制度の啓発及びきめ細かな納付相談を行う。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>国民健康保険及び後期高齢者医療の保険医療の給付並びに子ども・母子・障害者などの福祉医療の給付については、実施できている。</p> <p>国民健康保険及び後期高齢者医療については、健全な運営をめざし、医療費の削減に効果のある各種事業を実施してほしい。</p>	

個別目標② 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

指標名		国民年金保険料納付率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・年金異動処理事業 ・年金保険料納付事業 ・年金給付事業 ・年金推進事業 ・年金相談事業
実績値		69.4	62.8	63.5	65.9	
達成率		—	90.5	91.5	95.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを行った。 国民年金の保険料を期限内に納付した。					
市役所	国民年金の届出、納付、その他制度に関する広報を行った。 国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを受理し、日本年金機構に報告した。 国民年金の業務や制度に関する相談を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
国民年金保険料の納付督促や年金制度の周知に関する広報活動、及び免除等の申請書等の受付を継続して行い、年金事務所と協力連携して納付率の向上に取り組む。	

個別目標に対するまちづくり評価	
国民年金制度に対する不安がある中、雇用や所得の持ち直し、日本年金機構の督促の強化により、国民年金保険料の納付率は若干上昇している。しかし、国民年金保険料の納付率はなお厳しい状況であるため、年金保険料の納付督促や年金制度の周知に関する広報活動、免除等の申請書の受付を行い、引き続き納付率の向上を図る。これまでに行ってきた事務事業を継続して実施し、年金事務所と協力連携して、さらに納付率の向上につながるよう取り組んでいく必要がある。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

国民健康保険、後期高齢者医療、子ども・母子・障害者などの福祉医療制度において、給付を実施し、市民の生活の不安を軽減することができた。
国民年金の資格異動や免除申請、給付に関する請求手続きについて受付を行い、日本年金機構へ報告を行うなど、国民年金事務を円滑に進めることができた。

◆柱全体の今後の課題

少子高齢化が加速する中で、国民健康保険及び後期高齢者医療制度の健全で安定した運営を維持することが求められており、保険税(料)の確保及び医療費の抑制が課題となっている。
子ども医療費や精神障害者医療費助成制度において生じている県内格差の解消が課題となる一方、医療の高度化などによる医療費の増加に対応するため持続可能な制度を検討する必要がある。
国民年金制度が、今後の安定した制度の運営を持続できるようにするためには、制度のPRと保険料の納付督促の推進が課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

医療保険制度については、広報こうなんやパンフレットを利用した納税や口座振替の勧奨、医療費についての情報などについては広く周知する。国民年金保険料の納付率の向上をめざし、年金事務所との協力体制を強化する。また、国民の年金制度に対する関心を高めるため、制度のPRなどを広く行う。


まちづくり評価シート

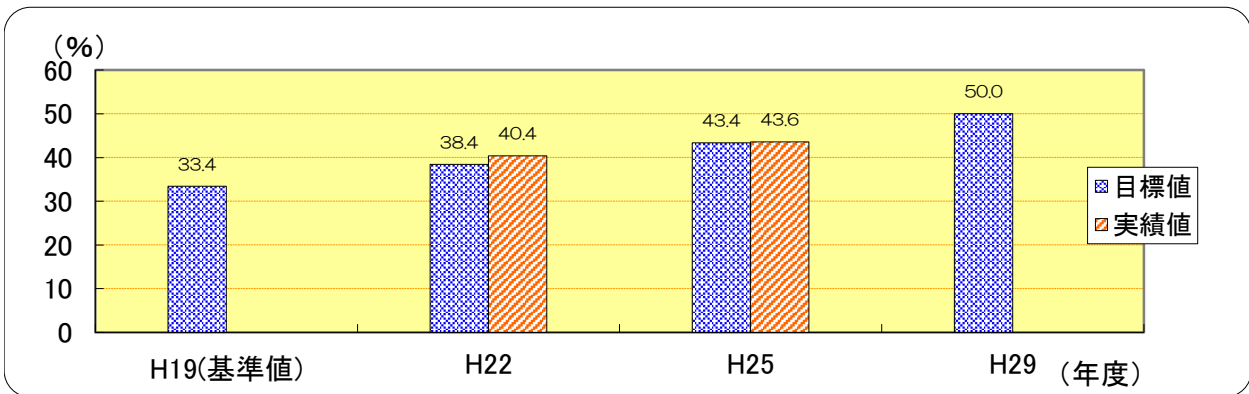
健康福祉部【担う分野:Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱:6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 生活困窮者や高齢者などへの生活支援が充実し地域で支え合い、誰もが地域で安心して暮らしている




指標名	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析 ハローワークなど関係機関との連携による支援を行ったことにより、平成25年4月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の達成率が100.5%という結果になった。
目標値	%	—	43.4	
実績値		33.4	43.6	
達成率	%	—	100.5	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

生活困窮者などの自立支援に向け、犬山公共職業安定所、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図っていただきたい。

個別目標① 生活困窮者や被災者が支援を受け、自立している

指標名	生活保護世帯の自立した割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・生活保護事業 ・生活保護受給者就労支援事業
目標値	%	—	→	→	→	
実績値		13.5	13.6	14.7	10.6	
達成率	%	—	100.7	108.9	78.5	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	生活保護受給者が自立に向け、就労支援員とともに犬山公共職業安定所等での求職活動を行った。
市役所	生活保護者の自立を促すため、随時、家庭訪問等面談を実施して、生活環境や就労・増収等のアドバイスを行った。

目標達成のための今後の展開方針

今まで以上に生活困窮者が増大することが予想される。そうしたニーズに対応できる体制が必要である。また、自立支援対策として新たに保護が開始された方に対する早期の就労支援や母子家庭に対する就労支援を行う。




個別目標に対するまちづくり評価

生活保護制度の自立助長機能を高めることと併せて、増大する生活困窮者に対し、生活保護受給に至る前の段階から安定した就労を支援することも緊要の課題となっている。そうしたニーズに対応できる相談体制の整備をお願いしたい。

個別目標② 社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている




指標名	社会福祉関係の団体数、参加人数【団体数】					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	団体	—	25	25	25	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値		19	23	23	23	
達成率		%	—	92.0	92.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	各種行事に団体が参加し、団体の活動についてPR等を行った。					
市役所	各団体への財政支援及び会議や活動の場へ赴き、支援や助言を行った。					

指標名	社会福祉関係の団体数、参加人数【参加人数】					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	800	800	800	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値		760	1,083	960	899	
達成率		%	—	135.4	120.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	スポーツ大会、作品展など団体が行う事業に参加した。					
市役所	スポーツ大会などを行うための障害者(児)連絡協議会や社会福祉協議会を通じてボランティアセンターへの支援を行った。					

指標名		市内の福祉関係のNPO団体数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	団体	—	5	5	6	・社会福祉関係団体育成事業
実績値		3	7	7	7	
達成率	%	—	140.0	140.0	116.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	各団体が行っている福祉活動を通じてボランティア活動に参加した。					
市役所	各団体へ福祉関係に関するさまざまな情報を提供した。					




目標達成のための今後の展開方針	
地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やすため、活動内容等をPRする。	
個別目標に対するまちづくり評価	
各団体の会員の構成が高齢化している。また、地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やす必要がある。	

個別目標③ 生活困窮者や高齢者などは、民生委員等の支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている

指標名		民生委員の相談支援件数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	↑	↑	↑	・民生委員事業
実績値		2,103	2,879	2,922	3,217	
達成率	%	—	136.9	138.9	153.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	生活面や経済面などの困りごとについて、身近な地区の民生委員児童委員に相談した。					
市役所	地域住民からのニーズに対応するために、研修会の開催等民生委員児童委員の知識向上を図った。					

目標達成のための今後の展開方針	
平成25年度の一斉改選に伴い、新任民生委員児童委員に対し研修等への参加を実施して知識の向上を図る。	
個別目標に対するまちづくり評価	
地域で身近な相談ができる方として民生委員児童委員は重要である。今後も研修会等を行い、民生委員児童委員の知識向上を図ってほしい。	

個別目標④ 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている

指標名	市の学習等供用施設の利用者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	135,000	135,000	135,000	・学習等供用施設管理運営事業
実績値		121,286	125,846	122,313	117,924	
達成率		%	—	93.2	90.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	学習等供用施設を積極的に利用した。 施設予約システムにより施設の空き状況を確認した。
市役所	施設の効率的及び効果的な運営ができた。

目標達成のための今後の展開方針

学習等供用施設の適切な維持管理・運営を行い、市民が利用しやすい環境を整える。

個別目標に対するまちづくり評価

年末年始を除き全日開館したことや施設予約システムでの運用は評価できる。市民ニーズを把握し、さらに利用しやすい環境をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができた。また、社会福祉関係団体の活動の支援を行った。

◆柱全体の今後の課題

社会経済情勢の悪化により生活困窮者や高齢者などが増え続けている中、これらの方々の自立に向けての経済的支援や生活支援等を充実させ、より一層関係機関との連携が求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

生活困窮者などの自立支援に向け、ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員児童委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図る。

Ⅲ 都市生活基盤分野

**都市生活基盤が整備され、すべての市民が快適で
安心・安全な生活をしている。**

柱1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり【市街地整備】

適正で秩序ある都市計画により、中心市街地が賑わい、市民が安心・安全で快適な生活を送っている。

柱2 人にやさしいみちづくり【道路】

自動車で移動がしやすく、歩行者も安心して通行できる道路環境となっている。

柱3 花と緑あふれる公園づくり【公園緑地】

公園緑地が整備され、花と緑とうるおいのある空間が、確保されている。

柱4 公共下水道の普及促進【下水道】

柱5 浸水被害のないまちづくり【治水】

河川が整備され、浸水被害が軽減し、市民の災害に対する不安が解消されている。

柱6 安心・安全な住環境の確保【住環境】

住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている。

柱7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給【上水道】

健全な経営と安全な水道水が安定的に供給され、市民が安心・安全に暮らしている。

まちづくり評価シート

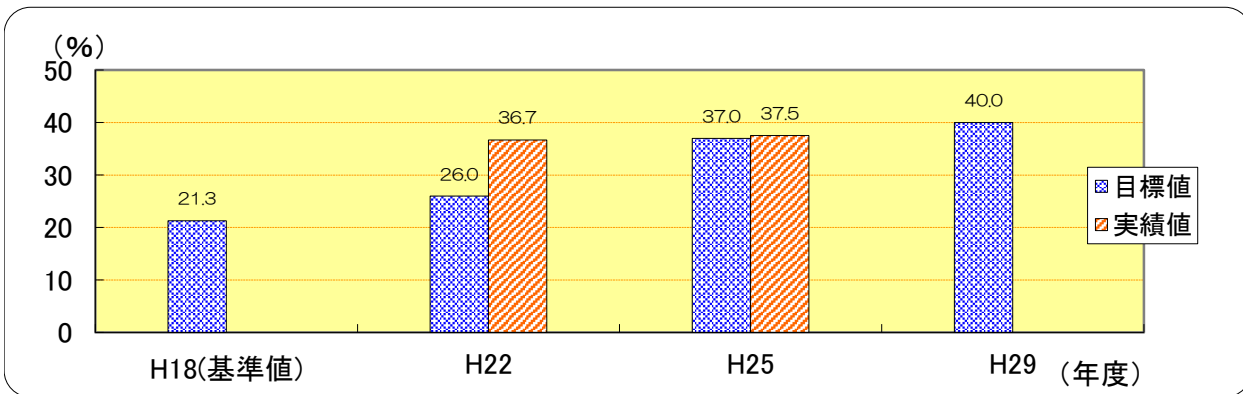
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 秩序ある都市計画により、美しく賑わいのあるまちで生活している

指標名	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H25	
目標値	%	—	37.0	市民満足度調査の結果により、達成率が101.4%と鉄道駅付近での基盤整備が進み概ね目標は達成できているが、個別目標の中には目標を下回る成果もあるため、今後の展開方針に基づき施策を検討していく必要がある。
実績値		21.3	37.5	
達成率	%	—	101.4	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

少しずつではあるが都市計画道路の整備が進み、効果を実感することができ、また多くの市民が利用する鉄道駅付近の整備として江南駅のバリアフリー化、布袋駅の鉄道高架化及び布袋南部土地地区画整理事業の整備状況が目に見える形で確認できるような段階となり市民満足度も達成されたため、今後も早期完成に向けて基盤整備を進めていくことが有効である。

個別目標① 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

指標名	都市計画道路の整備率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	65.1	65.1	65.7	・都市計画道路整備事業(布袋本町通線) ・都市計画道路整備事業(江南通北線)
実績値		64.5	66.1	66.5	66.8	
達成率	%	—	101.5	102.2	101.7	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	都市計画道路の必要性について理解を深め、沿線地権者の方々は用地を提供し、整備工事に協力した。
市役所	都市計画道路の整備に関する情報を市民へ伝えながら理解を求め、工事中には安全確保や速やかな完了を念頭に整備を行った。


目標達成のための今後の展開方針

都市計画道路の整備事業を進めていくにあたり、厳しい財政状況の中、効率的な事業推進を図るため、地権者へ整備の必要性について理解を求めながら、粘り強く交渉を継続していく。

個別目標に対するまちづくり評価




時代のニーズに合ったまちづくりを推進するため、地元組織との調整を心がけてほしい。まちづくりは現在の情勢を踏まえながら、将来を見据えた計画で進めてほしい。

個別目標② 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている

指標名	駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	13.0	15.0	16.0	・江南駅バリアフリー化対策事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値		8.8	—	—	18.1	
達成率	%	—	—	—	113.1	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	江南駅前広場シェルター設置工事や布袋駅付近鉄道高架化整備事業にあたり、事業への理解を深め工事に協力した。
市役所	江南駅前広場シェルター設置工事や布袋駅付近鉄道高架化整備事業にあたり、地元と調整しながら工事を行い、駅利用者等の利便を図った。

指標名	江南駅・布袋駅の1日乗降客数					
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	33,800	33,800	34,200	・江南駅バリアフリー化対策事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値		33,800	32,736	33,020	34,273	
達成率	%	—	96.9	97.7	100.2	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	駅周辺が整備されたことにより、公共交通機関を積極的に利用した。
市役所	江南駅前広場シェルター設置について地元と調整しながら工事を施工し、駅利用者等の利便を図った。 布袋駅の高架化を地元調整のうえ、共同事業者である愛知県及び施工者である名鉄と協議しながら整備を進めた。




指標名	江南駅前広場を通過する車両の台数					
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	台	—	6,000	6,000	5,000	・江南駅周辺交通環境改善事業
実績値		8,800	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
達成状況	—	—	—	—	—	

取り組みの状況	
市民	駅利用と関係ない車両は、なるべく駅前広場の道路を利用しないようにした。
市役所	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しないように周辺道路を整備することにより駅前広場への進入を減少させた。




目標達成のための今後の展開方針
<p>地元商店街等の団体、地元住民と調査研究を行いながら、駅前周辺の交通混雑の緩和及びバリアフリー化により、駅周辺の利便性や街の活性化につながる施策を展開していく。</p> <p>布袋地区において、新しいまちづくり体制の組織化及び魅力あるまちづくりを目的とする地元住民による自主的なまちづくり活動を支援していく。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>江南駅前広場の整備を始め駅及び駅周辺の基盤整備により駅利用者の利便が図られ、これらの整備効果が駅乗降客数の増加につながった一因として考えられ、駅前としての活気ある賑わいにつながったように感じられた。</p> <p>布袋駅付近鉄道高架化の早期完了をめざし、愛知県、鉄道事業者との調整により、遅滞のない事業進捗に努められるとともに、布袋駅の玄関にふさわしい、交通結節機能の充実した賑わいのある駅前広場づくりを進められたい。</p>

個別目標③ 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

指標名	土地区画整理事業の移転件数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	183	183	183	・物件移転等補償事業
実績値		106	182	183	183	
達成率	%	—	99.5	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	事業への理解を深め、物件移転に協力した。
市役所	移転計画の策定・見直しにより、地権者の理解・協力のもと物件移転を完了した。

指標名		土地区画整理事業の進捗率				
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	95.1	95.6	96.5	・物件移転等補償事業 ・道路・排水路等整備事業 ・仮換地測量事業
実績値		85.4	90.9	92.3	92.8	
達成率		—	95.6	96.5	96.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	物件移転に合わせ実施される道路・排水路等の整備に協力した。					
市役所	物件移転の計画的な実施に合わせ、道路・排水路等の整備を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>職員のスキルアップや情報収集を行い、事業の早期完了をめざし、換地処分に係る事務手続きの準備を進めていく。</p> <p>鉄道高架化事業の進捗状況を踏まえ、事業施行期間及び資金計画を精査し、必要な事務手続きを進めていく。</p>	
個別目標に対するまちづくり評価	
<p>鉄道高架化事業完了後速やかに、事業として残っている道路等の所要整備を実施し、換地処分により事業が早期に完了できるよう計画的な執行に努められたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

都市計画道路の整備によりネットワーク化が進むとともに安心・安全な歩行空間が確保され快適で暮らしやすいまちづくりにつながった。

また江南駅のバリアフリー化、布袋駅の鉄道高架化及び布袋南部土地区画整理事業における基盤整備が進み、市民がこれらの状況を実際に見たり利用したりすることで満足度へつながり、引き続きこれらの取り組みを進めることが重要であることを認識した。

◆柱全体の今後の課題

多くの市民が利用する鉄道駅付近における基盤整備については、まちづくりを進める中で重要な役割を担っているため、社会情勢や財政状況等を踏まえ集中と選択をする中で、現在は布袋駅付近の整備を集中的に施行しており、江南駅付近の都市計画道路を始めとした基盤整備が遅れている状況である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

国の交付金制度を活用し、布袋駅付近鉄道高架化及び関連事業を集中的に整備を進め、その完成を見据えながら江南駅付近における基盤整備やその他の都市計画道路の整備に向け、地元との調整や現状を把握、調査し計画するなどの準備を進めることが必要である。

まちづくり評価シート

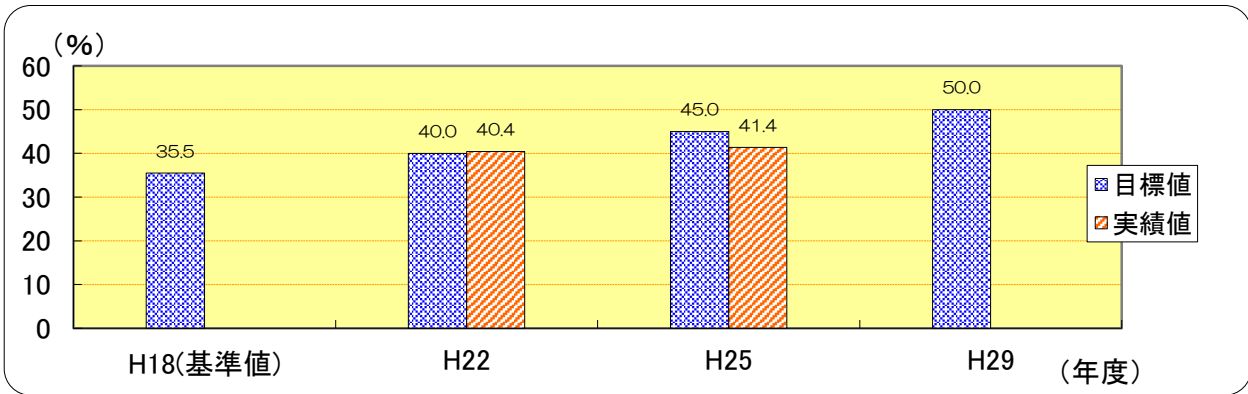
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木課【担う柱:2 人にやさしいまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

指標名	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H25	
目標値	%	—	45.0	市民が日常的に利用する生活道路を地元等の要望を基に整備したことにより、概ね市民の満足度が得られたと考えられる。
実績値		35.5	41.4	
達成率	%	—	92.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価
 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合が、平成25年度の目標値45.0%に対し実績値41.4%、達成率92.0%を得たことは評価できる。今後は、さらに実績値を上回るように施策を進めることをお願いしたい。

個別目標① 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

指標名	市道のアダプト制度の登録者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	777	971	1,166	・アダプト・プログラム事業
実績値		175	338	409	544	
達成率	%	—	43.5	42.1	46.7	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	

取り組みの状況	
市民	道路・河川に愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加した。
市役所	広報こうなんでアダプト活動の紹介を行うことにより、道路・河川に愛着をもたせ、道路施設に対する意識の高揚を図った。アダプトプログラム懇談会に出席し、参加者との交流を図るとともに、活動に係る課題や提案等について意見交換を行った。




目標達成のための今後の展開方針




広報こうなんや市ホームページで、アダプト制度の紹介を行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図っていく。




個別目標に対するまちづくり評価

市民ボランティアによる環境美化活動を支援することにより、市民に地域の道路・河川などに愛着をもたせることができるので、広報こうなん等でPRを行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図るよう努めていただきたい。

個別目標② 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

指標名		主要市道の歩道整備率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	70.0	71.0	72.0	・道路新設改良事業(市道後飛保和田線) ・道路新設改良事業(市道江南小牧線)
実績値		65.1	67.0	67.0	67.5	
達成率		—	95.7	94.4	93.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	区長等が歩道を整備するように要望した。 地権者が用地買収に応じた。					
市役所	市道後飛保和田線の用地取得のため、用地交渉を行い道路用地を取得した。 市道江南小牧線の用地取得のため、用地交渉を行い道路用地を取得した。					

指標名		舗装整備率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	92.0	92.5	93.0	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値		89.1	91.9	91.9	86.0	
達成率		—	99.9	99.4	92.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	区長等が舗装を整備するように要望した。					
市役所	区長等の要望に基づき舗装工事を実施した。					

指標名		道路案内標識設置数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	基	—	80	85	90	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値		55	61	73	85	
達成率		—	76.3	85.9	94.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	目的地へスムーズに到達するために必要となる案内標識設置箇所を要望した。					
市役所	目的地へ安全にスムーズに誘導するために必要となる案内標識を設置した。					

目標達成のための今後の展開方針

主要市道の歩道整備率については、道路新設改良事業を実施することにより、整備率が向上していく。また、舗装整備率及び道路案内標識設置数については、道路側溝・舗装工事等事業により計画的に増やしていく。

個別目標に対するまちづくり評価

主要市道の歩道整備・舗装整備については、一定の成果が出ているので評価できる。橋りょう長寿命化事業についても計画どおりに進捗し評価できる。両事業とも、定期的に現状を把握し、必要性に応じて計画の見直しをすることも検討していただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

市民ボランティアによる環境美化活動を支援することにより、市民により一層地域の道路・河川などに愛着をもたせることができ、環境美化に対する認識は高まってきたと思われる。また、限られた財源の中で、より必要性の高い整備路線を選定し、老朽化した道路を改修することにより、計画的、効率的な道路整備を行うことができた。

◆柱全体の今後の課題

道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合は、市民満足度調査によれば半分にも満たない約41.4%という結果である。

市民が日常的に利用する生活道路の安全性、利便性の向上に対するニーズが高まっていることを踏まえ、限られた財源において、より計画的、効率的な道路整備を行うことが大きな課題となる。そのためにも、職員の意識の向上が求められるとともに、より質の高いサービスを提供するために財源の確保が必要になる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

人にやさしいみちづくりの早期実現をめざし、限られた資源により最大限の効果が得られるよう常に心がけて取り組む。そのためにも、市民がみちづくりに積極的に参加してもらえよう関係各課と調整を行い、また、市民の声を聞く機会を充実させ、その声を効率的に反映するように日常的なパトロールの強化に努める。


まちづくり評価シート

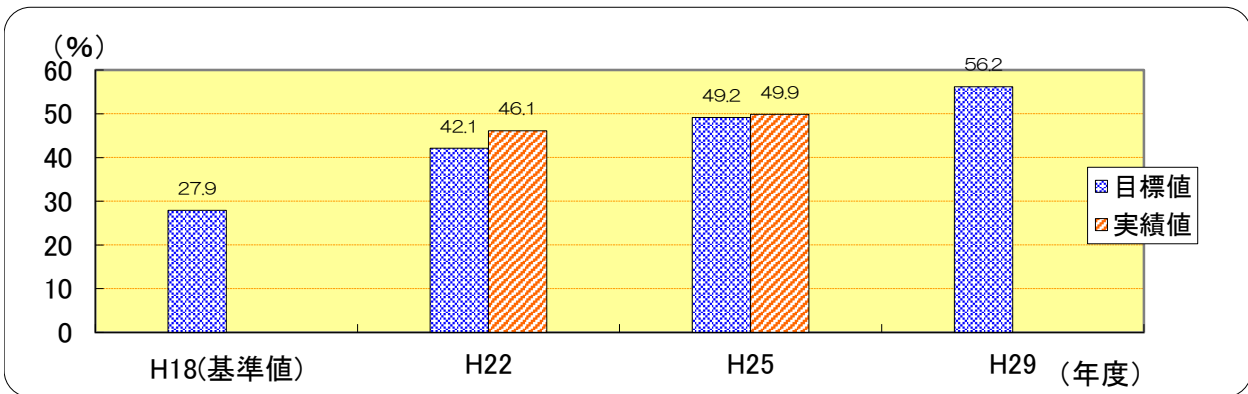
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:3 花と緑あふれる公園づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 公園などが整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている




指標名	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 年々来園者が増加するフラワーパーク江南の影響が大きいですが、曼陀羅寺公園整備事業での藤の再生や平成23年3月完成の遊歩道・サイクリングロードなどの整備により満足度が上昇している。
目標値	%	—	49.2	
実績値		27.9	49.9	
達成率	%	—	101.4	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

フラワーパーク江南の開園や曼陀羅寺公園の整備、遊歩道サイクリングロードの完成により目標を上回っているが、老朽化してきている施設や設備の改修を計画的に進めてほしい。
国の厳しい財政状況から開園区域の拡大が難しい中、年々来園者が増加しているフラワーパーク江南のⅡ期エリアの早期実現に向けて継続して要望を行う一方、江南市緑の基本計画に沿った地域格差の解消に向けた公園整備を進めてほしい。

個別目標① 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

指標名	市民1人当たりの都市公園面積					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・街区公園等整備事業 ・木曾川上流域整備促進事業 ・都市公園長寿命化事業
目標値	㎡	—	3.65	3.65	5.00	
実績値		2.52	3.66	3.66	3.77	
達成率	%	—	100.3	100.3	75.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	都市公園等を集いの場や遊びの場として適切に利用した。
市役所	老朽化や低いフェンスの改修要望を受け、整備を図った。 国土交通省や木曾川上流河川事務所へ国営公園の整備促進について要望した。 都市公園長寿命化計画に基づき、中央公園園路等を改修した。




目標達成のための今後の展開方針

残された資源を有効に活用しながら、江南市緑の基本計画に沿った整備を行う。
フラワーパーク江南のⅡ期エリアの早期開園に向けて継続して国に働きかける。

個別目標に対するまちづくり評価

児童遊園等のフェンス改修や中央公園の園路改修を実施し、市民のニーズに応えているのは評価できる。
市民1人当たりの都市公園面積は国や県と比較して低い状況であるので、平成23年3月に策定された江南市緑の基本計画に沿った公園整備をお願いしたい。

個別目標② 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている

指標名	花いっぱい運動実施箇所数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	箇所	—	27	32	33	・緑化推進事業 ・江南花卉園芸公園イベント実行委員会補助金交付事業
実績値		25	33	33	34	
達成率	%	—	122.2	103.1	103.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	花壇やプランターなどに植栽して花を育て、花いっぱいコンクールに応募した。 シンボルツリーの配付を受けて樹木を植栽し、自宅などの緑化を推進した。 駐車場や庭などに芝生を植えて緑化した。 緑の募金運動や花いっぱい運動に協力し、募金や花の植栽、水やり・除草などに参加した。					
市役所	花苗と必要に応じて培養土や肥料を配付した。 江南市緑の基本計画における施策「樹木の配布による緑化の支援の充実」のため、シンボルツリー配付事業を実施した。 駐車場や庭などの緑化に補助金を交付した。					




目標達成のための今後の展開方針

シンボルツリー配付事業について、記念日を増やすことなどを検討し、申請件数の増加を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

花いっぱい運動実施地区数は、僅かながら増加し、都市緑化推進事業補助金の件数も増加していることから、市民の緑化に対する意識は向上していることが伺える。
シンボルツリー配付事業の申請件数が前年度より多くなっているが、目標の半数程度にとどまっており、増やす方策を検討されたい。

個別目標③ 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

指標名	地域で管理されている公園緑地などの数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	箇所	—	30	32	34	・公園等維持管理事業
実績値		28	35	35	35	
達成率		%	—	116.7	109.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	公園、児童遊園などを地元地区で管理し、地元のつどいの場として適切に利用した。 地元にある公園などの清掃・除草が地元区でできないか検討した。
市役所	安心・安全に利用できるよう遊具点検を行い、不良箇所の適切な対応に努めた。 公園などの清掃・除草が地元区でできないか協議した。

目標達成のための今後の展開方針

新規に設置する公園等について、地元管理に係る協議を行ったうえで整備を進めていく。
市管理の公園等について、地元の意向確認により管理委託を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

地元で管理委託している公園等の数は、伸び悩んでいるものの目標値を上回っていて評価できる。
シルバー人材センターへ委託している公園などの清掃、除草を地元区に依頼するのは難しい面があるが、タイミングを捉えて地元の意向を聞きながら進めることを努力されたい。
開発で新規に設置された公園等について、地元で維持管理してもらおうよう努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

中央公園園路等の改修や蘇南公園園路のバリアフリー化、9箇所の公園・児童遊園などのフェンスの改修等を施工し、公園などの整備を図った。
都市公園である国営木曽三川公園フラワーパーク江南の開園区域が拡大し、公園等の充実を図ることができた。
江南市緑の基本計画におけるシンボルツリー配付事業や都市緑化推進事業により、市民の緑化意識は高まった。

◆柱全体の今後の課題

今後の都市公園の整備については厳しい状況にあるが、平成22年度に策定した江南市緑の基本計画において定めている基本方針に沿って整備を進める必要がある。
花いっぱい運動について、魅力のある花や色合いの選定や植栽方法を工夫するなどにより運動の活性化を図る必要がある。
新規に設置する公園等について、地元で清掃委託できるように地元区と協議を進めながら整備していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

今後の都市公園の整備については、江南市緑の基本計画に沿って整備を進めるとともに、フラワーパーク江南のⅡ期エリアの早期開園について要望活動を行い、都市公園面積の増加を図る。
策定した都市公園施設長寿命化計画により、計画的な改修・更新を進める。
新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるように地元区と協議を進めながら整備する。
遊歩道・サイクリングロードを活用したイベントをより広範囲に展開し、サイクリングロードのみではなくフラワーパーク江南などの利用促進を図り、地域の活性化につなげたい。

まちづくり評価シート

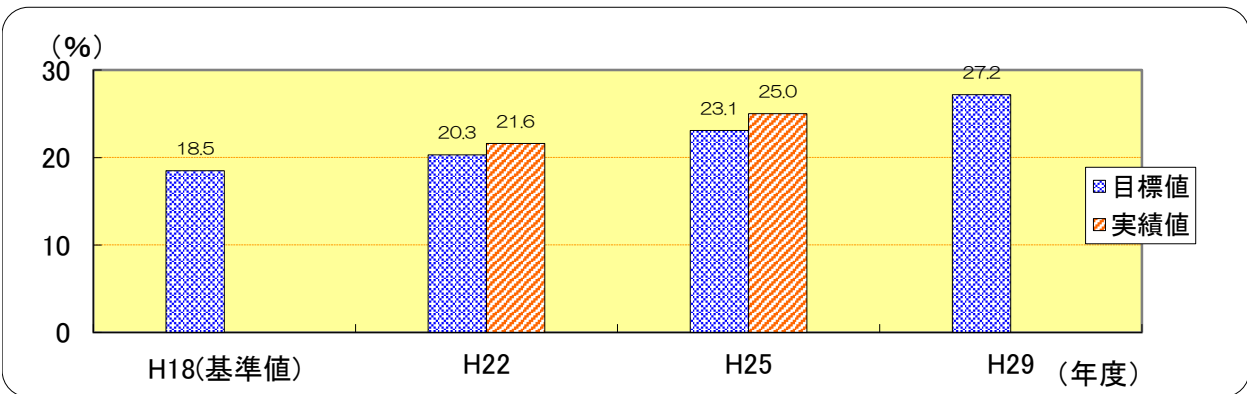
水道部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

下水道課【担う柱:4 公共下水道の普及促進】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 下水道が整備され、快適な水環境の下で生活している

指標名	下水道普及率			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H25	
目標値	%	—	23.1	市民の清潔で快適な生活環境の向上のため下水道整備促進に努めた。
実績値		18.5	25.0	
達成率	%	—	108.2	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

下水道普及率の実施値(平成25年度)は25.0%で目標値を達成することができているが、県下における下水道普及率74.7%に比べると大きく遅れている。今後はさらに事業の進捗を図り、下水道普及率を向上させる必要がある。

個別目標① 下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

指標名	下水道使用料の収納率(現年度)					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・下水道使用料賦課徴収事業
実績値		98.9	99.2	99.4	99.3	
達成率		%	—	100.3	100.5	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況




市民	下水道使用料を期限内に納付した。
市役所	下水道使用料のコンビニ収納を導入し、納付機会の拡大により納付者の利便性を高めながら納期限内納付を推進し収納率の向上を図った。

指標名		受益者負担金の収納率(現年度)				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・受益者負担金賦課徴収事業
実績値		98.8	98.7	99.2	99.2	
達成率	%	—	99.9	100.4	100.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	下水道受益者負担金を期限内に納付した。					
市役所	受益者負担金の徴収及び啓発活動に努めた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>コンビニ収納により、納付者の利便性を高めながら納期内納付を推進し収納率の向上を図るとともに、受益者負担金の収納率を向上させるために、供用開始説明会や市民まつり等イベントの折に受益者負担金に対する理解を求めるよう努力する。</p>	
個別目標に対するまちづくり評価	
<p>下水道使用料、受益者負担金の適切な徴収は、事業の健全な経営及び住民間の公平性の確保につながる。今後もさらなる取り組みをお願いしたい。</p>	

個別目標② 下水道が整備され、生活環境が向上している

指標名		認可区域内の整備率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	80.2	85.9	90.1	・管きよ布設事業
実績値		66.3	83.2	85.9	90.1	
達成率	%	—	103.7	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	下水道工事説明会に参加し、埋設工事に対し理解した。					
市役所	整備地区の全世帯を対象に工事説明会を開催し、パワーポイントを用いるなどわかりやすく説明を行った。 設計書の積算、工事現場の監督業務等を行い、住民生活への配慮を図りながら下水道整備区域の拡大を進めた。					

指標名		供用開始区域内の接続率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	85.0	87.0	89.0	・排水設備関連事業
実績値		67.3	81.8	82.9	84.6	
達成率		—	96.2	95.3	95.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	自然環境への効果等下水道の役割、必要性の理解を深めた。 下水道への接続を行った。					
市役所	職員が未接続宅を個別訪問し、下水道の必要性を説明し、早期の接続依頼を行った。 排水設備の申請を受け付け、書類審査、補助金交付、検査等一連の事務を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
早期の普及率増大のため下水道の面整備を重点的に進め、費用対効果の高い事業を進めていく。 未接続宅の早期接続を促すため、供用開始後の訪問を早期に実施していく。	

個別目標に対するまちづくり評価	
江南市の下水道事業は、五条川右岸流域下水道事業として進められ、他の構成市町の事業進捗も考慮し事業を進めていく必要がある。厳しい財政状況下ではあるが、普及率向上のため早期整備が必要と考えられる。下水道事業は都市基盤施設のひとつであり、河川環境の保全を第一の目標としている。環境問題が高まる中、市民の環境への意識も高まりつつあり、早期に事業を進める必要がある。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果	
平成25年度においては、17.5haの区域を整備し、平成26年4月1日現在388.1haが下水道を使える区域になっている。	

◆柱全体の今後の課題	
下水道普及率の達成率が108.2%で目標を若干超えることができたが、依然、江南市下水道普及率25.0%は、県下の供用開始市町において下位となっており愛知県の平成25年度末の普及率74.7%(名古屋市を除くと64.2%)や、全国平均の76.3%(平成24年度末)と比べると大きく遅れている。	

◆柱全体の今後の取り組みの方向性	
平成25年度末江南市下水道普及率25.0%は、県下の供用開始市町において下位となっており、愛知県の平成25年度末の普及率74.7%(名古屋市を除くと64.2%)や、全国平均の76.3%(平成24年度末)と比べると大きく遅れている。こうした中事業の進捗を図るため、平成24年度に行った効率的整備計画の策定により図ることができたコスト縮減効果を活用し、費用対効果の高い整備手法を用いた整備を推進し、下水道普及率の向上に努めたい。	


まちづくり評価シート

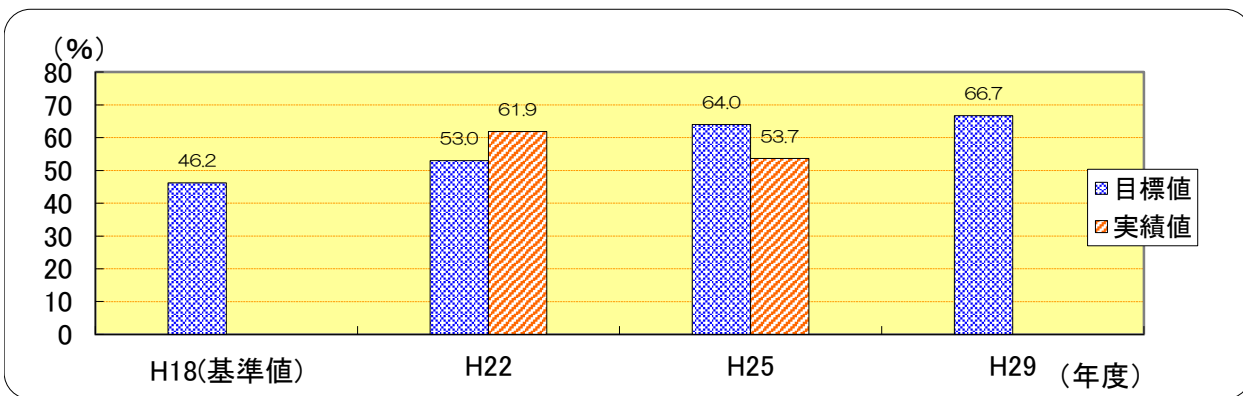
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木課【担う柱:5 浸水被害のないまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況




全体目標 河川等が整備され浸水被害に遭うことなく、安心して暮らしている

指標名	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H25	
目標値	%	—	64.0	雨水貯留浸透施設設置費及び浸水防止施設設置費の補助率を見直すなどの治水対策を実施してきたが、近年のゲリラ豪雨などにより、市民の浸水被害に対する不安が増大したことから、目標値を下回ったと考えられる。
実績値		46.2	53.7	
達成率	%	—	83.9	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価
 平成22年3月に河川・排水路対策、流域対策及び浸水被害軽減対策等を含めた第3次江南市総合治水計画が策定されているが、今後、どのような計画を実施していくかが、この先の評価に現れると考えられる。また、平成24年度に補助率が見直された雨水貯留浸透施設設置費補助制度及び浸水防止施設設置費補助制度を市民の方により一層周知してもらいたい。

個別目標① 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している

指標名	準用河川般若川改修率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	92.0	92.0	100.0	・準用河川般若川改修事業
実績値		86.0	92.0	92.0	92.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	92.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	
市役所	一部未改修の区間があるので、般若川の下流地域の状況をみながら、改修を検討した。

指標名 雨水浸透柵設置率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	15.0	20.0	26.0	・雨水抑制事業
実績値		12.2	9.0	4.0	1.0	
達成率		—	60.0	20.0	3.8	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	補助金制度を利用して雨水浸透柵を口径350mm8基、口径300mm2基設置した。					
市役所	広報こうなんや市ホームページを通じてPRし、また、建築確認の段階で雨水浸透柵を設置していない建築主に設置のお願い文書を送付した。					

指標名 雨水浸透柵設置数						
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	基	—	130	150	170	・雨水抑制事業
実績値		115	54	59	10	
達成率		—	41.5	39.3	5.9	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	補助金制度を利用して雨水浸透柵口径350mm8基、口径300mm2基を設置した。					
市役所	広報こうなんや市ホームページを通じてPRし、また、建築確認の段階で雨水浸透柵を設置していない建築主に設置のお願い文書を送付した。					

指標名 雨水貯留浸透施設設置費補助金申請件数						
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	100	150	200	・雨水抑制事業
実績値		45	202	277	221	
達成率		—	202.0	184.7	110.5	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	
取り組みの状況						
市民	雨水浸透柵口径350mm8基、口径300mm2基、雨水貯留槽(雨水タンク)303基、浸透防止施設296.8mを設置した。					
市役所	雨水貯留浸透施設(雨水浸透柵、雨水貯留槽、浸透トレンチ、透水性舗装)を設置するお願いを江南市水道工事店協同組合、江南市災害協力会、江南市建設業協会等へ行った。					

目標達成のための今後の展開方針

雨水貯留浸透施設の設置について、今まで以上のPR活動を行い、より一層設置してもらえるよう努めていく。また第3次江南市総合治水計画に基づき公共施設における雨水貯留施設の建設を進めていく。平成25年度は北部中学校への雨水貯留施設建設に着手したが、今後は愛知県立古知野高等学校に設置を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

雨水貯留槽の設置は、順調に伸びているようだが、浸透トレンチや透水性舗装、雨水浸透柵の設置は伸び悩んでいるようなので、今後もPRを続け設置者が増加するよう努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成24年度に雨水貯留浸透施設設置費補助金交付要綱及び浸水防止施設設置費補助金交付要綱を改正し、補助率を4分の3から10分の9に引き上げたことにより、市民がより利用しやすい補助金制度とした。また、大雨による被害を予測しその被害範囲や避難場所を地図化したハザードマップを作成したことにより、市民が災害発生時に速やかに避難することができ、災害による被害の軽減を図ることができた。

◆柱全体の今後の課題

平成22年3月に策定された第3次江南市総合治水計画を基に、どのような手法で効率的・効果的な治水対策を実施していくかが課題となる。
雨水貯留槽、浸透柵、浸透トレンチ及び透水性舗装の雨水貯留浸透施設や浸水防止施設の設置について、広報こうなんや市ホームページを通じて、広く市民にPRし、雨水貯留浸透施設や浸水防止施設の普及に努めなければならない。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

第3次江南市総合治水計画で示している重点地区のなかで、緊急度の高い地区から順に雨水貯留施設を設置し浸水被害の軽減に努めていくとともに、市民が担う治水対策について指導や啓発を行う。

まちづくり評価シート

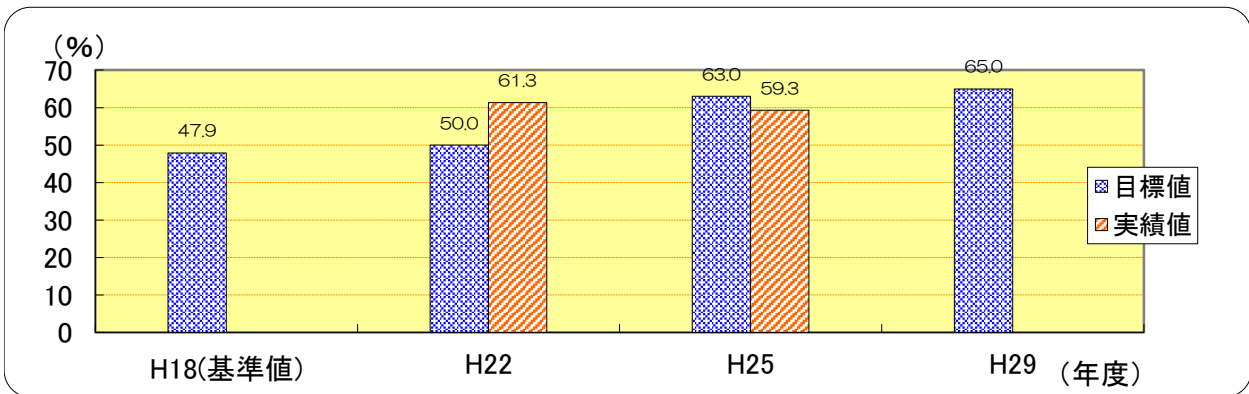
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

建築課【担う柱:6 安心・安全な住環境の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	63.0	建築士などと協働により建築パトロールを行ったことや、適切な開発指導を行うことにより、民間開発区域内に適正な道路・緑地等が整備され、周辺的生活環境が保たれたことが評価されたと考えられる。
実績値		47.9	59.3	
達成率	%	—	94.1	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価




住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合は、59.3%を得ているが、年度目標には達しておらず、地震に対する市民の関心が高まる中、建物の耐震化の促進と、減災化の対策についても検討していただき、さらに民間の建築開発等指導員との協働により違反建築パトロールを実施するなど、施策の推進をお願いしたい。




個別目標① 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

指標名	開発許可や建築許可に対する指導件数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	260	260	260	・開発行為指導事業
実績値		265	219	247	284	
達成率	%	—	118.7	105.3	91.5	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	都市計画法の開発行為等に関する許可基準に照らし、地域にあった健全なまちづくりに協力している。
市役所	都市計画法の開発行為等に関する許可基準に照らし、民間活力による安心で安全なまちづくりの指導に努めた。




指標名 民間での建築確認割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	93.0	93.0	93.0	・建築確認等審査事業
実績値		84.4	96.0	96.9	97.0	
達成率	%	—	103.2	104.2	104.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	愛知県と愛知県から委嘱された建築開発等指導員(市内建築士)と協働で違反建築物防止のため、建築現場をパトロールした。					
市役所	民間組織での建築確認をチェックし、定期的に建築現場をパトロールした。					

指標名 耐震診断の診断実施済棟数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	棟	—	2,500	2,700	3,000	・民間木造住宅耐震診断事業 ・民間木造住宅耐震補強事業
実績値		798	2,218	2,398	2,448	
達成率	%	—	88.7	88.8	81.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	昭和55年以前の建物であるため、耐震診断を行った。					
市役所	啓発パンフレットを用いて、耐震化の意識啓発を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>開発許可や建築許可については、法令・許可基準に照らし合わせ適切に指導していく。また、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化を図るために、都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定を検討する。</p> <p>民間での建築確認件数の割合は、近年はほぼ横ばいとなっているが、建築基準法に規定する限定特定行政庁として、法令に基づき、民間組織への適正な指導を引き続き行っていく。</p> <p>また、耐震診断の診断実施済棟数については、年度別の実施棟数は減っているものの、概ね目標値を達成している。今後は、自主防災訓練等でのPR等の新たな手法を検討する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>建築指導及び開発指導並びに木造住宅耐震化の促進に対する民間組織との協働での取り組みにより、住民の安心・安全への意識啓発を図る努力は評価できる。さらに安心・安全な住環境を確保できるよう、民間組織と連携を図り、効果的な建築・開発指導等をお願いしたい。</p>	

個別目標② 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	戸	—	153	153	153	
実績値		153	153	153	153	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	施設維持管理(共用部分の清掃、低木の剪定・消毒、草刈り)を自治会で行った。 自治会等で市営住宅の注意事項を確認した。
市役所	住宅設備の保守点検や維持管理及び各種必要な修繕を行った。 広報こうなん等で空き家募集を行い住宅供給を行った。 公営住宅等長寿命化計画に基づき屋根・外壁等改修工事を行った。

目標達成のための今後の展開方針

市営住宅の長寿命化事業としては、計画に基づき外壁等の改修を定期的に行うこととし、必要な設備改修などについても退去時に行うよう実施していく。また、入居者に対して共同住宅における注意事項についても自治会と連携して周知を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

入居者が健康で文化的な生活を送るために、施設の維持管理に努めていることは評価できる。今後も公営住宅の入居希望者は継続的な需要があると思われ、市民への市営住宅を含めた公営住宅の募集案内などの情報提供をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

愛知県建築指導課・廃棄物対策課や建築士の協力を得て、パトロールを実施し、建築現場や建物解体現場で、適正な指導をすることができた。また、耐震改修補助については、減災化及び高齢者、障害者等災害時における避難弱者への対応を目的として、江南市民間木造住宅段階的耐震改修費補助金交付要綱及び江南市民間木造住宅耐震シェルター整備費補助金交付要綱を整備した。

◆柱全体の今後の課題

耐震化の必要な木造住宅について、耐震診断の申込件数が減少している。開発行為指導については、高齢化社会に向けて、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化が課題となる。また、市営住宅については、建物の老朽化に伴い、現在行っている外装改修工事など長寿命化を図る修繕計画を進めるとともに、市営住宅の適切な運営のために入居者が契約内容・注意事項を遵守するよう努める。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

安心・安全な住環境を確保するため、耐震化の必要な木造住宅について、耐震化に向けてのさらなる意識啓発に努める必要がある。また、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化を図るために、都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定を検討する。

まちづくり評価シート

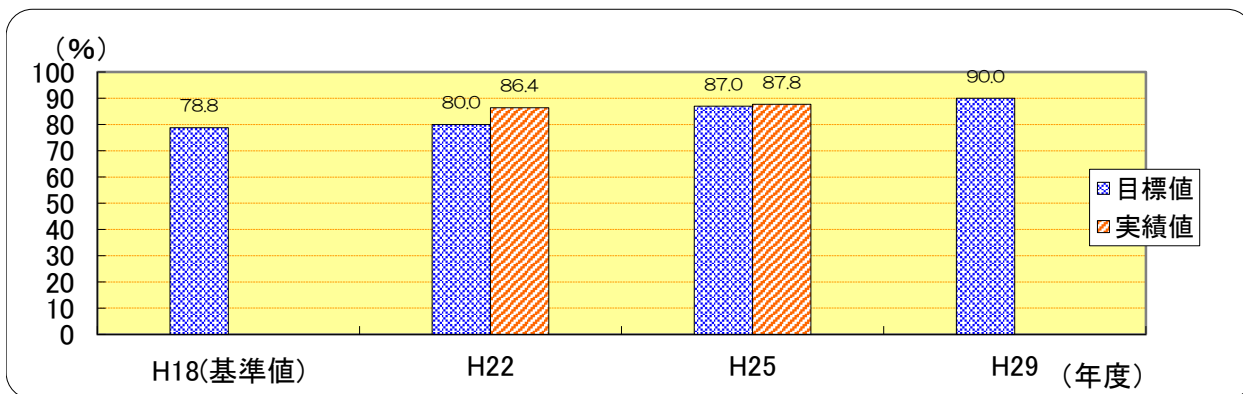
水道部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

水道課【担う柱:7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 健全な経営と水道施設の整備が行われ安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

指標名	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H25	
目標値	%	—	87.0	安心・安全な水の安定供給により、市民の方が断水など不便を感じることなく水道の利用ができたことから、市民満足度調査は目標値を上回り達成率100.9%となり、達成状況としては晴れマークとなった。
実績値		78.8	87.8	
達成率	%	—	100.9	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査結果において、「安全な水の安定供給」に対して約88%の市民が満足している。水道施設に対する耐震化が求められており、配水設備の耐震化が終了したことから、今後は配水管の耐震化と併せ、老朽管等の更新を計画的に進められたい。

個別目標① 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

指標名	水道料金の収納率(現年度)					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・水道料金賦課等事業
実績値		98.4	99.2	99.4	99.5	
達成率	%	—	100.8	101.0	101.1	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	水道料金の早期納付に努めた。
市役所	市民のライフスタイルの多様化に伴い、終日払込みが可能なコンビニ収納により、収納機会を拡大した。




指標名		総収支比率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	106.2	106.2	106.2	・企業会計管理事業 ・職員給与管理事業
実績値		109.7	113.1	113.3	105.9	
達成率		—	106.5	106.7	99.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	水道料金の支払いに際し、収納コストの安い口座振替を利用した。					
市役所	給水収益が減少する中、経費を削減し利益を確保した。 経営健全化計画の策定、及び財政推計により、計画的に事業執行した。					

指標名		水道普及率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	89.2	89.2	89.2	・簡易水道事業
実績値		88.8	89.6	90.0	90.4	
達成率		—	100.4	100.9	101.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市水道事業への統合に向け、簡易水道組合で意見、要望を行った。					
市役所	厚生労働省からの事業変更認可に基づき、簡易水道事業を円滑に統合できるよう、その準備を進めた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>今後一層の口座振替の利用促進に努めるとともに、コンビニ収納の利便性を活かし、早期収納を図る。 節水型社会への移行に伴う有収水量の減少、施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上などさまざまな課題を抱えているなか、今後、安定的・効率的な事業を継続していくため、適正な定員管理や積極的な情報開示とともに、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。</p>	




個別目標に対するまちづくり評価	
<p>安定的・効率的な事業を継続していくためには、施設の更新に向けた財源の確保が必要である。 公平・公正な水道料金の徴収が、水道事業の健全運営には欠かせないものであり、今後とも収納率の向上に努められたい。</p>	

個別目標② 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

指標名		配水管改良整備率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	79.3	80.8	81.9	
実績値		72.1	79.2	80.8	82.2	
達成率		—	99.9	100.0	100.4	
達成状況	—	—				




取り組みの状況

市民	配水管路に係る濁水発生などの情報を提供した。
市役所	配水管路の状況を把握し、第二次配水管改良計画に基づき、配水管布設・改良工事を実施した。

指標名		地下水の許可揚水量活用率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	98.0	
実績値		93.8	89.5	90.7	92.1	
達成率		—	91.3	92.6	94.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地下水の水質を悪化させないよう、環境に配慮した。
市役所	後飛保配水場配水池の耐震補強工事を施行し、施設の耐震化を完了するとともに、井戸の浚渫を実施することにより、地下水揚水量の低下を防止した。

指標名		有収率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	92.8	92.8	93.0	
実績値		91.4	93.6	94.2	94.4	
達成率		—	100.9	101.5	101.5	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	道路上など漏水箇所に係る情報を提供した。 宅内において、漏水箇所の発見後速やかに修理を行った。
市役所	第二次配水管改良計画に基づき、老朽管の布設替えを行い、また、漏水箇所を速やかに修理した。 メーター検針時に、宅内漏水の有無を確認し、漏水時には市民へお知らせし、漏水箇所の速やかな修理を促した。

目標達成のための今後の展開方針

平成28年度からの第三次配水管改良計画においては、江南市水道事業基本計画に基づき、配水管路の改良に係る事業量を増大する。
地下水の有効利用については、浚渫を強化し3年毎に実施しているが、年々揚水量が低下する傾向にあることから、浚渫に合わせ、平成23年度から実施している薬品洗浄を引き続き実施していく。
事業統合に係る旧簡易水道事業地区において、管路の漏水調査を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

安全な水道水の安定供給を維持していくためには、水道施設整備の充実が必要である。
想定される地震に対応するため、耐震性のある材料の使用を積極的に進められるとともに、事業継続計画(BCP)の策定を検討されたい。
地下水の有効利用については、依然として揚水量が低下傾向であるため、浚渫に合わせて薬品洗浄を実施し、さらなる地下水の有効利用に努められたい。
事業統合に係る旧簡易水道事業地区においては、有効な手段である漏水調査を実施することにより、有収率の向上に努められたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

節水機器の普及などに伴う給水収益の減少傾向、アウトソーシング等による職員給与費の削減など、経費の削減により利益確保することで、安定した経営状況を維持することができた。
収納率の向上をめざし、コンビニ収納を実施し使用者の利便性の確保とともに、口座振替による納付を推進することができた。
配水管改良計画に基づく工事などの実施により有収率を改善するとともに、浚渫周期の短縮により井戸の保全に努めることで、取水井に係る揚水能力の低下を防止することができた。

◆柱全体の今後の課題

近年の水需要の低迷、老朽施設の更新、法的要求事項の高度化など、水需要を取り巻く厳しい社会情勢のなか、量の充足からより安全でおいしい水の安定供給、大規模地震などを想定した危機管理体制の充実など、水道事業に求められるものは多種多様である。
こうした中、適切な事業計画に基づく健全な財政運営が引き続き求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

節水型社会への移行に伴う有収水量の減少、基幹管路等の施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上など、さまざまな課題を抱えている。
今後、安定的かつ効率的な事業を継続していくために、適正な定員管理や積極的な情報開示とともに、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。

IV 教育分野

次世代の社会を担う豊かな人間性と学力をもった子どもが育っていると同時に、市民が生涯にわたり学び、それを地域社会に活かしている。

柱1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり【学校教育】

学校・家庭・地域が協力した体制のもとで児童・生徒をはぐくみ、快適で安全な教育環境、体制の中で子どもがのびのびと学習している。

柱2 将来にわたって活躍できる人づくり【教育環境】

良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている。

柱3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり【生涯学習】

市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている。

柱4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実【文化・交流】

市民の文化活動や国内外の交流活動が活発に行われ、伝統文化を培いながら心豊かな生活を送っている。

まちづくり評価シート

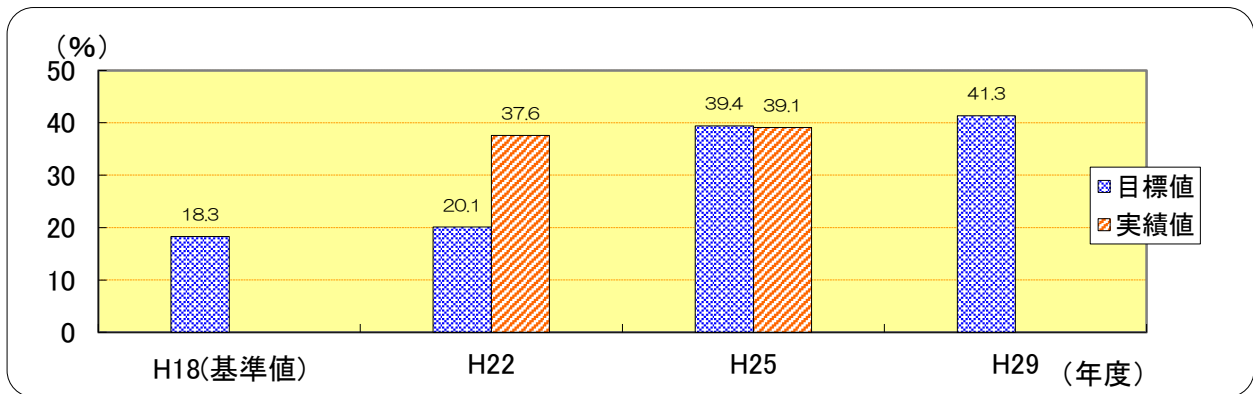
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 学校・家庭・地域との関わりの中で、児童・生徒が自ら学ぶ力を持ち、心豊かにいきいきと育っている

指標名	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身についていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 学校補助教員や特別支援学級等支援職員を配置し、少人数指導やチームティーチングを実施することにより、児童・生徒が個々の学習状況に合った、きめ細かな指導や支援を行うことができた。また、学校施設や設備の整備、校舎の改修工事やプールの改修工事を実施したことにより、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができた。平成25年4月に実施した、市民満足度調査結果は39.1%となり、達成状況としては、晴れマークが表示されているが、目標は達成できていない。地域の人にあいさつする児童・生徒の割合は微増に止まり、目標値を達成できなかった。また、朝食を食べない児童・生徒の割合は依然として高く、正しい食習慣を身につけ健康に育つように、食育指導にも一層力を入れ、今後も達成率を向上できるように努めていく。
目標値	%	—	39.4	
実績値		18.3	39.1	
達成率	%	—	99.2	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は39.1%となり、目標は達成できていない。また、地域の人にあいさつする児童・生徒の割合や、朝食を食べない児童・生徒の割合は依然として改善が必要であり、今後も学校・地域・家庭が連携し、子どもたちの社会性、人間性を育てていく取り組みをしていただきたい。学校は一般的に閉鎖的になりやすいので、学校評議員を広く求め、その見識を活かして学校教育の専門性や客観性の保持と情報公開を図ることにより、より一層の地域に開かれた学校づくりを進めていただきたい。

個別目標① 児童生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている

指標名		学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	91.0	93.0	95.0	・学校補助教員配置事業 ・養護教諭配置事業 ・英語指導助手(ALT)配置事業 ・就学指導事業
実績値		85.0	79.7	81.8	85.0	
達成率	%	—	87.6	88.0	89.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	保護者等は、学校からの情報提供や教育相談により、子どもの興味や発達状況に合った教育を受けさせた。					
市役所	少人数指導やチームティーチングの実施により、児童生徒が個々の学習状況に合った指導や支援を受けることができる体制をとった。					

指標名		特別支援学級等支援職員配置人数				
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	14	14	15	特別支援学級等支援職員配置事業
実績値		8	14	17	17	
達成率	%	—	100.0	121.4	113.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	一宮児童相談センター、一宮東特別支援学校、市役所(子育て支援課)など、関係機関との交流や情報を確認しつつ、家庭での学習や正しい生活習慣を身につけた。					
市役所	情緒障害、多動性障害等の児童生徒の教育支援を行ったことにより、教育内容を高めることができた。					

目標達成のための今後の展開方針

補助教員の配置については、各学校の学級数により、適正な職員配置を図っていくことが必要である。教員一人ひとりの授業力向上を図るため、教師力向上セミナー等を利用し、指導助言を行うことが必要である。特別支援学級等支援職員や養護教諭の配置については、学校の実情を調査しながら、適正な配置を図っていくことが必要である。

個別目標に対するまちづくり評価

発達障害のある児童生徒の教育ニーズにきめ細かく応え、授業を正常に運営するため支援職員の増員が必要であるので、この点についての検討をさらに進めていただきたい。

個別目標② 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

指標名	地域の人にあいさつする児童・生徒の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	90.0	92.0	94.0	・生徒指導推進事業
実績値		80.2	79.5	82.0	86.5	
達成率		—	88.3	89.1	92.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地域の子どもたちに目を向け、非行に走らないように声をかけをしたり、あいさつを交わしたりしながら、互いの信頼関係を築いた。
市役所	啓発・情報交換・実践活動等により、中学校区を単位として学校・家庭・地域が連携を図り、非行防止等を啓発した。

指標名	職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	事業所	—	310	320	330	・生徒進路指導事業
実績値		273	340	348	343	
達成率		—	109.7	108.8	103.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	事業所は積極的に職場体験学習の生徒を受け入れた。
市役所	生徒自身の生き方について職場体験、啓発的体験を得ることにより、生徒が進路を主体的に考え、選択する能力の育成を図った。

指標名	地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	81.0	85.0	89.0	・学校評議員事業 ・総合学習推進事業
実績値		69.5	79.4	78.9	81.1	
達成率		—	98.0	92.8	91.1	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	学校評議員や地域の人々が気軽に訪問し、学校に対して情報等を提供するような学校づくりを支援した。
市役所	各学校が、学校評議員から意見を聞き、学校が家庭や地域と連携しながら特色ある教育活動が展開できた。




目標達成のための今後の展開方針




学校・家庭・地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。
ハローワーク、商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る。
学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進する。




個別目標に対するまちづくり評価

学校は一般的に閉鎖的になりやすいので、学校評議員を広く求め、その見識を活かして学校教育の専門性や客観性の保持と情報公開を図ることにより、より一層の地域に開かれた学校づくりを進めていただきたい。

個別目標③ バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている

指標名 学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【小学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	99.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値		98.3	89.1	88.0	91.6	
達成率		—	90.9	89.8	92.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	食生活に関し、児童・PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき、地域交流が図れる。					
市役所	小学校へ、給食時間に訪問を行い食育指導を実施した。また、ティームティーチング授業においても食育指導を実施した。					

指標名 学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【中学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	99.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値		95.7	78.3	76.9	86.1	
達成率		—	79.9	78.5	87.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	食生活に関し、生徒・PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき、地域交流が図れる。					
市役所	中学校へ、給食時間に訪問を行い食育指導を実施した。また、ティームティーチング授業においても食育指導を実施した。					

指標名 朝食を食べない日がある児童・生徒の割合【小学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	0.0	0.0	0.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値		7.3	8.5	8.8	8.1	
達成率		—	0.0	0.0	0.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	食生活に関し、児童・PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき、地域交流が図れる。					
市役所	小学校へ、給食時間に訪問を行い食育指導を実施した。また、ティームティーチング授業においても食育指導を実施した。					


指標名 朝食を食べない日がある児童・生徒の割合【中学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	3.0	3.0	2.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値		13.8	13.7	13.4	13.6	
達成率	%	—	21.9	22.4	14.7	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	食生活に関し、生徒・PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき、地域交流が図れる。					
市役所	中学校へ、給食時間に訪問を行い食育指導を実施した。また、ティームティーチング授業においても食育指導を実施した。					




指標名 学校給食における地場産物の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	35.0	35.0	35.0	・食育事業 ・給食用物資購入事業
実績値		20.0	27.8	36.1	37.5	
達成率	%	—	79.4	103.1	107.1	
達成状況	—	—	☁	☀	☀	
取り組みの状況						
市民	献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ地域農産物を含めた食材を、学校からホームページなどで発信することによって毎日の給食の内容が地域の方へも伝わり給食の理解が深まる。					
市役所	給食センター運営委員会を開催し、年間給食実施計画、物資納入業者の選定を行った。献立作成委員会を開催し、献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ食材や、地域農産物を含めた物資を物資選定委員会で協議し選定をした。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>校長・教諭・PTAの各代表及び栄養教諭・学校職員で、より安価で良質、かつ安全な食材を選定し、栄養教諭・学校栄養職員の献立素案を基に、全小中学校の給食担当教諭と協議する。</p> <p>望ましい食生活について、効果的・効率的に児童・生徒に指導し、PTAの試食会等を通して偏食による肥満や、生活習慣病について講義する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>望ましい食生活に関し、児童・生徒及び保護者への指導のみでなく、学校を発信源として、肥満などの生活習慣病を地域へPR活動することで、地域交流が図れるよう努めていただきたい。</p>	

個別目標④ 教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童生徒が学習活動に取り組んでいる

指標名 学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	47.7	48.7	49.7	・教材整備事業 ・学校管理運営事業 ・学校施設管理事業 ・学校用地事業 ・学校施設整備事業
実績値		28.3	—	—	45.4	
達成率		—	—	—	91.3	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	児童・生徒及びPTA並びに地域住民の清掃活動等により、学校施設及び周辺の美化環境が保持できた。					
市役所	給水、電気、昇降機を始めとする各種学校設備の保守点検を行うとともに、普通教室の不足により臨時校舎の借り上げをした。また、予算の範囲内で必要な箇所の修繕・工事を実施した。					

指標名 学校施設の耐震化率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	98.2	100.0	100.0	・校舎等耐震補強事業
実績値		61.8	100.0	100.0	100.0	
達成率		—	101.8	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	学校施設の大規模工事において発生する学習環境や施設利用での不都合を理解し、円滑な工事の進捗に協力した。					
市役所	耐震診断結果に基づき、各小中学校の校舎及び体育館の耐震補強工事を実施し、耐震化が完了した。また、非構造部材について、業者委託による点検を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
教科書改訂に伴い、教師用教科書及び指導書等を整備する。 学校施設整備として、余裕教室の有効利用を検討する。 校舎の改造及びプールの改築・改修計画に沿って、遅滞なく工事を行うとともに、国の交付金等の動向に注視する。	

個別目標に対するまちづくり評価	
非構造部材の耐震化への早期対策や、校舎の改造及びプールの改築・改修に対し、長期的な計画を立てていただきたい。	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

中学校区を単位として、啓発・情報交換・実践活動等を学校・家庭・地域が連携を図り、非行防止等の活動が実施され、即座の対応が図られた。

職場体験等を実施した結果、その経験により生徒が自分自身で進路を選択する能力の育成を図ることができた。

地域の中の学校として、学校・家庭・地域が一体となった情報の共有が図られた。

食生活に関し、児童・生徒及び保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病などの理解を深めることができた。

◆柱全体の今後の課題

学校だけの対応は困難な状況であるため、地域との連携が不可欠である。

職場体験学習において、関係機関とさらに連携を密にして、職場体験学習の受け入れ事業所の拡大を図る必要がある。

学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進しなければならない。

安価で良質かつ安全な食材を選定する。また、食育や望ましい食生活について、指導のみでなく、地域へのPRも必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

学校・家庭・地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。

職場体験学習の実施においては、ハローワーク・商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、職場体験学習の受け入れ事業所の拡大を図る。

学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進する。

食育や望ましい食生活について、児童・生徒に指導するとともに、PTAの試食会等を通して地域へのPRを行う。


まちづくり評価シート

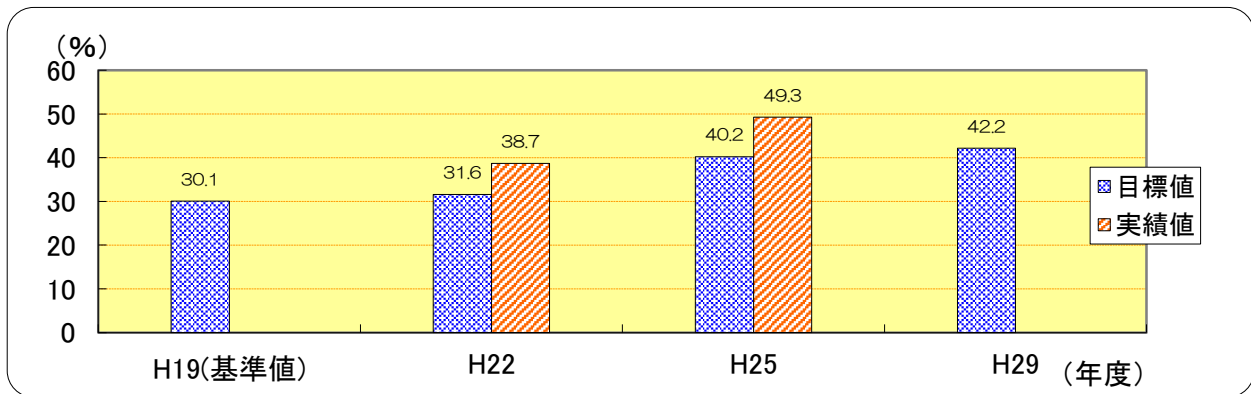
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:2 将来にわたって活躍できる人づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている


指標名	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	40.2	教育委員会会議の定期的な開催、教育現場の訪問、他都市との意見交換などを通じて、情報を収集し、教育課題に迅速に対応したことにより、望む教育を受ける環境が整っていると感じる市民の割合はほぼ目標を達成することができた。このため、平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は49.3%となり、達成状況としては晴れマークが表示され、目標値を上回ることができた。一方、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題となっている。
実績値		30.1	49.3	
達成率	%	—	122.6	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は49.3%となり、達成状況としては目標値を上回っている。しかし、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題であるため、学校・家庭・地域が協力して取り組むよう努めていただきたい。

個別目標① 地域社会が教育に関心をもち、望む教育を受ける環境が整っている

指標名	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	36.6	37.3	38.0	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会運営事業 ・教育調査事業 ・教育文化振興基金積立事業 ・表彰事業 ・横田教育文化振興事業
実績値		35.0	—	—	43.0	
達成率	%	—	—	—	113.2	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	教育委員会会議録、教育基本方針、教育委員会の点検評価等をホームページで閲覧することなどにより、教育的・文化的な教養の向上に努めた。
市役所	教育委員会会議を年間15回開催し、教育現場を訪問するなどして、教育の場を構築し、教育課題等諸問題について、迅速に対応した。また、文化的教養の向上又は教育的効果が認められたものに、栄誉を称え広く市民に知らせた。

目標達成のための今後の展開方針	
市民の要望など地域に密着した教育行政を推進する。	

個別目標に対するまちづくり評価	
市民が気軽に学校を訪問できるような環境づくりを進めてほしい。 学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換会に積極的に参加してほしい。	


個別目標② 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

指標名		不登校の児童・生徒数の割合【小学校】				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	0.3	0.3	0.2	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員配置事業 適応指導教室事業 いじめ・不登校対策事業
実績値		0.5	0.8	0.6	0.7	
達成率	%	—	37.5	50.0	28.6	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	

取り組みの状況	
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず、専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。
市役所	各小学校に心の教室相談員を配置し、児童の悩みなどの相談を受けた。 不登校児童のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。

指標名		不登校の児童・生徒数の割合【中学校】				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	2.7	2.7	2.0	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員配置事業 適応指導教室事業 いじめ・不登校対策事業
実績値		4.5	4.0	4.0	3.5	
達成率	%	—	67.5	67.5	57.1	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	

取り組みの状況	
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。
市役所	各中学校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みなどの相談を受けた。 不登校生徒のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。

指標名	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	53.0	53.0	54.5	<ul style="list-style-type: none"> ことばの教室事業 放課後子どもプラン事業 青少年問題協議会事業 少年センター事業 青少年健全育成推進事業
実績値		51.5	—	—	56.5	
達成率	%	—	—	—	103.7	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	布袋小学校、宮田小学校、古知野南小学校、藤里小学校の「放課後子ども教室」に参加した。青少年問題協議会で、青少年育成の基本方針を決定した。また青少年健全育成のために、街頭啓発を行ったり、講演会に参加したりした。「こども土曜塾」において小学校4～6年生の希望者が参加した。
市役所	小学校の余裕教室や体育館を利用して「放課後子ども教室」と「学童保育」を総合的に実施した。青少年の指導・育成等に関する調査・審議を行い、青少年育成の基本方針を決定した。また、少年相談窓口を開設し、街頭補導を実施した。青少年健全育成のために、街頭啓発、講演会を実施した。児童に対し、基本的な学力の定着を図るため、地域に在住している退職教職員等の支援を得て「こども土曜塾」を実施した。

目標達成のための今後の展開方針

いじめ不登校対策として、適応指導教室「You・輝」、心の教室相談員、少年センター、小中学校15校における相談員の配置の充実を図り、相談を受けやすい体制を整えることで、学校生活を安心して教育を受けやすくできるようにする。

地域でのボランティア活動や体験活動の情報提供を行い、青少年の社会性、人間性の育成に努める。放課後の子どもたちに安全で健やかな活動場所を確保するため、放課後子ども教室と学童保育の一体化や連携した取り組みに努める。

地域学習活動としての「こども土曜塾」を継続実施する。

個別目標に対するまちづくり評価

子どもたちが心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず、気軽に相談できるような環境づくりをさらに進めていただきたい。

ボランティア活動や体験活動の情報を提供し、青少年の社会性、人間性の育成に努めるとともに、放課後の子どもたちの健全な居場所づくりを確保するため、放課後子ども教室と学童保育の充実とさらなる連携の促進を図っていただきたい。

児童の基本的な学力の定着を図るため、「こども土曜塾」を継続実施していただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

教育現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換をした。教育委員会会議においては、教育の課題・施策等について、教育委員会委員と積極的に審議し意見交換をした。

◆柱全体の今後の課題

学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加し、教育現場の現状や課題を的確に把握する。平成20年4月から教育委員会会議の内容をホームページで公開しているが、今後も情報公開を積極的に進めていく必要がある。

心の悩みを抱える児童・生徒やいじめ不登校問題は大きな課題であり、学校・家庭・地域が協力して取り組む必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

学校・家庭・地域が連携し、地域住民の要望・意見等を取り入れながら、地域ぐるみで教育行政を推進し、社会に貢献できる人材を育む。

まちづくり評価シート

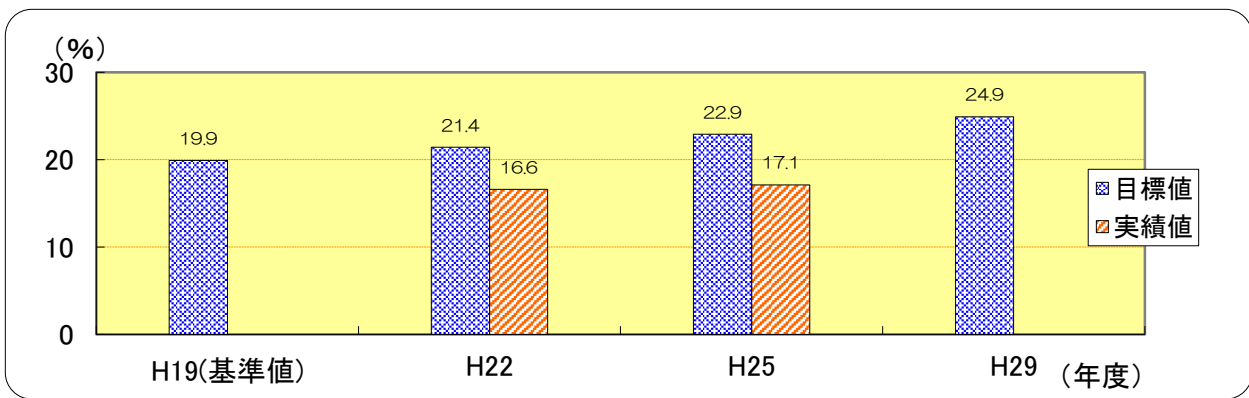
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

生涯学習課【担う柱:3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている

指標名	生涯学習活動に参加している市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	22.9	平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は実績値が17.1%となり、平成22年の実績値の16.6%と比較すると0.5ポイント増えている。いずれも年齢層が60歳以上の方が多く、18歳～59歳までの若者や勤労者層の市民参加が少ない状況となっている。そうした世代は、仕事や子育てが中心の生活を送っており、生涯学習活動への参加につながっていないことから、目標値に達成できていないと考えられる。
実績値		19.9	17.1	
達成率	%	—	74.7	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

生涯学習活動への意識や参加は、年齢層や生活スタイルによって大きく異なると思われる。60歳以上の高齢者は、現役世代と比べ時間に余裕もあり、自身の生涯学習活動への意識が高い。一方で現役世代は、仕事や子育てが生活の中心となり、時間に余裕がもちにくい状況と思われる。生涯学習に対する市民満足度の高い行政を行うには、引き続き高齢者が参加して生きがいづくりに寄与する事業を行うとともに、土、日曜日等に行う公民館講座など、若者や勤労世代でも参加しやすい講座を一層企画していただきたい。

個別目標① 市民が、自発的な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

指標名	生涯学習講師人材バンク登録者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	人	—	150	155	165	・企画運営事業
実績値		126	154	140	139	
達成率		%	—	102.7	90.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	PTA活動、子ども会活動などの行事において、生涯学習人材バンクを利用し、講師を依頼した。
市役所	広報こうなんや市ホームページによる啓発活動や公民館サークルへの登録依頼を行った。生涯学習人材バンクの一覧を作成し、学校・公民館・子育て支援センターなどへ配布した。




指標名 愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	2,100	2,100	2,190	・成人教育事業
実績値		2,011	1,491	1,566	1,546	
達成率	%	—	71.0	74.6	70.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市と愛知江南短期大学が連携した公開講演会、オープンカレッジに参加した。					
市役所	愛知江南短期大学と連携し、オープンカレッジの開催に向けての準備を行い、公開講演会等を開催した。					




指標名 1人当たりの図書等の貸出点数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	冊	—	4.2	4.5	5.1	・図書館管理運営事業
実績値		3.3	4.0	4.1	4.0	
達成率	%	—	95.2	91.1	78.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	インターネットや利用者端末を利用し、図書の検索を行い貸し出しを受けた。図書館主催の読み聞かせ会、手作り絵本教室、ウッドバーニング等に参加した。					
市役所	市の施設において配本・返却サービスを実施し、利用者の利便性の向上を図った。					




目標達成のための今後の展開方針	
<p>人材バンクの活用をより活発なものにするため、市民だけでなく学校や団体等にも呼びかけて幅広い人材を確保する。また、市民に対する周知の方法を検討し、より利用しやすい制度とする。</p> <p>公開講演会への参加を呼びかけるため、広報こうなんや市ホームページだけでなく、新聞への掲載や市の施設以外の多くの市民が集まる場所へのチラシの配布などを行う。</p> <p>図書館の利便性向上について、ボランティア同士の連携や、図書館との連携を一層促進しながら、市民ニーズの把握に努める。指定管理者との情報交換を行う。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>各種団体に積極的にPRなどを行い、多様なニーズに対応できる講師の人材確保に努めていただきたい。また、人材の確保とともに、市民が幅広く人材バンクを利用することができるように、わかりやすい周知に努めていただきたい。</p> <p>公開講演会等の参加者を増やすため、愛知江南短期大学との連携により、積極的に開催をPRしていただきたい。</p> <p>ボランティアによる読み聞かせなどで、多くの集客を得ていることは評価できる。さらに、ボランティア同士の連携を図り、市民ニーズの把握やサービス向上に努めていただきたい。</p>	

個別目標② 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる

指標名 屋内のスポーツ施設の稼働率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	85.0	85.0	・体育施設等維持管理事業
実績値		84.1	91.2	88.1	88.4	
達成率		—	107.3	103.6	104.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	各加盟競技団体(屋内競技)が行う市民スポーツ祭や定期的な練習を、体育会館競技場など屋内スポーツ施設で実施した。					
市役所	市民スポーツ祭などの情報を、広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。また、スポーツ人口を増やすため、各種体験教室や会員募集などの情報も広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。					

指標名 屋外のスポーツ施設の稼働率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	33.0	34.5	36.3	・体育施設等維持管理事業
実績値		29.7	37.2	37.6	37.7	
達成率		—	112.7	109.0	103.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	各加盟競技団体(屋外競技)が行う市民スポーツ祭や定期的な練習を、市営グラウンドなど屋外スポーツ施設で実施した。					
市役所	市民スポーツ祭などの情報を、広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。また、スポーツ人口を増やすため、会員募集などの情報も広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。					

指標名 コミュニティ・スポーツ祭の参加者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	7,000	7,000	7,000	・各種スポーツ大会開催事業
実績値		5,289	6,709	6,698	5,995	
達成率		—	95.8	95.7	85.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市内10小学校区で開催されたコミュニティ・スポーツ祭に参加した。					
市役所	コミュニティ・スポーツ祭の情報を、広報こうなん等に掲載するなど啓発に努めた。					

目標達成のための今後の展開方針

屋内施設は、引き続き既存施設の整備を図り、安心・安全な施設運営を行う。
また、新体育館建設に向けて策定された江南市新体育館建設基本計画に基づき、設計業務を行う。
屋外施設は、公園敷地内に多く点在するため、まちづくり課とも連携・協力しながら整備を進めていく。
コミュニティ・スポーツ祭については、種目を参加しやすいものに見直し、PR方法の改善を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

市民が身近に参加できるスポーツ大会であるコミュニティ・スポーツ祭に多くの市民が参加し、地域の交流ができたことや、屋内・屋外施設についての稼働率が目標値を上回っていることは評価できる。一方で、施設の老朽化が進んでおり、安心・安全で快適な施設が利用できるよう、新体育館建設に向けて計画的に事業を進めていただきたい。

個別目標③ 男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして参画し、共にその責任を分かち合っている

指標名	審議会などにおける女性委員の登用率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	25.0	27.0	30.0	・男女共同参画推進事業
実績値		18.4	27.5	27.1	27.7	
達成率		—	110.0	100.4	92.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市が主催する委員会等の委員に公募した。					
市役所	各課に対し、審議会等の委員の改選期には女性委員の登用率が全体の30%以上になるように、積極的な登用を依頼した。 職員の男女共同参画への理解のため、研修会を実施した。					

指標名	男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合					
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	70.0	70.0	70.0	・男女共同参画推進事業
実績値		60.5	94.4	85.4	63.7	
達成率		—	134.9	122.0	91.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	男女共同参画について、理解を深める講演会等に参加した。 講演会参加の折、男女共同参画都市宣言を唱和した。					
市役所	広報こうなんや市ホームページに男女共同参画についての記事を掲載し啓発に努めた。男女共同参画に関するパンフレットを作成し、市内中学校及びセミナー等の折に配布した。					

目標達成のための今後の展開方針

職員に対し、研修等を行い男女共同参画社会の推進について、より一層理解を深める。
市民に対し、男女共同参画社会をわかりやすく理解してもらうため、講師の選定・テーマ等を各市町と情報交換しながら身近に感じる講座を開催する。
男女共同参画社会を市民に広く意識していただき、お互いに協力し家庭において家事や育児を分担し合うことにより、より充実した生活が送れるようになることを職員・市民へ啓発する。

個別目標に対するまちづくり評価

男女共同参画基本計画に基づき、市民と協働で男女共同参画の実現に向けて取り組んでいただきたい。
男女共同参画社会を推進することは、男女が対等なパートナーとして認め合う社会をつくることであり、地域の活性化につながると考えられます。
これからも、市民に親しみのあるセミナー、講座を開催していただき、啓発に努めていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

生涯学習講演会・IT講習会・公開講演会・乳幼児学級等を開催し、市民のニーズに応えることができた。高齢者教室の会員数も、回覧板を通じて募集をすることにより増加した。
また、公民館で実施した生涯学習講座では、若い世代の方にも関心を引く内容を実施することにより、世代を通じた参加につながった。

◆柱全体の今後の課題

高齢者の増加に伴い、「健康・生きがい・仲間づくり」をテーマに実施している高齢者教室の会員を引き続き募集するとともに、高齢者の生きがいづくりの場として、生涯学習講座や図書館事業を有効活用していく必要がある。
また、若者や勤労世代でも参加できるような講座内容や実施日を、考慮しながら企画していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

公民館で実施する生涯学習講座、図書館事業等の開催にあたり、多くの若者や勤労世代、高齢者に参加してもらえるような講座内容を考える。


まちづくり評価シート

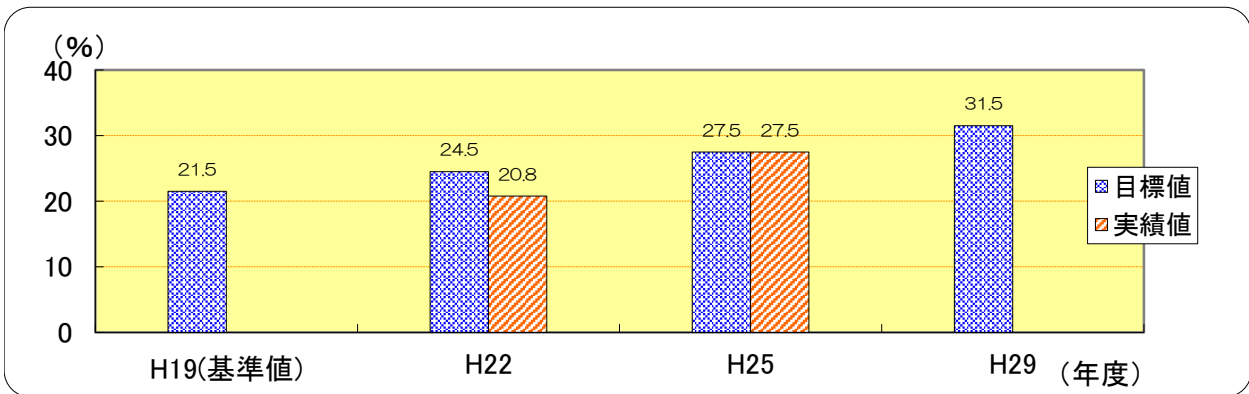
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

生涯学習課【担う柱:4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況




全体目標 市民の文化活動や国内外の交流活動が活発に行われ、心豊かな生活を送っている

指標名	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H25	
目標値	%	—	27.5	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合が市民満足度調査により測定した結果、目標値と同数値となり目標が達成できた。
実績値		21.5	27.5	
達成率	%	—	100.0	
達成状況	—	—		









全体目標に対するまちづくり評価
 文化芸術活動を行っている市民の割合について、前回の平成22年度では実績値が基準値を下回っていたが、平成25年度の実績では目標が達成できていると思われる。最近の社会環境の変化などで、余暇の時間の過ごし方を有効利用しようとする年代層(市民)の増加が見受けられたもので、文化芸術活動や交流活動に興味をもち、少なからずとも心豊かな生活を送っていけるように、さらなる事業の展開を図っていただきたい。

個別目標① 市民が文化芸術活動を積極的に行っている。

指標名	文化芸術活動を行っている市民の割合					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	1.4	1.4	1.5	・文化振興事業 ・文化協会事業
実績値		1.3	1.2	1.1	1.1	
達成率	%	—	85.7	78.6	73.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	市の主催する「民踊講習会」、「教養講座」へ参加した。また、「美術展」への出品や参観、文化協会主催の「文化祭」に参加した。
市役所	武功夜話セミナーを市民文化会館小ホールで開催した。また、民踊講習会や美術展等を開催し、文化芸術にふれあう場を提供したとともに、文化協会主催の文化祭の開催を支援した。




指標名		市民文化会館の稼働率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	50.8	52.3	53.8	・市民文化会館管理運営事業
実績値		47.8	49.5	54.6	49.5	
達成率	%	—	97.4	104.4	92.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市民文化会館の指定管理者が企画する自主事業に参加した。また、会議や作品展示、芸術活動のため、会議室や大・小ホールを利用した。					
市役所	市民が安心して市民文化会館を利用するため、市民アンケートをとり、意見や要望を把握した。また、運営委員会を開催し、指定管理者と事業内容などについて協議を行った。21年度よりモニタリングを実施し、自己評価をしつつ、市民サービスの向上を図った。					




指標名		美術展出品者数				
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	236	248	260	・美術展事業
実績値		224	221	222	208	
達成率	%	—	93.6	89.5	80.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市が主催する美術展に作品を出品した。					
市役所	美術展を開催し、市民から作品を募集することで、市民への美術・芸術作品の創作意欲や関心が高まるよう事業を展開した。					




目標達成のための今後の展開方針	
<p>市民文化会館等を利用し、芸術等の活動をしている若い世代にも文化協会に加入してもらい、芸術文化の振興に寄与するよう、働きかけていく。</p> <p>また、市民文化会館大・小ホールの割引制度をPRし、利用者を増やしていく。</p> <p>今後の重点課題として、市民文化会館を安全で確実な施設として、利用者が安心して利用できるよう、設備等の改修を計画的に実施し、文化芸術の発信の拠点としていく。</p>	




個別目標に対するまちづくり評価	
<p>市民が芸術文化事業に関心をもつためには、市が美術展や講演会、セミナーや教養講座など多種多様のイベントを開催するとともに、PR活動を積極的に実施していただきたい。</p> <p>また、市民にとって活動拠点である市民文化会館が、さらなる芸術文化の振興拠点となるような事業展開をしていただきたい。その一環として、市民文化会館大・小ホールの利用方法や市民文化会館の自主事業のPR活動を積極的に行うなどし、市民サービスの向上を図っていただきたい。</p>	

個別目標② 郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する愛着や誇りをもっている




指標名 指定文化財の数【国】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	5	5	5	・文化財保護事業
実績値		5	5	5	5	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	管理者は国指定文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。					
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護に努めた。					

指標名 指定文化財の数【県】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	9	9	9	・文化財保護事業
実績値		9	9	9	9	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	管理者は県指定文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。					
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護に努めた。					

指標名 指定文化財の数【市】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	92	92	92	・文化財保護事業
実績値		92	94	94	94	
達成率		%	—	102.2	102.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	管理者は市指定文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。					
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護に努めた。					

指標名	登録有形文化財の数【登録】					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	3	3	3	・文化財保護事業
実績値		2	3	3	3	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	管理者は登録有形文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。
市役所	管理者に対し、登録有形文化財の保存、管理に努めるよう依頼した。




指標名	文化財普及事業への参加者数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	5,800	5,875	12,000	・歴史民俗資料館事業 ・文化財保護事業
実績値		5,647	11,182	13,146	11,137	
達成率		%	—	192.8	223.8	
達成状況	—	—				




取り組みの状況	
市民	市が主催する歴史民俗資料館の企画展の参加や、常設展示している歴史民俗資料館を参観した。 また、郷土の歴史を知る機会の「武功夜話セミナー」に参加し、郷土の歴史への愛着と理解ができた。
市役所	多くの市民が、歴史民俗資料館の展示物や文化財に関心をもっていただけるよう、各種企画展を開催した。また、中学生に向けて、江南の歴史や文化財に対する関心が深まるよう、歴史教室を開催した。




目標達成のための今後の展開方針
<p>国指定重要文化財である曼陀羅寺正堂の檜皮葺屋根が経年劣化により改修が必要となっており、平成27年度からの改修工事に対して、国、県及び市の補助事業として支援していく。</p> <p>郷土の歴史では、武功夜話や戦国武将関連への市民の関心が依然として高いため、郷土の歴史関連セミナーを開催していく。</p> <p>歴史民俗資料館での企画展を多くの市民に観てもらえるようにPRしていく。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>江南市は、戦国武将織田信長に関わりのある史跡や寺社など文化財が豊富なまちである。</p> <p>新たに市の指定文化財に登録された、「生駒家石造群」のPRを積極的に行っていただきたい。併せて「文化財めぐり」などの事業を市が企画することも効果的であると思われる。</p> <p>また、歴史民俗資料館で行う企画展に足を運んでいただくよう積極的にPRを行っていただきたい。</p>

個別目標③ 世界平和の重要性が認識され、在住外国人も安心して暮らしている

指標名 江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	280	320	360	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値		220	390	513	475	
達成率		%	—	139.3	160.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。					
市役所	さまざまな国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携して開催した。					

指標名 江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	2,000	5,400	5,600	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値		1,800	6,651	6,474	5,974	
達成率		%	—	332.6	119.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。					
市役所	さまざまな国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携して開催した。					

指標名 世界平和を願うパネル展の来場者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	1,300	1,350	1,400	・世界平和・国際協力推進事業
実績値		1,198	1,403	972	1,480	
達成率		%	—	107.9	72.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市が主催する世界平和を願うパネル展に参加した。					
市役所	平和の尊さ、原爆の悲惨さを広く市民に啓発するため、市民文化会館・市役所・すいとびあ江南口ビーにおいてパネル展を開催するとともに、市立全中学校でパネル展を開催した。					

目標達成のための今後の展開方針

外国人の児童が多く通学している藤里小学校の余裕教室を国際交流ルームとして、言葉の壁や習慣の違いで戸惑っている外国人の子どもを対象とした日本語教室等の支援活動を、ふくらの家とともに実施する。また、日本語学習や子どもの学習支援などの事業に多くの外国人が参加できるよう、国際交流協会の活動を支援していく。

個別目標に対するまちづくり評価

定住化が進む外国人に対し、市は江南市国際交流協会と密接に連携し、生活相談や日本語教室の開設など、定住外国人の目線に沿ったきめ細かい支援活動を行っていただきたい。また、国際平和の実現には国際交流を深め国際協力の推進を図るとともに、戦争の悲惨さや世界平和の重要性を市民に啓発することが必要と思われる。今後も、次代を担う市内小中学生が戦争の悲惨さを学び、平和の大切さを理解できるよう、パネル展などを通して平和教育の推進を行っていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

文化芸術活動を行っている市民の割合について、最近の社会環境の変化などで、余暇の時間の過ごし方を有効利用しようと関心をもつ年代層(市民)の増加が見受けられたもので、文化芸術活動や交流活動に興味をもち、少なからずとも心豊かな生活を送っていると感じているのではないかと思われる。また、文化財保護の観点から、指定文化財を増やしたことや、市内各区の文化財的財産を市民自ら保護しようとする傾向が見受けられる。そのような観点から目標を達成でき、達成状況に晴れマークが表示できたものとする。

◆柱全体の今後の課題

市民の高齢化が進み就労の機会がない世代や、子育てや親の介護との両立に追われる世代にも文化芸術活動や交流活動を通じて、心豊かな生活を送っていると感じるような事業の展開を図っていくことが必要である。これからも、市民や次世代を担う中学生に世界平和に向けた啓発をしていくことが重要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

市民の高齢化が進み就労の機会がない世代や、子育てや親の介護との両立に追われる世代にも文化芸術活動や交流活動を通じて、心豊かな生活を送っていると感じるような事業の展開を図っていくことが必要である。これからも、市民や次世代を担う中学生に世界平和に向けた啓発をしていくことが重要である。

V 経営、企画分野

市民と市役所との信頼関係のもとに協働型社会が構築されており、限られた経営資源の中で最大の成果を実現し、効率的で公平かつ適正な行財政運営が行われている。

柱1 地域協働の推進【地域経営】

市民と市役所が連携・分担・協働により課題解決を図り、協働型社会の実現に向け協力し合っている。

柱2 戦略的な行政経営の推進【行政経営】

経営のしくみの定着、職員能力の発揮、戦略的な政策展開や資源配分、健全な財政運営などにより、限られた経営資源で最大の成果を実現している。

柱3 公平かつ適正な課税・収納【課税・収納】

市民は納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じ、納税義務を果たしている。

柱4 効率的かつ円滑な事務管理の推進【行政事務管理】

効率的かつ円滑な事務管理が実施され、公平かつ適正な行政が行われている。

柱5 より開かれた適切な議会運営への支援【議会運営への支援】

より開かれた適切な議会運営により活発な議論が行われている。

まちづくり評価シート

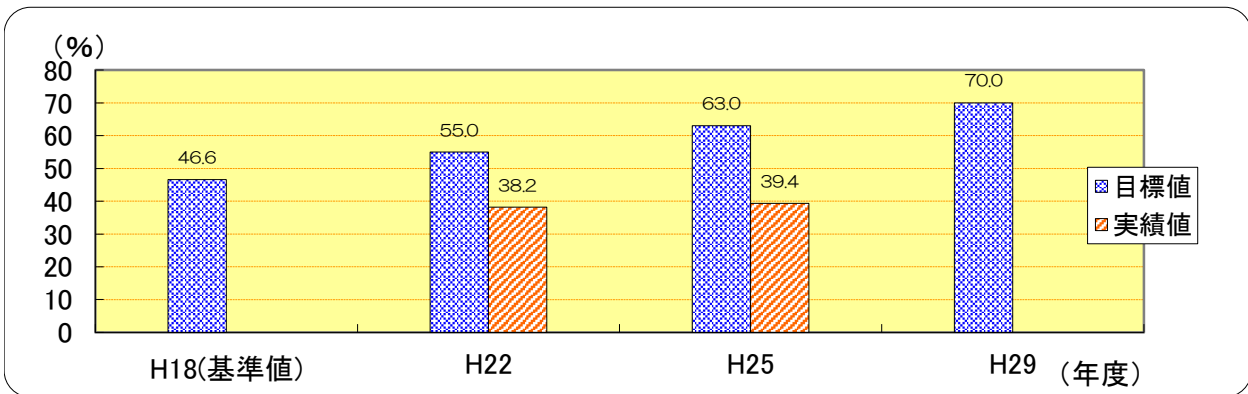
市長政策室【担う分野: V 経営、企画分野】

地域協働課【担う柱: 1 地域協働の推進】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 地域全体で将来の目標を共有し、協働で取り組むことにより、地域の価値が向上している

指標名	ボランティア活動や地域活動への参加意思のある人の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H25	
目標値	%	—	63.0	平成22年度の実績値38.2%と同程度となった。ボランティア活動や地域活動では60歳台の市民の参加を期待していたが、年金支給年齢の引き上げなどにより、就業している60歳台も多く、目標を設定した平成18年度当時とは社会状況が変化してきている。
実績値		46.6	39.4	
達成率	%	—	62.5	
達成状況	—	—	↑	



全体目標に対するまちづくり評価

NPO・ボランティア団体やアダプト団体は、協働型社会の構築に必要なことから、参加される市民を増やすため、引き続きNPOなどの団体情報やアダプト制度のPRをお願いしたい。
 公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業であるので、募集期間に限らず、制度のPRをされたい。
 また、今後も市民活動団体等に必要とされる補助制度となるよう市民目線での見直しをお願いしたい。
 ホームページを始めとするインターネット活用による情報発信についても研究をお願いしたいが、広報こうなん、市ホームページ、市フェイスブックなど、それぞれの利点を活かすよう留意されたい。

個別目標① 市民が地域社会の担い手になっている

指標名	ボランティア団体及びNPOの数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	団体	—	155	165	175	・NPO・ボランティア活動推進事業
実績値		105	141	144	146	
達成率		%	—	91.0	87.3	
達成状況	—	—	☀️	☁️	☁️	

取り組みの状況

市民	地域活動や市民活動に地域情報を積極的に活用した。 地域課題を解決するための公益的活動を行うNPOやコミュニティビジネスの立ち上げに努力した。
市役所	「NPO・ボランティアガイド」を更新して各団体を紹介するとともに、市民・協働ステーションで情報チラシを置くことにより、ボランティア、NPOなどの協働が必要な分野、業務の情報提供に努めた。 事業型NPO支援講座を開催し、経営型のNPO育成に努めた。

指標名		アダプト制度の登録割合				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	2.50	3.00	4.00	・NPO・ボランティア活動推進事業
実績値		0.67	0.45	0.68	0.81	
達成率	%	—	18.0	22.7	20.3	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	地域課題を解決するための公益的活動として、地域の公園・道路・河川などに愛情をもち、積極的にアダプト活動に参加した。					
市役所	広報こうなんや市ホームページで、アダプト制度の紹介を行うことにより、地域の公園・道路・河川などに愛着をもたせ、環境美化に対する意識の高揚を図るとともにアダプト活動の支援に努めた。					

指標名		地縁団体の組織数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	団体	—	42	45	48	・地域団体支援事業
実績値		33	39	39	39	
達成率	%	—	92.9	86.7	81.3	
達成状況	—	—	☀	☁	☁	
取り組みの状況						
市民	地縁団体の設立に積極的に協力し、区有財産の管理など安定的・活発な自治会運営を行った。					
市役所	区・町内会が進んで、地縁団体の設立ができるよう相談体制を充実するとともに、区からの相談に対応し、必要な情報を提供した。					

指標名		公募型協働支援補助事業採択団体数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	団体	—	10	10	10	・公募型協働支援補助事業
実績値		—	6	3	4	
達成率	%	—	60.0	30.0	40.0	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	地域活動やボランティア活動に積極的に参加することにより、市民協働のグループ立ち上げや活動を行った。					
市役所	市民協働団体等の活動を支援するため、公益的な活動に対して、「地域まちづくり補助金」を交付した。					

目標達成のための今後の展開方針

NPO・ボランティア団体やアダプト団体は、協働型社会の構築に必要なことから、NPO・ボランティア団体の情報発信や、アダプトプログラムのPRをし、参加を増やしていく。
 区・町内会からの認可地縁団体の設立認可申請や団体規約の変更申請の折には、法令に沿った規約施行を指導していく。
 公募型協働支援補助事業については、協働型社会を進める重要な一事業であり、制度の見直しを行いながら、市民活動団体等へのPRを充実していく。
 地域情報センター防災倉庫棟(2階大会議室)が、耐震基準を満たしていないため、耐震補強工事を実施する。




個別目標に対するまちづくり評価

NPO・ボランティア活動の参加者を増やすため、引き続き、団体情報やアダプト制度のPRをお願いしたい。また、公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業であり、平成25年度は、申請書の書き方講座の開催、相談業務を強化したが、今後も市民活動団体等に必要とされる補助制度の研究をお願いしたい。一方、「市民の役割」としては、ボランティア活動、区・町内会活動などのまちづくりに積極的に参加すべきである。

個別目標② 地域内の情報を共有し、市政に理解と関心を深めている

指標名	市ホームページのアクセス件数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	420,000	500,000	580,000	・ホームページ運営事業
実績値		309,105	632,620	571,482	565,334	
達成率	%	—	150.6	114.3	97.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市ホームページにアクセスすることにより、市政情報や地域情報を共有した。					
市役所	外国語翻訳機能を追加した。さらに、災害掲示板などによる災害時情報提供や毎日の出来事を綴る藤花ちゃん日記などで市民の興味のある情報を提供することに努めたことで見やすく、わかりやすいホームページの作成に努めた。					

指標名	広報を読んでいる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	88.5	89.0	89.0	・広報紙発行事業
実績値		86.3	—	—	82.3	
達成率	%	—	—	—	92.5	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	日ごろから広報こうなんを読むことにより、市政情報や地域情報を共有した。					
市役所	「江南市マスコットキャラクター藤花ちゃん」の挿絵やその他イラストを効果的に使用し、紙面に興味をもっていただくよう、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努力した。広報こうなんを毎月1回発行した。					

指標名 「市長への手紙」の投書件数							
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業	
目標値	件	—	430	440	450		・広聴事業
実績値		268	336	278	239		
達成率		%	—	78.1	63.2		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市政に対して関心をもつとともに、要望や提案など意見を述べた。						
市役所	「市長への手紙」による市民の要望や提案等に回答し、市民の市政への理解を深めるとともに、市民ニーズの把握や事務改善の参考とした。						

目標達成のための今後の展開方針	
<p>スマートフォンなどの急速な普及などを踏まえ、インターネットの各種サービスを利用した情報発信の方法や市ホームページをより良くするための調査・研究を行う。</p> <p>広報原稿の内容の精査を行い簡易でわかりやすい本文を作成し、写真、イラストを効果的に使い見やすく親しみやすい紙面にする。</p> <p>「市長への手紙」の投書件数を伸ばすために、広報こうなんを利用したPRを現在よりも増やす。</p> <p>「江南市マスコットキャラクター藤花ちゃん」を活用し、江南市の「魅力」や観光名所、イベントなどを積極的にPRする。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>広報こうなんを始め市ホームページ、インターネット活用による効果的情報発信について取り組みされたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

NPO・ボランティア団体数については、平成25年度も、引き続き若干増加しており、今後も逡増する見込みである。

アダプトプログラムについては、登録団体数が増え、今後も増加していくものと思われるが、登録者数が多い団体の登録、脱退に左右されるため、断定できない。

認可地縁団体については、複数の団体から事前の相談もあることから、今後も新たな認可申請がある見込みである。

公募型協働支援補助事業については、目標の採択数には達しなかったことから、NPO・ボランティア団体等に啓発を強化した。また、実施団体が複数で申請する”つながろう！連携コース”、単独でも申請できる”ひろげよう！展開コース”を引き続き募集した。

公募市民や市民活動団体等で構成する、市民自治によるまちづくり基本条例推進委員会において検討した条例(案)をもとに、それを尊重する形で、市民参加条例が制定できた。

市ホームページについては、目標のアクセス件数の90%を満たしており、情報発信の成果が現れている。

◆柱全体の今後の課題

地域の担い手への第一歩は”参加”である。ボランティア活動への関心を身近な活動であるアダプトやNPOへの参加にどうつなげていくかが課題である。

まちづくりの実践の場は地域であり、また、区・町内会は地域経営の重要な構成員であると同時に担い手でもあることから、認可地縁団体数の多寡にかかわらず、地域の自治力の向上が課題となっている。

公募型協働支援補助事業については、事業のPR方法や、制度創設の狙いでもある活動団体の連携が課題となっている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

NPO・ボランティア団体やアダプト団体は、その育成・支援が協働型社会の構築に必要なことから、市民活動団体(NPO、ボランティア団体等)に係る情報発信の充実を図る。

地縁団体(区・町内会)は地域経営の重要な構成員であり、育成・支援が協働型社会の構築にとって重要なことから、地域の自治、並びにまちづくりなどへの関心・理解を深めるため、江南市市民自治によるまちづくり基本条例や市民参加条例の啓発に努め、市民が行政に参加しやすい環境を整える。

公募型協働支援補助事業は、協働を進める重要な事業で、さらなる啓発を実施するとともに、他市町の申請方法を調査、研究して、より申請件数が増加するように工夫する。

市政へのより深い理解と関心に応えるための情報発信・受信の手法や体制を充実させる。

まちづくり評価シート

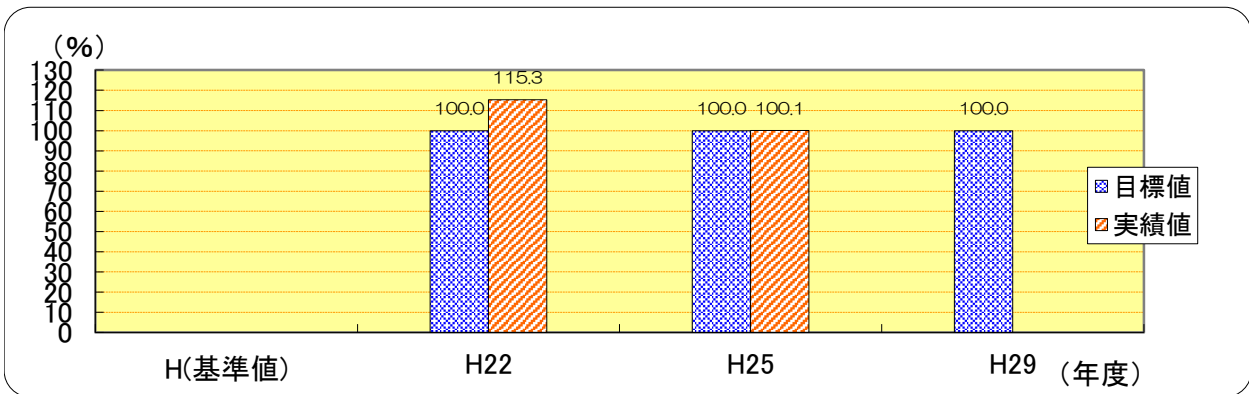
市長政策室、総務部【担う分野：V 経営、企画分野】

秘書政策課、行政経営課【担う柱：2 戦略的な行政経営の推進】

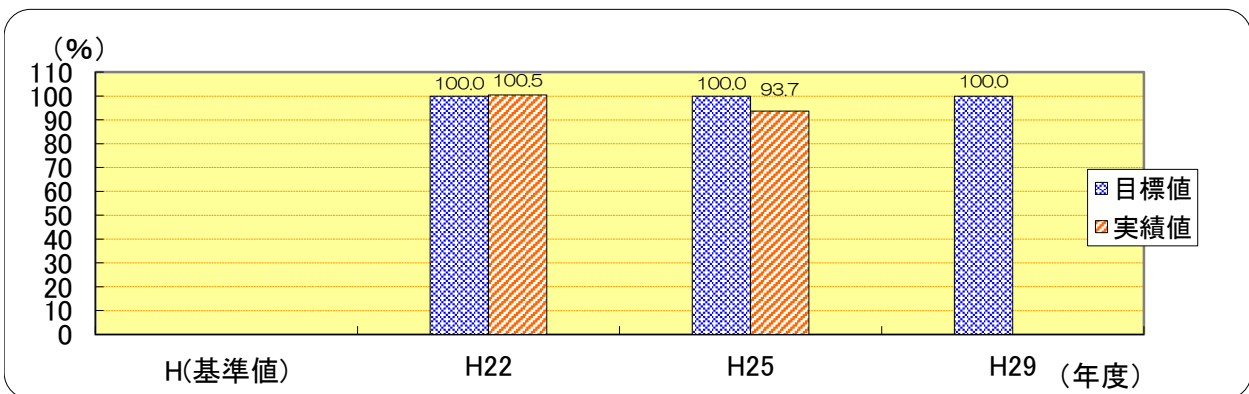
◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている

指標名	基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率			実績値の分析
	単位	H (基準値)	H25	
目標値	%	—	100.0	平成25年4月に実施した市民満足度調査結果により目標値の平均達成率が100.1%という結果になった。達成状況としては良い結果で、目標を達成したといえる。
実績値		—	100.1	
達成率	%	—	100.1	
達成状況	—	—	☀️	



指標名	基本計画に掲げられた個別目標の平均達成率			実績値の分析
	単位	H (基準値)	H25	
目標値	%	—	100.0	平成25年4月に実施した市民満足度調査結果及び平成26年7月に実施した施策評価結果により目標値の平均達成率が93.7%で、概ね目標を達成したといえる。分野別でみると、最も高かったのは経営、企画分野の102.0%、最も低かったのは教育分野の87.9%であった。
実績値		—	93.7	
達成率	%	—	93.7	
達成状況	—	—	☀️	



全体目標に対するまちづくり評価

基本計画に掲げられた全体目標及び個別目標について、全ての目標値100.0%達成することは、非常に困難ではあるが、与えられた経営資源を活用して最大の成果を挙げる経営に力を入れるとともに、住民説明会やパブリックコメントなどの機会を捉え、市民の意見を市政に反映し、市民の満足度を高める行政運営を行う必要がある。

個別目標① 市役所の簡素化・効率化が図られ、市民ニーズに応じている

指標名		事務事業が改善された割合				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・行政経営推進事業 ・行政改革推進事業
実績値		65.2	88.6	91.6	94.8	
達成率		—	88.6	91.6	94.8	
達成状況		—	—			
取り組みの状況						
市民	行政改革推進委員会で経営改革プランの行動計画の進捗状況について意見交換をした。まちづくり会議でまちづくり評価について意見交換をした。					
市役所	事務事業評価、施策評価を行い、課題を洗い出しするとともに、今後の施策展開の方針・改善内容などを実行計画へ反映した。全庁的な業務改善運動smart運動を実施した。					

指標名		住民説明会の参加人数				
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	—	—	1,800	・市民参画事業
実績値		1,456	—	—	715	
達成率		—	—	—	39.7	
達成状況		—	—	—		
取り組みの状況						
市民	パブリックコメントで意見を提出した。(平成25年度は1事案44件、平成24年度は3事案40件)江南市戦略計画に関する住民説明会に参加し、市政について意見を述べた。					
市役所	平成26年1月から2月にかけて、すいとびあ江南、宮田地区学習等供用施設、布袋ふれあい会館、江南市民文化会館の4ヶ所で、江南市戦略計画に関する住民説明会を開催した。					

指標名		広域行政事業数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	事業	—	10	10	12	・地域連携事業
実績値		8	8	8	8	
達成率		—	80.0	80.0	66.7	
達成状況		—	—			
取り組みの状況						
市民	火葬場、し尿処理、ごみ処理等、江南市を含む近隣市町との広域で実施される行政サービスを利用した。					
市役所	平成24年度に引き続き、8事業について広域で事業を行うことにより、住民サービスの向上、事務の効率化を図ることができた。(広域事業：電子申請届出システム、施設予約システム(あいち電子自治体)、火葬場・し尿事業(愛北広域事務組合)、ごみ処理(江南丹羽環境管理組合)、農業共済(尾張農業共済事務組合)、電子調達システム、後期高齢者医療事業)					




指標名	マネジメント・グループ制が適切に機能していると感じる組織の数					
	単位	H20 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	課	—	15	17	19	・行政経営推進事業 ・行政改革推進事業
実績値		8	9	8	11	
達成率	%	—	60.0	47.1	57.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民						
市役所	平成23年度は職場の風土変革と組織の活性化を図るため、主査を対象とした経営管理研修を実施した。平成24年度は新任グループリーダーに対して、マネジメント能力を向上させるための研修及び、グループリーダー候補となる職員を対象に、企画・政策形成研修を実施した。平成25年度は、グループに属さない主幹等を対象とした主幹研修会を実施した。また、次年度のグループ編成に向けた課長ヒアリングを行う中で、各課でのマネジメント・グループ制に関する問題点、要望事項等を確認し、組織の見直しを検討した。					




目標達成のための今後の展開方針	
<p>無料施設の有料化を含めた使用料・手数料の見直しなど、第二次経営改革プラン行動計画で定めた個々の取組事項について、適切な進捗管理を図る。</p> <p>組織力を最大に発揮できるよう、職員のマネジメント能力を向上させる研修を実施する。</p> <p>広域行政事業については、旧尾張北部広域行政圏構成5市2町による企画担当者会議を活用し、近隣市町との連携を図るとともに、名古屋市が近隣との新たな形での広域連携について研究をしているため、防災での連携など名古屋市を含む近隣市町との広域連携について調査研究する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>新たな行政運営に移行して6年が経過し、その改善に向けた取り組みが行われてきた。公共施設の老朽化などに代表される市の中長期的なさまざまな問題に対して、これまで築いてきた行政経営のしゅみをさらに発展させ、課題解決に取り組んでいくことが必要である。</p>	

個別目標② 計画的で健全な財政運営が行われている

指標名	経常収支比率(単年度)					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	82.0	81.0	80.0	・予算編成事業 ・決算関係調査事業
実績値		86.0	83.5	84.3	84.9	
達成率	%	—	98.2	96.1	94.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市の財政運営について、「市長への手紙」、「各課へのメール照会」を通して2件の意見を提出した。					
市役所	限られた財源の中で、景気の動向や国、県の補助事業に対応しつつ、「財政の健全化」と「市民サービスの確保」のバランスをとりながら、歳出の抑制に組み、効率的で効果的な行財政運営をめざして、予算を編成した。					




指標名		実質公債費比率(前3年度平均)				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	7.0	7.0	7.0	・予算編成事業 ・決算関係調査事業
実績値		10.1	5.7	5.1	4.7	
達成率	%	—	122.8	137.3	148.9	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市の財政運営について、「市長への手紙」、「各課へのメール照会」を通して2件の意見を提出した。					
市役所	公債費は、ここ数年増加しているが、臨時財政対策債の増加が大きな要因であり、建設地方債については、後年度の財政負担を考慮し、市債の借入基準を定め、公債費の抑制を図った。					

指標名		財政力指数(単年度)				
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	-	—	0.93	0.94	0.95	・予算編成事業 ・決算関係調査事業
実績値		0.91	0.80	0.80	0.81	
達成率	%	—	86.0	85.1	85.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市の財政運営について、「市長への手紙」、「各課へのメール照会」を通して2件の意見を提出した。					
市役所	財政力指数は、本市の努力の及ばない国の施策や財政措置にも左右される。こうした中で、健全な財政運営を推進するとともに、今後もなお一層の歳出削減と歳入確保に努め、国や県に頼らない自立可能な行財政基盤の確立をめざした。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>経常収支比率(単年度)は、少子高齢化への対応等、義務的経費の増加が予想される中で、歳出の一層の削減と歳入の確保及び、限られた経営資源を効率的かつ効果的に活用し、経常経費の削減に努める。</p> <p>実質公債費比率(前3年度平均)は、今後、多大な費用を要する布袋駅付近鉄道高架化整備事業、公共施設の更新などにより、比率の上昇が見込まれるため、交付税算入など財政措置のある市債の借入を行い、収支のバランスの取れた、持続可能で健全な財政運営を推進していく。</p> <p>財政力指数(単年度)は、本市の努力の及ばない国の施策や財政措置にも左右され、目標を達成していくには厳しい状況となっているが、健全な財政運営を推進するとともに、国県に頼らない自立可能な行財政基盤の確立をめざす。</p>	




個別目標に対するまちづくり評価	
<p>扶助費等の義務的経費が増大する中、経常収支比率の目標を達成できなかったものの、実質公債費比率の縮減、経費節減に努めたことは評価できる。今後、少子高齢化により、さらに必要経費の増大が予想されるため、受益者負担のあり方、新たな自主財源を確保できるしくみづくりを検討し、財源確保に努めていただきたい。</p>	

個別目標③ 職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員が育っている

指標名	政策形成とマネジメント能力をもった職員を育てる研修などの職員1人当たり平均受講回数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	回	—	1.00	1.00	1.00	・人材育成事業
実績値		0.90	3.33	1.56	4.33	
達成率		%	—	333.0	156.0	
達成状況	—	—				




取り組みの状況

市民	市民調査、窓口利用者アンケート調査や市長への手紙等により、職員の資質・対応について回答した。
市役所	職員の政策形成とマネジメント能力を育成するため、社会情勢の変化や組織編成の変更に対応し、職員がより自らの資質の向上に努められるよう新たな研修等を実施したり現行の研修を充実させたりした。

指標名	自己啓発をしている職員の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	40.0	45.0	50.0	・人材育成事業 ・人事管理事業
実績値		33.6	48.9	48.1	49.8	
達成率		%	—	122.3	106.9	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	市民調査、窓口利用者アンケート調査や市長への手紙等により、職員の資質・対応について回答した。
市役所	内部研修、派遣研修、通信教育講座や資格取得支援などの内容を充実させ、職員が自己啓発に取り組みやすい環境を整えた。

指標名	成果目標を意識して、仕事に取り組んだり、業務の改善を心がけている職員の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	80.0	85.0	90.0	・人事管理事業
実績値		69.0	74.5	74.2	75.9	
達成率		%	—	93.1	87.3	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	市民調査、窓口利用者アンケート調査や市長への手紙等により、職員の資質・対応について回答した。
市役所	人事考課制度の評価シートや評価方法等に成果目標を盛り込むことにより、職員が成果目標を意識して、仕事に取り組んだり、業務の改善をしやすい環境を整えた。

目標達成のための今後の展開方針

職員の能力に応じた研修を、効果的に実施する。また、職員同士のコミュニケーションが活発で、職場の一体感が高まり、ともに成長していく職場風土づくりに努める。
人材育成を進め、職員がより自らの資質の向上に努められるよう新たな研修等の実施や現行の研修の充実を図り、これまで以上に職員が意欲と誇りをもって職務遂行ができるよう調査研究を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

各指標の達成状況から職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員の育成に力を注いでいる状況が見受けられる。しかし、これまでの行政改革による職員削減の結果、職員の業務負担が大きくなっている中で市民サービスが低下することのないよう、今後も引き続き、市民の立場に立った目線で、自ら考え業務のやり方を変えることができる職員の育成など職員の資質向上に努めてほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

地方分権の進展に伴う基礎自治体の役割の増大、多様化・複雑化する市民ニーズに対応するため、江南市戦略計画に基づく新しい行政経営を推進し、各組織のめざす目標や使命を明確にした、効率的で効果的な業務執行を行うことができた。

予算の枠配分を行い、各部署が責任をもって、限られた財源の中で、選択と集中により効率的で効果的な事業を展開することができた。

職員一人ひとりの資質と意欲を高めるよう、多彩な研修の実施や自己啓発を促すことができた。

◆柱全体の今後の課題

将来にわたって持続可能な行財政運営を維持するために、健全な財政基盤の確立と市民の満足度につながる効率的で効果的な行政経営を推進していく必要がある。これまで行ってきた業務執行体制を検証する中で、問題点や課題を洗い出し、それらを解決するため、組織編成の見直しが必要となる。地方分権が進み、地方公共団体が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことが求められ、市の果たすべき役割がますます大きくなっている中、これまでの行財政改革の取り組みによりスリム化した市役所が、多様化、複雑化する市民ニーズを的確に捉え、行政サービスの質を向上させていくことが課題になってくる。今後は、新しい経営のしくみを着実に推進し、自己決定と自己責任による政策展開、持続可能な財政基盤を確保することが求められる。また、経営能力とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成するとともに、職員同士のコミュニケーションが活発になる職場風土の醸成が求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

市役所の各組織が、展望や目標を共有し、使命を明確にして、与えられた経営資源を活用して最大の成果を挙げる経営のしくみの着実な推進に力を入れ、それを実現できる経営能力とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成するとともに、職員同士のコミュニケーションを活発にして職場の一体感を高め、ともに成長していく職場風土づくりに努める。また、住民説明会やパブリックコメントなどの市民の声を聞く機会を充実させ、施策の展開や資源配分に反映し、市民の満足度を高める行政運営を行う。さらに、これまで行ってきた業務執行体制を検証する中で、問題点や課題を洗い出し、それらを解決するため、組織編成の見直しを検討する。

まちづくり評価シート

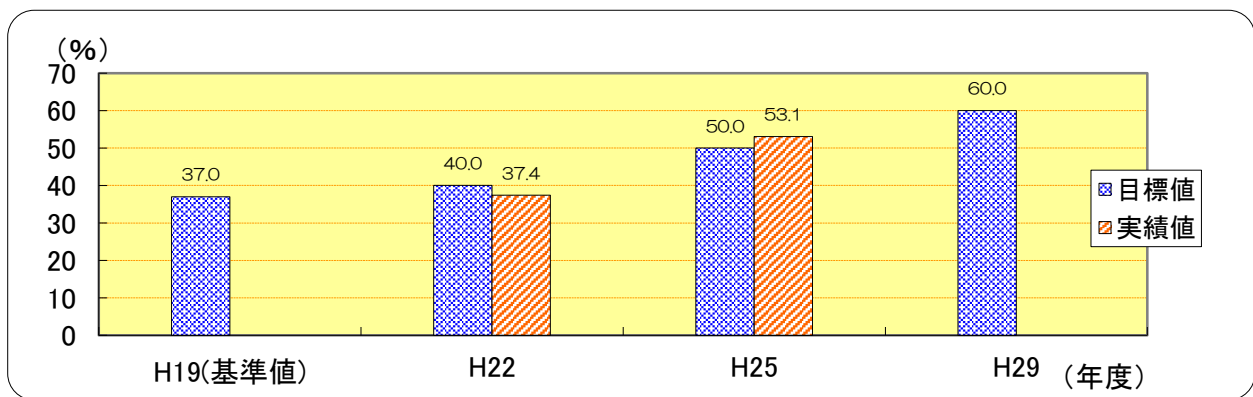
総務部 【担う分野: V 経営、企画分野】

税務課、収納課 【担う柱: 3 公平かつ適正な課税・収納】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 市民は納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じている

指標名	税が公平・適正に課税・収納されていると感じている市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析 市税の情報については、頻繁に行われた税改正に対して広報こうなんや市ホームページで周知を実施。また、コンビニ収納の周知や口座振替の加入促進を図り、さらに、日曜市役所開設により市民サービスの向上を図った。また、賦課誤り等を最少限にとどめるとともに、滞納者への滞納整理を推進したことにより、市民の税に対する理解が深まり、税が公平・適正に課税・収納されていると感じている市民の割合の増加につながったと推測される。
目標値	%	—	50.0	
実績値		37.0	53.1	
達成率	%	—	106.2	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

長期のデフレからの脱却が進む中、少子高齢化の進展に伴い、消費税の引き上げなど、税負担が増大していく。そうした中、税の有効利用を求める市民の声があることから、税の目的やしつみをわかりやすく説明し、また、一層の納税意識を高めるためにも、職員一人ひとりの資質や、税務能力の向上を図り、説明責任が果たせる体制が必要である。

税負担の公平性を保つため、滞納処分の強化を図る必要がある。

市税の適切な賦課を実施するためには、課税客体の的確な把握をする上で、納税者の申告等、協力を求めるとともに、実態把握に努める等、適切な事務処理をする必要がある。また納税者の理解を得つつ、公平・確実な徴収に努め、市税収入の確保を図る必要がある。

個別目標① 市民は、公平かつ適正な課税がされていると感じている

指標名		返戻納付書の件数				主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	件	—	4	3	2	・軽自動車税の賦課事業 ・個人賦課事業 ・法人賦課事業 ・家屋賦課事業 ・土地賦課事業
実績値		10	14	13	12	
達成率		%	—	28.6	23.1	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	

取り組みの状況

市民	税関係の申告を(期限内に)行った。 自らの課税内容を確認した。
市役所	申告書や各種の課税資料を正しく精査し、的確に処理するとともに、現地調査等を実施し、課税客体の把握に努めた。 税務署や県が主催する研修に参加するとともに、課内でも、精通職員による勉強会を実施した。 電算システム変更に伴い、申告書や納付書に同封する説明文(手引等)をわかりやすく整理し、作成した。 正確かつ迅速に各種証明書を発行した。 各種証明書の電話予約を実施するとともに、月2回の日曜市役所を開設した。

目標達成のための今後の展開方針

各税目において、電算システムの変更により、課税事務の効率化を図ったが、今後は税制改正や社会保障・税番号制度の対応に向けた、システム改修や効果的運用が必要となってくる。また、引き続き、課税資料、課税客体の正確な把握に努め、チェック機能の充実を図るとともに、専門的な職員を育成していくなど、税に対する説明責任を果たすことで、市民への信頼度を高めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

市税の課税事務にあたっては、より一層課税客体の把握に努めるとともに、チェック体制を強化し、賦課誤り等の防止に努めていただきたい。
 市税に賦課に対しては、なお一層の説明責任が果たせるよう職員の資質向上を図っていただくとともに、税制改正の内容等に関する情報については、わかりやすく広報こうなん等で知らせていただきたい。

個別目標② 公平かつ適正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている

指標名		収納率(市税現年度課税分)				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・滞納処分事業
実績値		98.4	98.2	98.2	98.4	
達成率		—	99.8	99.8	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	コンビニ収納や日曜市役所などの納付機会を利用することにより、自主的に納期限内に納付した。
市役所	訪問や文書で催告を行うとともに、日曜市役所や夜間納税相談の機会を設けて納税を促し、それでも納付がない方には滞納処分を行った。

指標名		口座振替加入率				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	36.5	37.0	38.0	・納税推進事業
実績値		35.2	36.1	37.5	37.9	
達成率		—	98.9	101.4	99.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	口座振替を利用して、市税を納付した。 口座振替を利用していない人は、口座振替の利便性を理解し口座振替の手続きを行った。
市役所	便利で安全かつ確実な口座振替の利用について広報こうなんや市ホームページ、窓口封筒などで啓発した。市税の当初納付書に市税の口座振替依頼書を綴じ込み、加入促進に努めた。

目標達成のための今後の展開方針

引き続き訪問や文書催告を実施し、納税相談を充実させて自主納付を促すとともに、納税意識の低い滞納者には税負担の公平性を保つため、財産調査を行い滞納処分を行っていく。
納期限内納付や納税機会拡大のため、コンビニ収納の利用や口座振替加入を啓発し、納税意識の向上に努めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

税負担の公平性の観点から、納税意識の希薄な納税者に対し、自己の責任において納税義務を果たすよう努めてほしい。
納期限内納付の徹底を図るため、納税機会の拡大と利便性向上のため、コンビニ収納の利用促進や口座振替への加入推進を図るよう広報こうなんや市ホームページなどで啓発し、納税意識のさらなる向上に努めてほしい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

個人市民税は平成24年度分から、固定資産税・都市計画税、軽自動車税及び法人市民税は、平成25年度から電算システムを変更したことにより、事務の効率化が図られた。
繰り返し訪問や催告をすることで市税収入の増加につながった。また、口座振替の加入率が増加して納期限内納付に寄与した。

◆柱全体の今後の課題

市民にとっては厳しい家計の中、税負担を行うものであり、説明責任の徹底、公平かつ適正な課税及び滞納者への厳格な対応が重要である。
また、自主財源の基幹となる市税の確保を図ることは、安定した行政運営を進めるために必要であることから、適正な課税事務の推進と収納率向上対策の推進を図るとともに、市民の納税意識の高揚に努めていかなければならない。
今後、導入される社会保障・税番号制度について、的確な対応が必要となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

税に関する研修への積極的参加、滞納整理機構への参加を通じ、職員の資質、税務能力の向上と説明責任が果たせるよう、より信頼度の高い税務事務を推進する。
税制の改正を含め、税のしくみや目的を広報活動の充実により広く市民に知らせ、市民の納税意識を高める。
納期限内納付の促進や公平かつ公正な滞納整理に積極的に取り組み、自主財源の基幹をなす市税の一層の確保に努める。
社会保障・税番号制度の対応については、制度に関する情報収集に努めるとともに、十分な検討を行っていく。


まちづくり評価シート

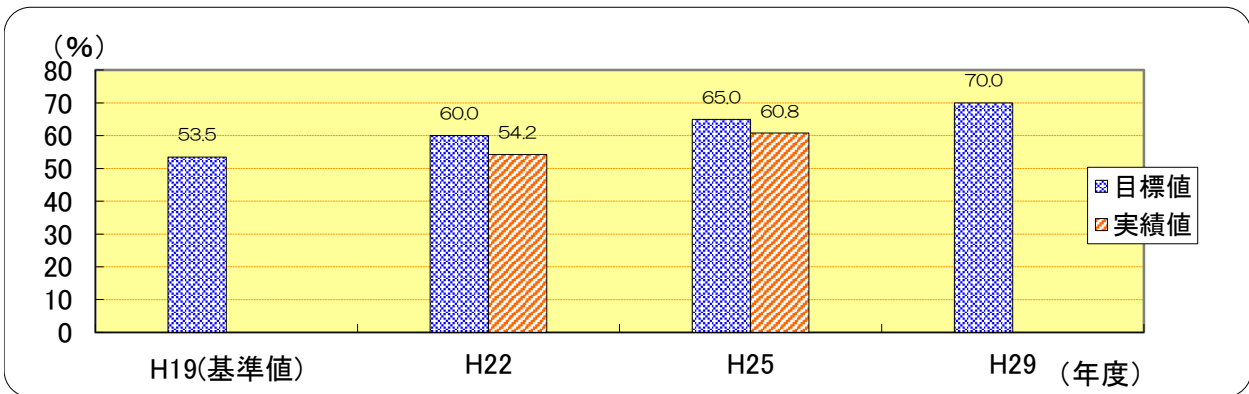
総務部【担う分野: V 経営、企画分野】

総務課、会計課、監査委員事務局【担う柱: 4 効率的かつ円滑な事務管理の推進】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 適正な事務管理及び資産の管理・運用により、市民は市役所を信頼している




指標名	市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析 市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合は60%を超えており、概ね達成している。これは職員が公平かつ適正な事務を心がけた結果と考えられる。今後は適正な事務管理をさらに進め、目標値を達成できるようにする。
目標値	%	—	65.0	
実績値		53.5	60.8	
達成率	%	—	93.5	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

市有財産は適正に管理されている中で、普通財産をより有効活用されたい。情報公開制度などは、適切に処理され、電算システムは安定稼働しており、引き続き適正な維持管理に努められたい。公金については、適正な管理・運用に努められたい。

個別目標① 効率的かつ円滑に業務が実施され、わかりやすい情報の提供により開かれた市政が行われている

指標名	情報公開制度に基づく不服申立て件数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・情報公開事業
目標値	件	—	0	0	0	
実績値		0	0	0		
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	82件(H23:30件、H24:34件、H25:18件)の情報公開請求をした。
市役所	文書不存在のため不開示とした7件(H23:2件、H24:3件、H25:2件)を除き、75件(H23:28件、H24:31件、H25:16件)の情報公開を行った。




指標名		個人情報漏洩件数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	0	0	0	・個人情報保護事業
実績値		0	0	0	0	
達成率		%	—	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	11件(H24:2件、H25:9件)の個人情報の開示請求をした。					
市役所	文書不存在のため不開示とした2件(H24:0件、H25:2件)を除き、9件(H24:2件、H25:7件)の情報開示を行った。					

指標名		電算化した業務数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	↑	↑	↑	・情報システム管理運営事業
実績値		54	58	58	58	
達成率		%	—	107.4	107.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民						
市役所	安定した電算システムの運用・保守に努めた。また、プライベートクラウドの導入に向けた準備を行い、平成25年度から運用を開始した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>情報公開制度及び個人情報保護制度については、これまでと同様に適正に運用する。社会保障・税番号制度に対応したシステム改修等を行い、制度の円滑な導入を図る。また、施設予約システムなどのオンラインシステム利用促進とクラウド化の推進を図る。</p>	




個別目標に対するまちづくり評価	
<p>情報公開制度及び個人情報保護制度については、より適正に運用するよう努められたい。また、電算システムについても、より安定した稼働に努められたい。</p>	

個別目標② 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている

指標名	普通財産に占める未利用地の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・市有財産管理事業
目標値	%	—	8.3	8.3	7.9	
実績値		9.2	11.0	7.3	6.8	
達成率		—	75.5	113.7	116.2	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地域で有効利用できる土地(普通財産)について、行政を窓口として地元管理で有効利用した。
市役所	未利用地について、売却するよう努めた結果、平成24年度に愛北病院跡地を売却することができた。また、平成24年度に取得した布袋交番予定地を平成26年度交番建設まで資材置場として有償貸付をした。

指標名	歳計現金の有利子運用の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・公金管理運用事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	
実績値		32.0	72.1	56.4	46.0	
達成率		—	225.3	176.3	143.8	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	
市役所	歳計現金(市の歳入・歳出に属する現金)の有利子運用について適正に資金需要を把握し、余裕金については安全性を重視し適切に運用を実施した。

目標達成のための今後の展開方針

市有財産を適正に管理するとともに、未利用地の有効活用を図る。
 物品等の入札について、電子入札へ切替えを図る。小規模契約希望者登録制度の利用促進を図る。
 本庁舎耐震補強等改修工事を引き続き実施する。
 歳計現金については、今後も短期による債券運用を実施していく。基金については、必要な時期に必要な額を取崩しできるよう、安全かつ有利な運用を実施する。
 また、庁用物品払出管理事業では、在庫管理と払出実績をもとに、適正な物品の購入に努めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

普通財産に占める未利用地の割合が減少するよう市有財産の有効活用をされたい。
 低金利が続く中、適切な運用に努められたい。

個別目標③ 各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている

指標名 市長・市議会議員選挙投票率【市長】						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	65.0	—	—	・選挙管理執行事業
実績値		60.2	52.4	—	—	
達成率		—	80.6	—	—	
達成状況	—	—		—	—	
取り組みの状況						
市民	政治・社会に関心をもち、市長選挙に参加した。					
市役所	市長選挙において、各種の啓発活動を実施した。					

指標名 市長・市議会議員選挙投票率【市議】						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	65.0	—	—	・選挙管理執行事業
実績値		60.2	52.4	—	—	
達成率		—	80.6	—	—	
達成状況	—	—		—	—	
取り組みの状況						
市民	政治・社会に関心をもち、市議会議員選挙に参加した。					
市役所	市議会議員選挙において、各種の啓発活動を実施した。					

指標名 決算審査における意見等指摘件数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	↓	↓	↓	・監査・審査・検査事業
実績値		6	7	7	5	
達成率		—	85.7	85.7	120.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民						
市役所	監査など適切に実施し、透明性の高い行政運営に向け、指摘にとどまらず指導に重点をおき、事務執行が適正に行われるようにした。技術的専門知識を必要とする工事監査では、専門的知識を有する者に委託し、その助言を得ながら実施するなど監査の充実を図った。					

目標達成のための今後の展開方針
 市長選挙・市議会議員選挙の前に県知事選挙及び県議会議員選挙が見込まれるため、これらの選挙機会も併せた地方選挙全体として、政治・社会に関心をもてるよう啓発を図る。
 グループ制を導入し、時間外勤務の縮減等の目的のために実施しているが、課内の協力体制がうまく機能していないため、効果の見込めるグループ制とするよう監査委員からの指摘があり、適切な体制による事務執行を促していく。さらに、今後、監査等を実施していくうえで、監査委員からの指摘件数が減少するよう、事務執行が適正かつ効率的に行われるよう求めていくことで、より一層の厳格な監査をめざす。

個別目標に対するまちづくり評価
 市長選挙・市議会議員選挙については、投票率が低下しないよう、啓発を引き続き推進されたい。
 今後、監査委員からの意見等指摘件数が減少するよう、指導の強化に努める必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

市有財産を適正に管理できた。また、情報公開制度及び個人情報保護制度については、適正に運用され、電算システムは安定稼動することができた。
歳計現金について、年間の収支状況を把握し、安全かつ有利な運用を図った。

◆柱全体の今後の課題

効率的かつ円滑な事務管理を推進するとともに、社会保障・税番号制度に対応した情報システムなど電子自治体の実現を図る。また、データセンターを活用し、プライベートクラウド運用による災害対策とセキュリティの向上を図る。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

政策法務などの専門知識をもった職員を育成し、情報公開を進めて、行政の透明性を高め、公平かつ適正な事務執行を徹底するとともに個人情報保護などの安全対策を図る。

まちづくり評価シート

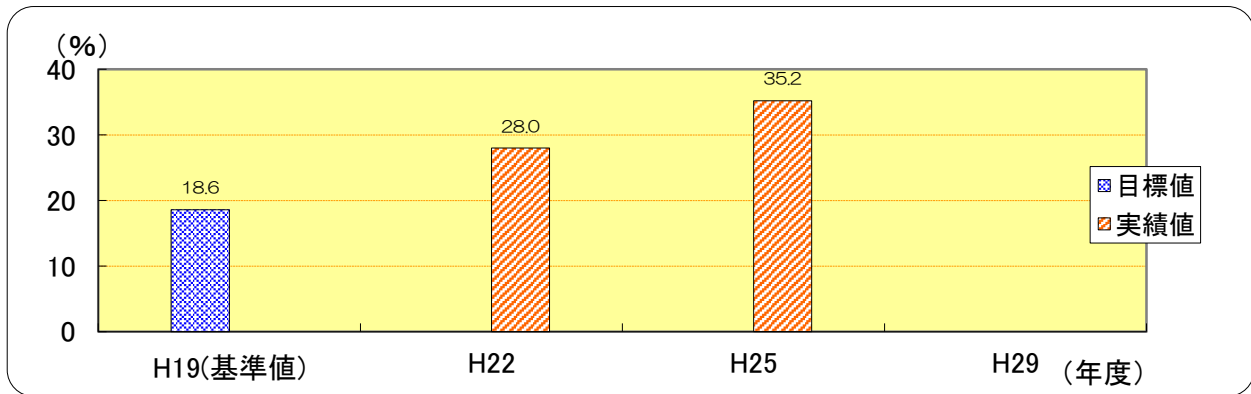
議会事務局【担う分野: V 経営、企画分野】

議事課【担う柱: 5 より開かれた適切な議会運営への支援】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている


指標名	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析 議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合は、平成19年度基準の18.6%から平成22年度は実績値28.0%、平成25年度実績値35.2%と順調に推移している。伸びた要因として、広報こうなんに「議会のように」として、定例会の審議結果、委員会の質疑・答弁等を4ページで掲載してきたが、議員ごとの一般質問の主な質問・答弁を加え、8ページとして内容を拡充したことや、一般質問の録画中継に加え、生中継を開始し、瞬時的な情報配信を行ったこと、また、市議会ホームページに市議会へのご意見入力フォームを設置し、提案や要望を直接議会へ提出する窓口を設けたことなどが寄与したものと考えられる。
目標値	%	—	↑	
実績値		18.6	35.2	
達成率	%	—	189.2	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

現在実施している、広報こうなんや市議会ホームページを利用した議会活動の紹介や、議員、会派での市政報告、市民からの意見聴取、市政相談などの議員活動は、今後もわかりやすく親しまれる議会運営のためには不可欠といえる。議会の内容を市民にわかりやすく伝えることは、市民に対する責務であり、より一層の議会の説明責任や透明性の確保が求められていることから、引き続き多様な媒体の活用による積極的な広報活動に努められたい。

個別目標① より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

指標名	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・議会広報事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	
実績値		18.6	—	—	35.2	
達成率		—	—	—	189.2	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	議会を傍聴した。 市議会ホームページで議会活動全般の情報を得た。また、議会に対する意見の提出等を行った。 会議録検索システムを活用し、本会議の会議録を閲覧した。 本会議一般質問について、録画中継及び生中継をインターネットで視聴した。 広報こうなんで定例会・臨時会の結果(一般質問での議員ごとの質問答弁、委員会での主な質疑答弁など)を知った。
市役所	広報こうなんに、本会議・委員会の審議内容を、市ホームページに議会活動全般の情報を掲載した。 本会議の様子を開会から閉会まで、本庁舎内で中継した。 本会議の会議録データを市議会ホームページの会議録検索システムに追加・更新した。 本会議一般質問について、録画中継及び生中継をインターネットで配信した。 一般質問の通告要旨をロビー及び市議会ホームページへ掲示した。

目標達成のための今後の展開方針

議会と議員の活動を明確化する議会基本条例の制定に伴い、開かれた議会の実現をめざす具体的な施策として、市民との意見交換会及び議会報告会を年2回以上実施することとしている。この機会に多くの市民が参加し、活発な意見交換が行われれば、より開かれた身近な議会に結びつく。

個別目標に対するまちづくり評価

議員の地域における継続的な活動や、議会事務局の議会広報活動などの努力は評価でき、それが市民満足度の結果に反映されたと考える。
議会基本条例で定めた議会の役割を踏まえ、開かれた議会をめざすとともに、市民からの意見が市政や議会活動に反映されるよう努められたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合は、平成19年度基準の18.6%から平成22年度は実績値28.0%、平成25年度実績値35.2%と順調に推移している。伸びた要因として、広報こうなんに「議会のようす」として、定例会の審議結果、委員会の質疑・答弁等を4ページで掲載してきたが、議員ごとの一般質問の主な質問・答弁を加え、8ページとして内容を拡充したことや、一般質問の録画中継に加え、生中継を開始し、瞬時的な情報配信を行ったこと、また、市議会ホームページに市議会へのご意見入力フォームを設置し、提案や要望を直接議会へ提出する窓口を新たに設けたことなどが寄与したものと考えられる。

◆柱全体の今後の課題

第29次地方制度調査会「今後の基礎自治体及び監査・議会制度のあり方に関する答申」では、議会活動の透明化の見直しを求めており、「本会議のみならず、委員会等の活動も含め、住民にわかりやすいような形で情報公開に努めるべきである。この点については、議案に対する議員の賛否等の議論の経過や議案の情報について、インターネット等も活用していくことが求められる」としている。

引き続き、会議録検索システム、議会映像配信、市議会ホームページ等の充実を図るとともに、インターネットのない環境も踏まえ、広報こうなん以外にもより多くの市民が情報を得られるよう多様な媒体の活用を図る必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

議会は、市民の負託を受けた議員による議会活動を市民に対し、説明する責務があり、その質疑内容や議決結果をインターネットや広報紙等で公開するのは効果的な手段であることからより一層の充実に努める。

新たな情報発信手段として、ソーシャルネットワーキングサービスを活用し、スマートフォンやモバイル端末の普及に即した即時性の高い広報活動を実施していく。

一方で、議会基本条例で定めた意見交換会及び議会報告会などの双方向的な手段を活用することで、議会と市民との距離を縮め、身近で親しみのある議会に結びつけていく。

卷末資料

- 1 成果目標一覧
- 2 江南市まちづくり会議の開催経緯
- 3 江南市まちづくり会議設置要綱
- 4 江南市まちづくり会議の構成
(委員名簿)
- 5 まちづくり評価シートの見方
- 6 達成率及び達成状況の算出方法

1. 成果目標一覧

- ※ 実績値が確定していない場合は、直近の値を参考値として表示
- ※ 目標値は中期計画時点の値を表示し、後期計画で目標値を見直した場合は()で付記
- ※ 戦略計画掲載指標には指標名に*を付記

I 生活環境、産業分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ	
					H22	H25	H29		
1 防災・地域防犯・交通安全	全体	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合*	%	45.1 (H19)	50.0	65.0	70.0	P-17	
					62.4	63.9	***		
	個別①	非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合*	%	14.4 (H18)	30.0	45.0	50.0		P-18
					41.4	43.6	***		
	個別①	防災用資機材助成の申請率*	%	83.8 (H18)	90.0	95.0	100.0	P-18	
					77.9	79.4	***		
	個別①	危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合*	%	25.4 (H19)	30.0	40.0	50.0	P-19	
					36.7	35.5	***		
	個別②	犯罪発生件数*	件	1,850 (H18)	1,600	1,410	1,160	P-19	
					1,621	1,245	***		
個別②	地域安全パトロール実施率*	%	59.2 (H18)	80.0	94.1	100.0	P-20		
				91.1	92.6	***			
個別③	交通事故発生件数(人身事故)*	件	698 (H18)	640	580	500	P-20		
				670	576	***			
2 消防・救急	全体	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合*	%	42.1 (H18)	45.0	69.5	73.5	P-21	
					66.5	65.7	***		
	個別①	消防団員(水防団員)の充足率*	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-22	
					100.0	100.0	***		
	個別①	消防水利の充足率*	%	82.2 (H18)	84.1	85.5	87.4	P-22	
					83.1	83.8	***		
	個別①	救急救命士有資格者数*	人	13 (H18)	16	21	22	P-22	
					18	23	***		
	個別①	救急救命士運用者数*	人	16 (H22)	16	19	19	P-22	
					16	20	***		
	個別②	防火管理者の選任率*	%	66.4 (H18)	73.1	85.1	86.9	P-23	
					84.7	86.9	***		
	個別②	危険物施設の立入検査改善施設指示率*	%	24.9 (H18)	20.0	15.0	0.0	P-23	
					14.3	***	***		
	個別②	住宅用火災警報器の設置率*	%	20.9 (H19)	50.0	60.0	70.0	P-24	
					59.6	67.7	***		
	個別③	応急手当講習の受講者数*	人	4,817 (H18)	5,300	5,600	6,100	P-24	
					5,577	5,338	***		
	個別③	薬剤投与救急救命士運用者数*	人	7 (H21)	11	16	19	P-25	
					12	19	***		
個別③	心拍再開率*	%	13.0 (H18)	17.0	27.0	30.0	P-25		
				24.6	21.4	***			
個別③	火災現場到着所要時間*	分	7.9 (H18)	7.7	7.5	7.3	P-26		
				7.6	7.6	***			
個別③	救急現場到着所要時間*	分	6.6 (H21)	6.5	6.4	6.3	P-26		
				6.5	6.4	***			

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
3 市民生活	全体	迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合 *	%	26.3 (H18)	40.0	60.0	80.0	P-27
					46.5	52.7	***	
		消費生活講座の受講者数 *	人	166 (H18)	200	230	240	P-28
					198	214	***	
	個別①	相談を受けて、悩みごとが解消した割合(消費者相談) *	%	75.0 (H19)	80.0	85.0	90.0	P-28
					70.0 (H21)	—	***	
	個別①	相談を受けて、悩みごとが解消した割合(弁護士などの専門家による相談) *	%	66.7 (H19)	70.0	75.0	80.0	P-28
					63.2 (H21)	—	***	
		消費生活相談の件数	件	67 (H19)	65	80	80	P-29
					65	93	***	
		弁護士などの専門家による相談の件数	件	576 (H19)	587	620	675	P-29
					587	654	***	
	個別②	戸籍訂正の件数 *	件	87 (H18)	80	60	50	P-29
					63	87	***	
		正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合 *	%	94.5 (H19)	95.0	96.0	97.0	P-30
					91.1	94.4	***	
	個別③	誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合 *	%	19.5 (H18)	25.0	30.0	35.0	P-30
					24.6	26.9	***	
	いこまいCAR(定期便)の利用率	人	0.73 (H20)	1.00	1.00	***	P-30	
				0.69	—	***		
	いこまいCAR(予約便)の利用便数	便	1,120 (H20)	1,850	3,750	5,600	P-30	
				3,350	4,980	***		
4 産業振興・雇用 就労	全体	生活産業が活性化し、住みよいまちであると感じる市民の割合 *	%	47.4 (H19)	48.0	49.0	50.0(51.0)	P-32
					45.8	50.7	***	
		市内に雇用の場があり、活力あふれるまちであると感じる市民の割合 *	%	16.6 (H19)	20.0	24.0	30.0(25.0)	P-32
					15.4	20.3	***	
	個別①	魅力ある商店街が形成されており、便利に買い物できると感じる市民の割合 *	%	21.8 (H18)	23.0	25.0	28.0	P-33
					23.8	26.1	***	
	個別①	商品販売額 *	億円	1,802 (H16)	1,802	1,802	1,802	P-33
					1,452 (H19)	***	***	
	個別①	製造品出荷額 *	億円	1,602 (H17)	1,602	1,602	1,602(1,200)	P-34
					1,149	1,243 (H24)	***	
		売上DI値 *	%	△19.4 (H18)	△16.0	△12.0	△8.0(△40.0)	P-34
					△49.1	△48.2	***	
	個別②	コミュニティビジネスを展開している事業所数 *	所	不明 (H19)	▲	▲	▲	P-35
					***	***	***	
		起業家からの相談件数 *	件	0 (H18)	10	20	30	P-35
					2	8	***	
	個別③	職業紹介による就職者数 *	人	258 (H18)	350	890	900	P-36
					870	748	***	
個別③	地域に雇用の場が確保され、十分な状態であると感じる市民の割合 *	%	7.2 (H18)	10.0	15.0	20.0(15.0)	P-36	
				8.3	10.2	***		
	すいとびあ江南利用者数 *	人	146,263 (H18)	160,000	174,000	188,000	P-36	
				144,117	142,381	***		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ	
					H22	H25	H29		
	個別④	畑地かんがい用水などの修理件数 *	件	255 (H18)	240 138	240 174	240 ***	P-37	
		認定農業者数 *	人	45 (H18)	50 42	53 31	57(31) ***		
		耕作放棄地の面積 *	ha	208 (H17)	190 217	170 193	150(190) ***		
		市民菜園の面積 *	m ²	39,427 (H22)	39,427 39,427	39,827 41,132	40,227 (41,132) ***		
		個別⑤	JA出荷額 *	千円	312,000 (H18)	312,000 263,000	312,000 233,000	312,000 (270,000) ***	P-38
			多くの観光客で賑わい、観光の振興が十分な状態であると感じる市民の割合 *	%	27.3 (H18)	28.0 32.3	33.0 38.8	34.0(40.0) ***	
		個別⑤	観光客数 *	人	931,000 (H18)	937,000 1,331,861	1,340,000 1,450,000	1,347,000 ***	P-39
			イベントボランティア参加者数 *	人	440 (H18)	480 330	500 267	550 ***	
	5 環境保全	全体	日ごろから省エネや省資源など環境に配慮して生活している市民の割合 *	%	49.3 (H18)	51.7 77.8	80.0 76.7	82.0 ***	P-41
			水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合 *	%	51.5 (H18)	52.6 60.6	63.0 66.5	65.0(68.0) ***	
		個別①	環境保全活動を行っている市民の割合 *	%	64.1 (H19)	66.0 54.4	68.0 51.4	70.0 ***	P-42
			市民1人当たりの二酸化炭素排出量(炭素換算) *	t.c/ 人・年	1.60 (H17)	1.32 1.51	1.32 1.53 (H24)	1.32 ***	
		個別②	合併処理浄化槽設置数 *	基	4,200 (H18)	5,600 5,590	6,700 6,849	8,100 ***	P-43
			公害苦情件数 *	件	310 (H18)	263 489	244 369	218 ***	
		個別②	河川水質の環境基準達成項目数<PH(水素イオン濃度)BOD(生物化学的酸素要求量)SS(浮遊物質)DO(溶存酸素量)> *	項目	木曾川 全項目 日光川 3項目 (H18)	全項目 全項目	全項目 全項目	全項目 ***	P-44
			大気中の窒素酸化物の量 *	ppm	二酸化窒素0.027 (H18)	→ 0.027	→ 0.025 (H24)	→ ***	
6 ごみ減量・処理		全体	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合 *	%	64.0 (H18)	66.0 75.8	78.0 71.8	80.0 ***	P-46
			市民1人1日当たりの家庭系可燃ごみ排出量 *	g	419 (H18)	396 402	394 397	394 ***	
		個別①	1事業所1年当たりの事業系可燃ごみ排出量 *	t	9.4 (H18)	7.5 8.4	7.4 7.8	7.4 ***	P-47
			リサイクル率 *	%	33.6 (H18)	35.0 32.4	36.0 28.9 (H24)	36.0 ***	
		個別②	ボランティア分別指導員の数 *	人	136 (H18)	246 215	336 309	456 ***	P-48
			特定家庭用機器などの不法投棄台数 *	台	60 (H18)	56 18	33 16	30(25) ***	
		個別②	ごみ・し尿を速やかに収集、処理することで、衛生的に暮らしていると感じる市民の割合 *	%	82.2 (H19)	83.3 83.4	84.5 85.9	86.0 ***	

II 健康、福祉分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 高齢者福祉	全体	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると 感じる市民の割合 *	%	21.2 (H18)	30.0	40.0	50.0	P-51
					38.1	41.4	***	
	個別①	高齢者人口に占める要介護者の割合 *	%	13.0 (H18)	15.0	16.3	17.6(14.2)	
					12.6	12.9	***	
	個別②	介護保険サービスを利用している割合 *	%	77.2 (H18)	80.0	82.0	85.0	P-52
					80.3	80.7	***	
個別③	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実 していると感じる市民の割合 *	%	28.5 (H19)	30.0	40.0	50.0	P-53	
				34.5	38.9	***		
個別④	シルバー人材センターの登録者数 *	人	491 (H18)	631	721	811(467)		
				372	359	***		
個別⑤	老人クラブの会員数 *	人	6,866 (H19)	8,302	8,651	9,000(5,400)		
				5,938	5,322	***		
2 子育て	全体	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子 育てしていると感じる市民の割合 *	%	18.8 (H18)	25.0	40.0	50.0	P-55
					38.0	41.6	***	
	個別①	児童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支 援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割 合 *	%	17.0 (H18)	25.0	40.0	50.0	
					36.4	39.9	***	
	個別②	保育園入園待機児童数 *	人	0 (H18)	0	0	0	P-56
					0	0	***	
					0	0	***	
	個別③	ファミリー・サポート・センター援助員数 *	人	85 (H18)	100	150	200	
					108	123	***	
					0	0	0	
	個別④	児童保育受入待機児童数 *	人	0 (H18)	0	0	0	
					0	0	***	
					0	0	***	
	個別⑤	子育て支援センター(子育てサロン)の延べ利用者 数 *	人	7,632 (H18)	8,700	10,500	11,000 (12,500)	P-57
					11,927	12,389	***	
	個別⑥	児童虐待発生件数 *	件	6 (H18)	↙	↙	↙	
					27	41	***	
	個別⑦	児童館活動への延べ参加利用者数 *	人	132,393 (H18)	140,000	140,000	140,000	P-58
					112,944	123,917	***	
	個別⑧	子どもフェスティバル来場者数 *	人	20,000 (H18)	30,000	30,000	30,000	
12,000					27,000	***		
個別⑨	ひとり親家庭の自立人数 *	人	83 (H18)	90	90	90(98)	P-59	
				89	92	***		
個別⑩	母子家庭が自立するための就労への教育支援件 数 *	件	6 (H18)	20	30	40		
				1	4	***		
個別⑪	市の母子通園施設への受入待機児童数 *	人	0 (H18)	0	0	0	P-60	
				0	0	***		
個別⑫	保育園の障害児受入待機児童数 *	人	0 (H18)	0	0	0		
				0	0	***		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
3 障害者福祉	全体	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合 *	%	20.8 (H18)	31.3	39.3	50.0	P-62
					33.9	41.7	***	
	個別①	障害者の雇用率 *	%	1.46 (H18)	1.80	1.80	1.80(2.00)	P-63
					1.56	1.53	***	
	個別②	公共施設のバリアフリー化率 *	%	60.1 (H18)	↗	↗	↗	P-63
					69.8	69.8	***	
	個別②	就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数 *	人	不明 (H18)	73	97	121	P-64
					21	101	***	
	個別②	施設入所支援サービスの利用人数 *	人	94 (H18)	87	87	87	P-64
					92	94	***	
個別②	訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数 *	人	77 (H18)	89	94	100	P-64	
				67	83	***		
4 健康づくり	全体	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合 *	%	72.4 (H19)	75.0	77.5	80.0	P-66
					73.1	73.1	***	
	個別①	健康診査受診率 *	%	67.7 (H19)	70.0	72.5	75.0	P-67
					65.5	67.4	***	
	個別①	運動習慣のある市民の割合 *	%	男 16.4 女 14.0 (H14)	男 27.0 女 24.0	男 32.0 女 29.0	男 37.0 女 34.0	P-67
					-	男 26.0 女 19.7 (H23)	***	
	個別②	健康フェスティバル参加者数 *	人	1,600 (H18)	2,000	3,500	3,500(3,700)	P-68
					3,332	3,660	***	
	個別②	予防接種(四種混合)接種率 *	%	89.4 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-68
					100.0	99.7	***	
	個別②	予防接種(BCG)接種率 *	%	98.1 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-68
					99.6	98.8	***	
	個別②	狂犬病予防注射接種率 *	%	83.6 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-68
					84.4	81.0	***	
	個別③	妊婦健康診査の受診率 *	%	95.3 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-69
					95.4	93.4	***	
	個別③	乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率 *	%	98.5 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-69
					97.8	99.6	***	
	個別④	かかりつけ医をもっている市民の割合 *	%	56.2 (H19)	60.0	65.0	70.0	P-70
					56.8	62.5	***	
個別④	病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合 *	%	49.3 (H18)	53.0	73.0	75.0(78.0)	P-70	
				71.7	77.3	***		
個別④	休日急病診療所の受診者数 *	人	2,138 (H20)	2,200	2,200	2,200	P-71	
				2,197	2,172	***		
個別④	救急搬送件数 *	件	4,000 (H20)	4,000	4,000	4,000	P-71	
				4,399	4,687	***		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
5 保険年金	全体	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合 *	%	56.1 (H18)	60.0	65.0	65.0(75.0)	P-72
					60.0	70.8	***	
	個別①	国民健康保険給付実施率 *	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-73
					100.0	100.0	***	
		特定健康診査実施率 *	%	-	50.0	50.0	65.0(60.0)	P-74
					46.2	46.1	***	
		福祉医療費助成実施率 *	%	100.0 (H18)	100.0	100.0	100.0	P-74
					100.0	100.0	***	
	後期高齢者医療給付実施率 *	%	-	100.0	100.0	100.0	P-74	
				100.0	100.0	***		
	国民健康保険税収納率(現年分)	%	91.7 (H18)	↗	↗	↗	P-74	
90.1				91.2	***			
後期高齢者医療保険料納付率	%	98.9 (H20)	↗	↗	↗	P-74		
			99.1	99.3	***			
個別② 国民年金保険料納付率 *	%	69.4 (H18)	↗	↗	↗	P-75		
			62.9	65.9	***			
6 生活支援・福祉活動	全体	必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合 *	%	33.4 (H19)	38.4	43.4	50.0	P-76
					40.4	43.6	***	
	個別① 生活保護世帯の自立した割合 *	%	13.5 (H18)	→	→	→	P-76	
				19.2	10.6	***		
	個別② 社会福祉関係の団体数、参加人数 *	団体人	19 760 (H18)	21 790	25 800	25 800(1,000)	P-77	
				23 826	23 899	***		
	個別② 市内の福祉関係のNPO団体数 *	団体	3 (H18)	5	6	8	P-78	
				6	7	***		
	個別③ 民生委員の相談支援件数 *	件	2,103 (H18)	↗	↗	↗	P-78	
				2,193	3,217	***		
	個別④ 市の学習等供用施設の利用者数 *	人	121,286 (H18)	125,000	135,000	135,000	P-79	
128,762				117,924	***			

Ⅲ 都市生活基盤分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ	
					H22	H25	H29		
1 市街地整備	全体	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合 *	%	21.3 (H18)	26.0	37.0	40.0	P-81	
					36.7	37.5	***		
	個別①	都市計画道路の整備率 *	%	64.5 (H18)	65.1	65.7	71.7	P-82	
					65.8	66.8	***		
	個別②	駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合 *	%	8.8 (H18)	13.0	16.0	20.0	P-82	
					15.0	18.1	***		
	個別②	江南駅・布袋駅の1日乗降客数 *	人	33,800 (H17)	33,800	34,200	34,600	P-83	
					32,566	34,273	***		
	個別②	江南駅前広場を通過する車両の台数 *	台	8,800 (H17)	6,000	5,000	4,000	P-83	
					6,544 (H21)	-	***		
個別③	土地区画整理事業の移転件数 *	件	106 (H18)	183	183	-	P-84		
				179	183	-			
個別③	土地区画整理事業の進捗率 *	%	85.4 (H21)	86.6	96.5	-(93.4)	P-84		
				88.4	92.8	***			
2 道路	全体	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合 *	%	35.5 (H18)	40.0	45.0	50.0	P-85	
					40.4	41.4	***		
	個別①	市道のアダプト制度の登録者数 *	人	175 (H18)	583	1,166	1,750(940)	P-86	
					329	544	***		
	個別②	主要市道の歩道整備率 *	%	65.1 (H18)	69.0	72.0	75.0	P-86	
					66.7	67.5	***		
	個別②	舗装整備率 *	%	89.1 (H18)	91.0	93.0	95.0	P-86	
					91.7	86.0	***		
	個別③	道路案内標識設置数 *	基	55 (H18)	75	90	110	P-86	
					57	85	***		
3 公園緑地	全体	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合 *	%	27.9 (H18)	42.1	49.2	56.2	P-88	
					46.1	49.9	***		
	個別①	市民1人当たりの都市公園面積 *	㎡	2.52 (H18)	3.20	5.00	7.00	P-89	
					3.65	3.77	***		
	個別②	花いっぱい運動実施箇所数 *	箇所	25 (H18)	27	33	34	P-89	
					32	34	***		
	個別③	地域で管理されている公園緑地などの数 *	箇所	28 (H18)	30	34	35	P-90	
					33	35	***		
	4 下水道	全体	下水道普及率 *	%	18.5 (H18)	20.3	23.1	27.2(34.2)	P-91
						21.6	25.0	***	
個別①		下水道使用料の収納率(現年度) *	%	98.9 (H18)	↗	↗	↗	P-92	
					99.0	99.3	***		
個別①		受益者負担金の収納率(現年度) *	%	98.8 (H18)	↗	↗	↗	P-92	
					97.8	99.2	***		
個別②		認可区域内の整備率 *	%	66.3 (H18)	79.0	90.1	95.7	P-93	
					80.2	90.1	***		
個別②		供用開始区域内の接続率 *	%	67.3 (H18)	83.0	89.0	93.0	P-93	
					80.4	84.6	***		

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ
					H22	H25	H29	
5 治水	全体	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合 *	%	46.2 (H18)	53.0	64.0	66.7	P-94
					61.9	53.7	***	
	個別①	準用河川般若川改修率 *	%	86.0 (H18)	92.0	100.0	100.0	
					92.0	92.0	***	
	個別②	雨水浸透柵設置率 *	%	12.2 (H18)	21.0	26.0	33.0	P-95
					7.0	1.0	***	
雨水浸透柵設置数		基	115 (H21)	115	170	115		
				103	10	***		
雨水貯留浸透施設設置費補助金申請件数	件	52 (H22)	70	200	200			
			52	221	***			
6 住環境	全体	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合 *	%	47.9 (H18)	50.0	63.0	65.0	P-97
					61.3	59.3	***	
	個別①	開発許可や建築許可に対する指導件数 *	件	265 (H18)	260	260	260	
					259	284	***	
	個別②	民間での建築確認割合 *	%	84.4 (H18)	90.0	93.0	95.0(97.0)	P-98
					94.9	97.0	***	
	個別③	耐震診断の診断実施済棟数 *	棟	798 (H18)	2,500	3,000	4,000	
					2,018	2,448	***	
	個別④	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数 *	戸	153 (H18)	153	153	153	P-99
153					153	***		
7 上水道	全体	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合 *	%	78.8 (H18)	80.0	87.0	90.0	P-100
					86.4	87.8	***	
	個別①	水道料金の収納率(現年度) *	%	98.4 (H18)	↗	↗	↗	
					99.1	99.5	***	
	個別②	総収支比率 *	%	109.7 (H18)	106.2	106.2	106.2	P-101
					116.0	105.9	***	
	個別③	水道普及率 *	%	88.8 (H18)	89.2	89.2	91.8(93.5)	
					89.5	90.4	***	
	個別④	配水管改良整備率 *	%	72.1 (H18)	77.8	81.9	86.9(83.9)	P-102
					77.7	82.2	***	
個別⑤		地下水の許可揚水量活用率 *	%	93.8 (H18)	98.0	98.0	98.0	
					91.5	92.1	***	
個別⑥	有収率 *	%	91.4 (H18)	92.5	93.0	94.0(94.2)		
				94.1	94.4	***		

IV 教育分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
1 学校教育	全体	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身についていると感じる市民の割合 *	%	18.3 (H18)	20.1	39.4	41.3	P-105
					37.6	39.1	***	
	個別①	学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合 *	%	85.0 (H18)	90.0	95.0	100.0	P-106
					81.5	85.0	***	
	個別②	特別支援学級等支援職員配置人数 *	人	8 (H19)	10	15	20	P-107
					14	17	***	
	個別②	地域の人にあいさつする児童・生徒の割合 *	%	80.2 (H18)	87.0	94.0	100.0	P-107
					79.2	86.5	***	
					300	330	360	
	個別②	職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数 *	事業所	273 (H18)	309	343	***	P-107
					69.5 (H18)	79.0	89.0	
	個別②	地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合 *	%	69.5 (H18)	82.4	81.1	***	P-107
					98.0	99.0	99.5	
	個別③	学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合 *	%	小学校 98.3 中学校 95.7 (H18)	小学校 89.1 中学校 77.6	小学校 91.6 中学校 86.1	***	P-108
					小学校 0.0 中学校 3.0	小学校 0.0 中学校 2.0	小学校 0.0 中学校 1.0	
		朝食を食べない日がある児童・生徒の割合 *	%	小学校 7.3 中学校 13.8 (H18)	小学校 9.0 中学校 15.2	小学校 8.1 中学校 13.6	***	P-109
20.0 (H18)					35.0	35.0	35.0(45.0)	
個別③	学校給食における地場産物の割合 *	%	20.0 (H18)	28.5	37.5	***	P-109	
				28.3 (H18)	31.1	49.7		52.5
個別④	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合 *	%	28.3 (H18)	46.8	45.4	***	P-110	
				61.8 (H18)	72.7	100.0		100.0
個別④	学校施設の耐震化率 *	%	61.8 (H18)	96.4	100.0	***	P-110	
				31.6	40.2	42.2(51.3)		
2 教育環境	全体	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合 *	%	30.1 (H19)	38.7	49.3	***	P-112
					36.5	38.0	40.0(45.0)	
	個別①	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合 *	%	35.0 (H19)	35.9	43.0	***	P-112
					小学校 0.3 中学校 2.7	小学校 0.2 中学校 2.0	小学校 0.1 中学校 1.5	
	個別②	不登校の児童・生徒数の割合 *	%	小学校 0.5 中学校 4.5 (H18)	小学校 0.5 中学校 3.8	小学校 0.7 中学校 3.5	***	P-113
					51.5 (H19)	53.0	54.5	
	個別②	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合 *	%	51.5 (H19)	50.6	56.5	***	P-114
					31.1	49.7	52.5	

柱	目標 番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載 ページ	
					H22	H25	H29		
3 生涯学習	全体	生涯学習活動に参加している市民の割合 *	%	19.9 (H19)	21.4	22.9	24.9	P-115	
					16.6	17.1	***		
		生涯学習講師人材バンク登録者数 *	人	126 (H18)	150	165	185		P-116
					139	139	***		
	個別①	愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数 *	人	2,011 (H18)	2,100	2,190	2,310		P-117
					1,561	1,546	***		
		1人当たりの図書等の貸出点数 *	冊	3.3 (H18)	4.2	5.1	6.4	P-118	
					3.9	4.0	***		
	個別②	屋内のスポーツ施設の稼働率 *	%	84.1 (H18)	85.0	85.0	85.0(90.0)	P-117	
					90.6	88.4	***		
		屋外のスポーツ施設の稼働率 *	%	29.7 (H18)	33.0	36.3	39.6		
					36.6	37.7	***		
		コミュニティ・スポーツ祭の参加者数	人	5,289 (H18)	5,800	7,000	7,000		
					6,363	5,995	***		
	個別③	審議会などにおける女性委員の登用率 *	%	18.4 (H18)	25.0	30.0	35.0(30.0)		
26.1					27.7	***			
	男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合 *	%	60.5 (H17)	70.0	70.0	70.0(90.0)			
				88.3	63.7	***			
4 文化・交流	全体	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合 *	%	21.5 (H19)	24.5	27.5	31.5	P-120	
					20.8	27.5	***		
		文化芸術活動を行っている市民の割合 *	%	1.3 (H18)	1.4	1.5	1.7		
					1.1	1.1	***		
	個別①	市民文化会館の稼働率 *	%	47.8 (H18)	50.8	53.8	57.8	P-121	
					46.8	49.5	***		
		美術展出品者数 *	人	224 (H21)	235	260	300		
					235	208	***		
	個別②	指定登録文化財の数 *	件	国 5 県 9 市 92 登録 2 (H18)	国 5 県 9 市 92 登録 3	国 5 県 9 市 92 登録 3	国 5 県 9 市 92(94) 登録 3	P-122	
					国 5 県 9 市 94 登録 3	***	***	P-123	
	文化財普及事業への参加者数 *	人	5,647 (H18)	5,800	12,000	6,150 (12,000)			
				10,694	11,137	***			
4 文化・交流	個別③	江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数 *	人	220 (H18)	280	360	500	P-124	
					370	475	***		
		江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数 *	人	1,800 (H18)	2,000	5,600	5,700(6,500)		
					6,870	5,974	***		
		世界平和を願うパネル展の来場者数 *	人	1,198 (H18)	1,300	1,400	1,500		
903	1,480				***				

V 経営、企画分野

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ	
					H22	H25	H29		
1 地域経営	全体	ボランティア活動や地域活動への参加意思のある人の割合 *	%	46.6 (H18)	55.0	63.0	70.0	P-127	
					38.2	39.4	***		
	個別①	ボランティア団体及びNPOの数 *	団体	105 (H18)	150	175	200		P-128
					139	146	***		
	個別①	アダプト制度の登録割合 *	%	0.67 (H18)	2.00	4.00	6.00(1.50)	P-129	
					0.44	0.81	***		
	個別②	認可された地縁団体の組織数 *	団体	33 (H18)	41	48	55		P-130
					37	39	***		
	個別②	公募型協働支援補助事業採択団体数	団体	-	10	10	10	P-129	
					4	4	***		
	個別②	市ホームページのアクセス件数 *	件	309,105 (H18)	340,000	580,000	900,000		P-132
					585,824	565,334	***		
個別②	広報を読んでいる市民の割合 *	%	86.3 (H19)	88.0	89.0	90.0	P-133		
				83.4	82.3	***			
個別②	「市長への手紙」の投書件数 *	件	268 (H18)	400	450	500		P-134	
				317	239	***			
2 行政経営	全体	基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率 *	%	-	100.0	100.0	100.0		P-132
					115.3	99.9	***		
	個別①	基本計画に掲げられた個別目標の平均達成率 *	%	-	100.0	100.0	100.0	P-133	
					100.5	94.7	***		
	個別①	事務事業が改善された割合 *	%	65.2 (H18)	100.0	100.0	100.0		P-134
					85.2	94.8	***		
	個別①	江南市戦略計画に関する住民説明会の参加人数 *	人	1,456 (H17)	1,600	1,800	2,000	P-135	
					1,241	715	***		
	個別①	広域行政事業数 *	事業	8 (H18)	10	12	13		P-136
					10	8	***		
	個別②	マネジメント・グループ制が適切に機能していると感じる組織の数	課	8 (H20)	23	19	23	P-135	
					12	11	***		
	個別②	経常収支比率(単年度) *	%	86.0 (H18)	83.0	80.0	75.0		P-136
					82.2	84.9	***		
	個別②	実質公債費比率(前3年度平均) *	%	10.1 (H18)	10.0	7.0	7.0	P-137	
					5.9	4.7	***		
	個別②	財政力指数(単年度) *	-	0.91 (H19)	0.92	0.95	1.00(0.90)		P-138
					0.82	0.81	***		
個別②	政策形成とマネジメント能力をもった職員を育てる研修などの職員1人当たり平均受講回数 *	回	0.9 (H18)	1.0	1.0	1.0(1.6)	P-139		
				0.8	4.33	***			
個別②	自己啓発をしている職員の割合 *	%	33.6 (H18)	40.0	50.0	60.0		P-140	
				46.4	49.8	***			
個別②	成果目標を意識して、仕事に取り組んだり、業務の改善を心がけている職員の割合 *	%	69.0 (H18)	80.0	90.0	100.0	P-141		
				72.7	75.9	***			

柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			掲載ページ
					H22	H25	H29	
3 課税・収納	全体	税が公平・適正に課税・収納されていると感じている市民の割合 *	%	37.0 (H19)	40.0	50.0	60.0	P-138
					37.4	53.1	***	
	個別①	返戻納付書の件数 *	件	10 (H19)	4	2	0	P-139
					11	12	***	
個別②	収納率(市税現年度課税分) *	%	98.4 (H18)	↗	↗	↗	P-140	
				98.0	98.4	***		
	口座振替加入率 *	%	35.2 (H18)	36.0	38.0	40.0		
				35.7	37.9	***		
4 行政事務管理	全体	市役所の事務が、効率的かつ適切に行われていると感じる市民の割合 *	%	53.5 (H19)	60.0	65.0	70.0	P-142
					54.2	60.8	***	
	個別①	情報公開制度に基づく不服申立て件数 *	件	0 (H18)	0	0	0	P-143
					0	0	***	
	個別①	個人情報の漏洩件数 *	件	0 (H18)	0	0	0	P-143
					0	0	***	
	個別②	電算化した業務数 *	件	54 (H18)	↗	↗	↗	P-144
					60	58	***	
	個別②	普通財産に占める未利用地の割合 *	%	9.2 (H18)	8.3	7.9	7.9 ^(6.8)	P-144
					11.0	6.8	***	
個別②	歳計現金の有利子運用の割合 *	%	32.0 (H18)	↗	↗	↗	P-145	
				70	46	***		
個別③	市長・市議会議員選挙投票率 *	%	市長 60.2 市議 60.2 (H19)	-	市長 65.0 市議 65.0 (H23)	市長 65.0 市議 65.0 (H27)	P-145	
				-	市長 52.4 市議 52.4 (H23)	***		
個別③	決算審査における意見等指摘件数 *	件	6 (H18)	↘	↘	↘	P-147	
				10	5	***		
5 議会運営への支援	全体	議会活動が市民にわかりやすく説明されていると感じる市民の割合 *	%	18.6 (H19)	↗	↗	↗	P-147
					28.0	35.2	***	

(参考) ニーズ変化や取り組みの実態等を踏まえ後期計画において変更する指標

■ 追加

分野-柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値		
					H22	H25	H29
I-2 消防・救急	個別②	優良危険物施設率 *	%	91.3 (H22)	-	95.0	100.0
					91.3	90.2 (H24)	***
I-3 市民生活	個別①	消費生活相談の件数 *	件	67 (H19)	65	80	80
					65	93	***
I-3 産業振興・雇用就労	個別②	弁護士などの専門家による相談の件数 *	件	576 (H19)	587	620	675
					587	654	***
I-3 産業振興・雇用就労	個別②	創業支援セミナーへの参加者数 *	人	22 (H24)	-	30	30
					-	30	***
II-3 障害者福祉	個別②	基幹相談支援センターへの相談件数 *	人	*** (H25)	-	***	1,200
					-	***	***
II-3 障害者福祉	個別②	社会福祉法人への指導監査における不適正な運営指摘件数 *	件	*** (H25)	-	***	0
					-	***	***

分野一柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値		
					H22	H25	H29
Ⅲ-4 下水道	個別②	市街化区域内の整備率 *	%	39.8 (H19)	45.8	52.9	72.6
					45.8	50.5 (H24)	***
Ⅲ-5 治水	個別①	雨水貯留浸透施設設置費補助金申請件数 *	件	52 (H22)	70	200	200
					52	221	***
Ⅳ-1 学校教育	個別③	登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合 *	%	小学校 92.7 中学校 86.2 (H18)	小学校 100.0 中学校 97.0	小学校 100.0 中学校 98.0	小学校 100.0 中学校 99.0
					小学校 91.0 中学校 84.8	小学校 97.3 中学校 94.3	***
Ⅳ-3 生涯学習	個別③	男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野(家庭、地域、職場)で活躍できていると感じる市民の割合 *	%	30.8 (H22)	30.8	45.0	48.0
					30.8	43.5	***
Ⅴ-2 行政経営	全体	江南市第二次経営改革プラン(江南市第七次行政改革大綱)の進捗状況 *	%	-	-	-	100.0
	個別①	政策会議に付議した案件数 *	件	31 (H24)	-	↑	↑
					-	21	***

■ 削除

分野一柱	目標番号	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値		
					H22	H25	H29
Ⅰ-2 消防・救急	個別②	危険物施設の立入検査改善施設指示率 *	%	24.9 (H18)	20.0	15.0	0.0
					16.4 (H21)	***	***
Ⅰ-3 市民生活	個別①	相談を受けて、悩みごとが解消した割合(消費者相談) *	%	75.0 (H19)	80.0	85.0	90.0
					70.0 (H21)	***	***
	個別②	相談を受けて、悩みごとが解消した割合(弁護士などの専門家による相談) *	%	66.7 (H19)	70.0	75.0	80.0
					63.2 (H21)	***	***
個別③	いこまいCAR(定期便)の利用率	人	0.73 (H20)	1.00	1.00	***	
					0.69	-	***
Ⅰ-3 産業振興・雇用就労	個別②	コミュニティビジネスを展開している事業所数 *	所	不明 (H19)	↑	↑	↑
		***	***	***			
		起業家からの相談件数 *	件	0 (H18)	10	20	30
					2 (H21)	***	***
Ⅲ-4 下水道	個別②	認可区域内の整備率 *	%	66.3 (H18)	79.0	90.1	95.7
					80.2	90.1	***
Ⅲ-5 治水	個別①	雨水浸透柵設置率 *	%	12.2 (H18)	21.0	26.0	33.0
					7.0	1.0	***
Ⅳ-1 学校教育	個別③	朝食を食べない日がある児童・生徒の割合 *	%	小学校 7.3 中学校 13.8 (H18)	小学校 0.0 中学校 3.0	小学校 0.0 中学校 2.0	小学校 0.0 中学校 1.0
					小学校 9.0 中学校 15.2	小学校 8.1 中学校 13.6	***

2 江南市まちづくり会議の開催経緯

年度	月 日	項 目
平成24年度	10月19日 ～ 11月12日	<p>(分野別会議)</p> <p>平成23年度施策評価結果について説明し、意見交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活環境、産業分野(10/19,10/24,11/7) ○ 健康、福祉分野(10/19,10/26) ○ 都市生活基盤分野(10/19,11/12) ○ 教育分野(10/19,10/26,11/5) ○ 経営、企画分野(10/19,11/5)
	12月27日	<p>【全体会議】</p> <p>「平成23年度施策評価結果」について、分野別会議で意見交換した内容を説明し、分野を横断した課題について意見交換を行いました。また、平成25年度に開催する住民説明会の開催方法などについて検討しました。</p>
平成25年度	10月2日 ～ 10月30日	<p>(分野別会議)</p> <p>まちづくり評価及び戦略計画見直しの内容について説明し、意見交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活環境、産業分野 (10/2、10/16、10/30) ○ 健康、福祉分野 (10/2、10/21) ○ 都市生活基盤分野 (10/2、10/21) ○ 教育分野 (10/2、10/16) ○ 経営、企画分野 (10/2、10/21)
	11月18日	<p>【全体会議】</p> <p>分野別会議で検討された「まちづくり評価及び戦略計画の見直し」の結果について説明し、意見交換を行いました。</p>
	1月26日 ～ 2月1日	<p>戦略計画に関する住民説明会を市民文化会館など、市内4会場で開催し、江南市まちづくり会議の各分野の分科会長より、各分野の成果と課題について報告をしました。</p>

年度	月 日	項 目
平成26年度	10月20日 ～ 11月12日	<p>(分野別会議)</p> <p>達成状況報告書の内容について説明し、意見交換を行い、報告書をまとめました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活環境、産業分野(10/20,10/30,11/10) ○ 健康、福祉分野(10/20,11/12) ○ 都市生活基盤分野(10/20) ○ 教育分野(10/20,10/24) ○ 経営、企画分野(10/20,10/28)
	12月24日	<p>【全体会議】</p> <p>分野別会議で検討された「達成状況報告書」の内容について説明し、意見交換を行い、報告書をまとめました。</p>



住民説明会の様子

3 江南市まちづくり会議設置要綱

(目的)

第1条 市民と市役所が協働で江南市戦略計画（以下「計画」という。）に基づくまちづくりの進捗状況を検証し、計画に掲げられた市民の役割を推進するための啓発を行い、計画の見直しを検討するため、江南市まちづくり会議（以下「会議」という。）を置く。

(組織)

第2条 会議は、全体会議及び分野別会議により構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 平成24年4月1日現在において満18歳以上の者で、市内に在住、在勤又は在学している者であって公募に応じた者
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 学識経験者
- (4) 課長及びこれに相当する職の市職員

3 委員の任期は、委嘱の日から4年以内とし、再任を妨げない。

(全体会議)

第3条 全体会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 計画に基づくまちづくりの評価のとりまとめ
- (2) 計画の達成状況報告書の作成
- (3) 計画の市民の取り組みの意見交換

2 全体会議は次に掲げる者をもって組織し、定員を17人以内とする。

- (1) 次条に定める各分科会の会長、副会長及び市職員の代表者
- (2) 学識経験者

3 全体会議に議長及び副議長各1人を置き、委員の互選により選出する。

4 議長は、全体会議を代表し、会務を総理する。

5 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるとき又は議長が欠けたときは、その職務を代理する。

(分野別会議)

第4条 分野別会議は次に掲げる分科会をもって構成し、各分科会の定員を17人以内とする。

- (1) 第1分科会（生活環境、産業分野）
- (2) 第2分科会（健康、福祉分野）

(3) 第3分科会(都市生活基盤分野)

(4) 第4分科会(教育分野)

(5) 第5分科会(経営、企画分野)

2 分野別会議は、第2条第2項の会議の委員で組織する。

3 分野別会議の所掌事務は、次のとおりとする。

(1) 各分野における計画の目標達成度の評価

(2) 各分野における計画の市民の取り組みの意見交換

4 各分科会に会長及び副会長を各1人置き、委員の互選により選出する。

5 会長は、分科会を総理し、会議の議長となる。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(庶務)

第5条 会議の庶務は、総務部行政経営課において処理する。

(雑則)

第6条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

4 江南市まちづくり会議の構成（委員名簿）

（平成26年10月20日現在）

I 生活環境、産業分野

区分	氏名
公	後藤 俊夫
公	藤田 泰雄
公	◎ 宮川 秀男
公	望月 晴夫
団	安藤 哲子
団	○ 岩井 喜美子
団	前田 哲郎
団	松本 千賀子
職	山田 順一
職	米田 隆彦
職	大岩 直文
職	石川 晶崇
職	阿部 一郎
職	古田 勝己
職	加藤 靖之

II 健康、福祉分野

区分	氏名
公	小椋 雅江
公	杳名 珠子
公	黒岩 義光
公	馬場 紀久世
団	○ 社本 亘
団	中村 美智子
団	◎ 松尾 昌之
団	渡部 敬俊
職	川田 保
職	村井 篤
職	貝瀬 隆志
職	倉知 江理子
職	本多 弘樹

III 都市生活基盤分野

区分	氏名
公	庄田 圭介
公	鈴木 輝親
公	中島 明温
公	永田 広光
団	市川 七生
団	◎ 加藤 幸治
団	佐橋 浩昭
団	○ 柴田 広美
職	吉野 賢司
職	野田 憲一
職	馬場 智紀
職	沢田 富美夫
職	小林 悟司
職	郷原 実智雄

IV 教育分野

区分	氏名
公	梶田 福好
公	川口 邦彦
公	◎ 柴田 熙
公	○ 森崎 芳子
団	伊藤 鶴吉
団	津田 喜代治
団	丸井 ささぐ
団	水野 勲
職	武馬 健之
職	天野 功
職	高田 裕子
職	伊藤 健司

V 経営、企画分野

区分	氏名
公	太田 靖子
公	早瀬 裕子
公	福田 直樹
公	粕山 光正
団	○ 飯島 和代
団	◎ 奥村 忠
団	佐藤 晃
団	脇坂 康彦
職	坪内 俊宣
職	松本 朋彦
職	村瀬 正臣
職	栗本 浩一
職	石黒 稔通
職	古田 義幸
職	村田 いづみ
職	岩田 高志
職	大倉 由美子

学識経験者

区分	氏名
-	中田 實
-	武長 脩行

敬称略

◎は会長

○は副会長

公・・・公募市民

団・・・各種団体の代表者

職・・・市職員

5 まちづくり評価シートの見方

まちづくり評価シートは、江南市戦略計画基本計画に掲げられた指標の実績値を明らかにし、その達成状況について、市民の委員の皆さんと協働で検証を行い、その結果を踏まえ、「得られた成果」と「今後の課題」を洗い出し、「今後の取り組みの方向性」を明らかにするためのものです。


まちづくり評価シート

危機管理室【担う分野：I 生活環境、産業分野】

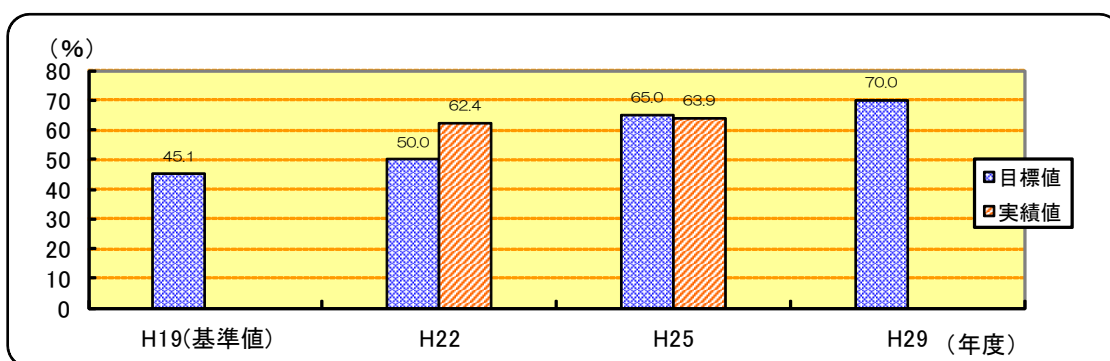
防災安全課【担う柱：1 安心・安全な地域づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている。

指標名	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H25	
目標値	%	—	65.0	自主防災訓練、総合防災訓練、防災資機材の助成、地域安全パトロール隊への活動促進事業、交通安全啓発活動等を継続しながら、新たに同報系行政防災無線、防災ラジオを整備することにより、概ね目標は達成しているが、東日本大震災発生を受けて、南海トラフ巨大地震への懸念が高まり、実績値としては微増に留まっている。
実績値		45.1	63.9	
達成率	%	—	98.3	
達成状況	—	—		

■基本計画の「全体目標」に設定されている指標の実績値の分析結果になります。市民満足度調査により得られた実績値について目標値との比較分析をしたり、増減理由について、社会情勢や市民ニーズ等の変化や施策及び事務事業の貢献度を参考に分析しました。



全体目標に対するまちづくり評価

戦略計画に掲げられた目標値は概ね達成できているが、今後も大規模災害に対する行政面での体制づくりや交通安全、防犯などに対しても適切な対応を継続する必要がある。また、防災センター建設による市民の期待に応えるべく、さらに安心して暮らせる街であると感じられる取り組みが必要である。

■基本計画の「全体目標」に設定されている指標の「実績値の分析」を基に、江南市まちづくり会議において市民の委員の皆さんと協働で評価の内容を精査してまとめました。

個別目標① 災害への備えが行われている

指標名 防災用資機材助成の申請率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値		—	90.0	93.0	95.0	自主防災組織運営事業
実績値	%	83.8	80.9	82.3	79.4	
達成率	%	—	89.9	88.5	83.6	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	自分たちの地域は自分たちで守るという意志のもと、各地区が所有する資機材の保守、充実を図った。
市役所	自主防災会会長会議の中で資機材助成金の申請方法について説明するとともに、災害時における初動体制の充実を図った。

■基本計画の「個別目標」に設定されている指標の目標達成のために具体的に、どのようなことに取り組んだのかを「市民」と「市役所」に分け記載しました。「市民」の取り組み状況については、江南市まちづくり会議において市民の委員の皆さんと取り組みの内容について意見交換をしてみました。

目標達成のための今後の展開方針
自らの命は自らで守るという災害対応の基本を、市民一人ひとりの防災に関する考え方として広げて行くよう、様々な機会を通じて、継続的に啓発する。 区長町総代会や自主防災会会長会議の折に、防災資機材の整備を含めた自主防災組織の役割や地域コミュニティの重要性を説明することにより、地域防災力の向上を図っていく。 同報系防災行政無線を含む災害情報の収集、伝達システムの適正な管理に努める。 被災地支援には、要請に応じて適宜人員を派遣できるよう準備、調整を図る。 地震を想定したBCP(業務継続計画)の作成について検討していく。 災害データを蓄積させることにより、迅速な災害対応が可能となるように、防災システムを適切に運用していく。

■「個別目標」の目標達成のために、今後どのように取り組んでいくべきかを今後の展開方針としてまとめました。

個別目標に対するまちづくり評価
東日本大震災での報道等を見聞きして、初動体制の確立、災害予想や災害復旧の困難さを再認識することができた。この地域でも、近い将来大きな地震が発生する可能性が極めて高いことから、災害復旧にかかる主体を行政と地域が連携して取り組んでいける関係を構築していく必要がある。

■「個別目標」の達成状況を、江南市まちづくり会議において、市民の委員の皆さんと意見交換を行い、「個別目標に対するまちづくり評価」としてまとめました。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

総合防災訓練及び校下別自主防災会合同訓練の実施、防災資機材の助成などを継続的に実施したことにより、市民の防災意識、地域の防災力をある程度高めることができた。
同報系防災行政無線、移動系防災行政無線、防災ラジオ、全国瞬時警報システム(J-アラート)と連動したあんしん安全ねっと、携帯エリアメールなど各方面からの情報伝達手段を整備し、有事の際の情報伝達力を強化したことにより、安心・安全なまちづくりに貢献した。
地域安全パトロール隊への活動促進事業、交通安全啓発活動等を通して、社会的影響の大きい犯罪や交通事故の減少・防止に寄与することができた。

■柱に掲げられた「個別目標」を実現するため、平成23年度から平成25年度までの取り組みによって得られた成果をまとめました。

◆柱全体の今後の課題

今後も事業を継続していく上で、コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防犯・防災機能が徐々に低下していくことが考えられるため、市役所がいかに地域の自主的活動を支援していくかが大きな課題となる。

■柱に掲げられた「個別目標」を実現するため、平成23年度から平成25年度までの取り組み内容を踏まえ、柱の全体目標及び個別目標を実現するにあたっての課題を社会情勢や市民ニーズの変化、施策や事務事業の貢献度等を参考にまとめました。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

区長、自主防災会会長、地域安全パトロール隊など地域の安全・安心を守るリーダー役の高齢化が進んでいるので、今後は若いリーダーがコミュニティの中でのまとめ役、市役所とのパイプ役を担い、かつ、継続して活動することができるよう自治会に要請する。
すでに整備済みの情報伝達手段の保守、点検の実施し、効果的に活用することにより、有事の際に、確実に情報が伝達できるように努める。
また、交通安全施設に関しても、交通事故危険箇所への効果的な新設や既存の交通安全施設の保守、点検を実施し、交通安全に寄与するよう努める。

■柱全体の今後の課題を解決するために今後どのような取り組みをすべきかを柱を構成する全個別目標の展開方針を踏まえまとめました。

6 達成率及び達成状況の算出方法

まちづくり評価シートの各指標の達成率及び達成状況の算出方法は次のとおりです。

(1) 指標の達成率

次の区分により達成率を算出しました。

区 分		算出方法
①	目標値が上昇していく指標	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
②	目標値が減少していく指標	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$
③	目標値が上昇していく指標 【目標値の表示が↑】	$\frac{\text{実績値}}{\text{基準値}} \times 100 (\%)$
④	目標値が減少していく指標 【目標値の表示が↓】	$\frac{\text{基準値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

(小数点第2位四捨五入)

(2) 指標の達成状況

算出された達成率を次の基準で評価しました。

区 分	説 明	判定の基準
	90%以上達成した	達成率が90%以上
	70%以上達成した	達成率が70%以上 90%未満
	達成していない	達成率が70%未満

おわりに

江南市では、平成20年度に、向こう10年間で江南市がめざすまちづくりの目標と、その実現方策を示す江南市戦略計画を策定し、市民と市役所が一丸となってまちづくりを進めてきました。

平成20年度からの前期計画期間、平成23年度からの中期計画期間を終え、各分野で一定の成果があがりつつある一方、平成29年度の最終目標の達成に向けて、まだ重要な課題が残る分野もあります。

また、歯止めのかからない少子高齢化、東日本大震災の経験や影響、国の経済・財政政策の転換など、依然として、社会経済環境の変化は目まぐるしい状況にあります。

このような状況を受け、前期・中期計画期間までの計画内容を見直し、平成26年度からの後期計画期間の江南市のまちづくりの目標と方針を明らかにするために、平成26年3月に江南市戦略計画第二次改定基本計画を策定しました。

今後は、この計画に基づき、残された課題を平成29年度までに計画的かつ確実に対応できるよう施策を進める必要があります。

施策の推進にあたっては、これからも、まちづくりの担い手である市民や事業者等、市が一層強い協働の関係を築き、地域の総力を結集する仕組みを構築し、効果的・効率的な行政運営を図りながら、市の将来像である「豊かで暮らしやすい生活都市」の実現に向け取り組んでまいります。



<全体会議>

江南市戦略計画達成状況報告書

中期計画期間（平成23年度～平成25年度）

平成27年3月発行

江南市まちづくり会議

事務局 江南市役所 総務部行政経営課
483-8701 愛知県江南市赤童子町大堀90番地
電話 (0587) 54-1111(代)